

2018(平成 30)年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

2018(平成 30)年度名古屋経済大学 FD 委員会

2018 年度も 2012 年度より開始した方式（2 年に 1 回は担当科目の授業評価アンケートを実施する）を継続することとした（2018 年度と 2019 年度で一期とする）。原則、教員あるいは学科がアンケート対象科目を選択するが、専門共通基礎 I, II についてはすべての科目について毎年実施することとした。

ワーキング・グループを設置し、アンケートの改善案を検討し、以下 3 点を教授会に提案し、承認された。

- ・アンケート項目 2 「学生の自己評価」に「授業準備」に関する文言を追加する
- ・アンケート項目 3 「シラバス遵守」は項目 E 「シラバス確認」の「はい」回答者の回答のみ有効とする
- ・アンケート選択肢を降順（5 から 1）とし、ポイントと整合させる

前期 228 科目、後期 171 科目について学生による授業評価アンケートを実施した。前・後期それぞれの結果については、担当教員の所属学部学科ごとに FD 委員会が分析し、教授会に報告した（詳細は以下参照）。実施科目の個別結果と考察は学内 HP に掲載した。

学生視点結果については学部学科別に加え、2 種類の属性別にデータ（詳細は下記参照）を出し、関係学部学科の結果分析対象とした。

- ・「留学生」と「留学生を除く」
対象学部：経済学部/経営学部
- ・「スポーツ学生のみ」と「スポーツ学生を除く」
対象学部：経済学部/経営学部/法学部/人間生活科学部教育保育学科

「体験型プロジェクト」は各プランでアンケート等を行い、その結果についての考察を学内 HP に掲載した。

また、今年度は必修ゼミについて記名式・記述式のアンケートを実施し（初年次：前期/2～4 年次：後期）、関係学部学科内で結果を共有した。

名古屋経済大学 授業評価アンケート

科目
名称

FD委員会

この授業評価アンケートは、学生による授業評価を通して、授業の改善を図るためのものです。
 学生による回答の秘密は守られ、授業改善のため以外の目的に使用されることはありません。回答が成績評価に影響することは、全くありません。
 誠実な回答をお願い致します。
 回答の仕方：この授業について、各質問にお答え下さい。鉛筆で、回答欄をマークして下さい。

<p>A. あなたの所属している学部・学科はどこですか。 <回答欄></p> <p>1：経済学部・現代経済学科 <input type="radio"/> ①</p> <p>2：経営学部・経営学科 <input type="radio"/> ②</p> <p>3：法学部・ビジネス法学科 <input type="radio"/> ③</p> <p>4：人間生活科学部・教育保育学科 <input type="radio"/> ④</p> <p>5：人間生活科学部・管理栄養学科 <input type="radio"/> ⑤</p> <p>6：科目等履修生・研究生 <input type="radio"/> ⑥</p>	<p>7. 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>B. あなたは何年生ですか。</p> <p>1：1年生 <input type="radio"/> ①</p> <p>2：2年生 <input type="radio"/> ②</p> <p>3：3年生 <input type="radio"/> ③</p> <p>4：4年生 <input type="radio"/> ④</p> <p>5：その他 <input type="radio"/> ⑤</p>	<p>8. 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>C. あなたは留学生ですか。</p> <p>1：はい <input type="radio"/> ①</p> <p>2：いいえ <input type="radio"/> ②</p>	<p>9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>D. あなたはスポーツ推薦で入学しましたか。</p> <p>1：はい <input type="radio"/> ①</p> <p>2：いいえ <input type="radio"/> ②</p>	<p>10. 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>E. あなたはこの授業のシラバスを読みましたか。</p> <p>1：はい <input type="radio"/> ①</p> <p>2：いいえ <input type="radio"/> ②</p>	<p>11. 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>1. あなたはこの授業によく出席しましたか。</p> <p>5：全部出席した <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：1-2回欠席した <input type="radio"/> ④</p> <p>3：3-4回欠席した <input type="radio"/> ③</p> <p>2：5-6回欠席した <input type="radio"/> ②</p> <p>1：7回以上欠席した <input type="radio"/> ①</p>	<p>12. 教員は授業時間を守っていたと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>2. あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>	<p>13. 複数教員による授業は良かったと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>
<p>3. この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか。上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>	<p>14. 自由質問</p> <p style="text-align: right;">板書を見て、回答してください。</p> <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> ⑤ <input type="radio"/> ④ <input type="radio"/> ③ <input type="radio"/> ② <input type="radio"/> ①</p>
<p>4. 授業内容はわかりやすかったと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>	<p>15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>良かった点</p> <p>不満な点</p> </div>
<p>5. この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>	
<p>6. 教員の教え方には熱意があったと思いますか。</p> <p>5：強くそう思う <input type="radio"/> ⑤</p> <p>4：そう思う <input type="radio"/> ④</p> <p>3：どちらともいえない <input type="radio"/> ③</p> <p>2：そう思わない <input type="radio"/> ②</p> <p>1：まったくそう思わない <input type="radio"/> ①</p>	

2018年度前期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	33	30	90.91	30	100.00
経営学部	38	38	100.00	38	100.00
法学部	16	16	100.00	16	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	17	17	100.00	17	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	25	25	100.00	25	100.00
非常勤	102	102	100.00	102	100.00
【全体】	231	228	98.70	228	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	3,021	2,969	2,071	69.75
経営学部	3,527	3,527	2,540	72.02
法学部	2,074	2,074	1,389	66.97
人間生活科学部・管理栄養学科	688	688	631	91.72
人間生活科学部・教育保育学科	1,039	1,039	825	79.40
非常勤	3,297	3,297	2,453	74.40
【全体】	13,646	13,594	9,909	72.89

2018年度後期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	22	22	100.00	22	100.00
経営学部	32	32	100.00	32	100.00
法学部	21	19	90.48	19	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	16	15	93.75	15	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	23	20	86.96	20	100.00
非常勤	57	57	100.00	57	100.00
【全体】	171	165	96.49	165	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	2,019	2,019	1,346	66.67
経営学部	3,107	3,107	2,084	67.07
法学部	2,215	2,003	1,302	65.00
人間生活科学部・管理栄養学科	552	506	444	87.75
人間生活科学部・教育保育学科	814	744	578	77.69
非常勤	1,859	1,859	1,232	66.27
【全体】	10,566	10,238	6,986	68.24

[名古屋経済大学] 2018年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
全体	4.15	3.82	4.22	3.94	3.91	4.10	3.96	4.04	3.99	4.12	3.94	4.18
経済学部	4.08	3.77	4.16	3.76	3.81	3.96	3.82	3.89	3.85	3.95	3.86	4.08
経営学部	4.14	3.80	4.24	3.99	3.92	4.12	3.97	4.03	4.03	4.16	3.95	4.19
法学部	4.01	3.76	4.16	3.82	3.77	3.94	3.84	3.94	3.85	3.98	3.83	4.01
人間生活科学部・教育保育学科	4.33	3.97	4.26	4.14	4.15	4.34	4.22	4.25	4.24	4.36	4.09	4.32
人間生活科学部・管理栄養学科	4.64	3.72	4.12	3.93	3.96	4.15	3.96	4.10	4.08	4.12	3.92	4.22
非常勤	4.10	3.90	4.28	4.03	3.95	4.19	4.05	4.15	4.04	4.24	4.00	4.27

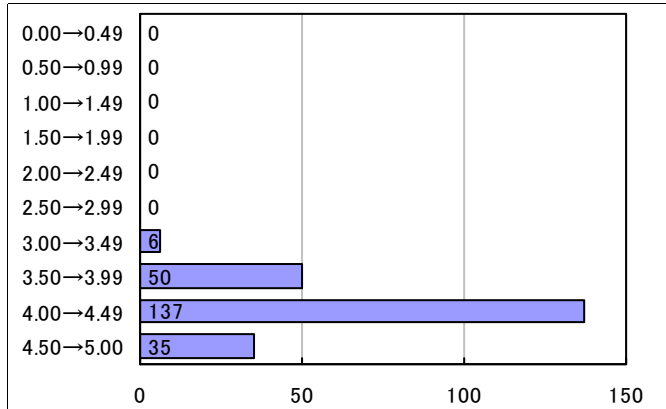
[名古屋経済大学] 2018年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
全体	4.05	3.85	4.18	3.94	3.93	4.07	3.97	4.02	3.97	4.11	3.94	4.13
経済学部	4.01	3.86	4.16	3.90	3.92	4.01	3.98	4.03	3.98	4.02	3.92	4.09
経営学部	4.05	3.86	4.19	3.96	3.95	4.09	3.97	4.03	4.04	4.13	3.98	4.16
法学部	3.92	3.65	4.10	3.75	3.70	3.86	3.78	3.84	3.74	3.96	3.77	3.97
人間生活科学部・教育保育学科	4.16	3.91	4.21	4.07	4.12	4.26	4.12	4.13	4.13	4.23	3.98	4.25
人間生活科学部・管理栄養学科	4.48	3.91	4.36	4.09	4.09	4.31	4.04	4.10	4.14	4.26	4.15	4.29
非常勤	4.05	3.97	4.23	4.03	4.01	4.15	4.06	4.10	3.98	4.20	3.99	4.18

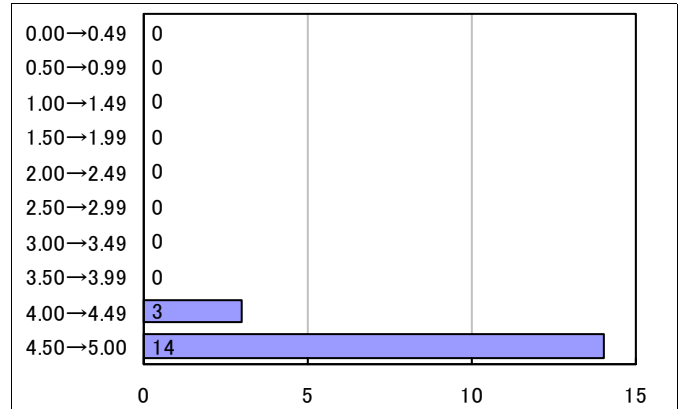
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



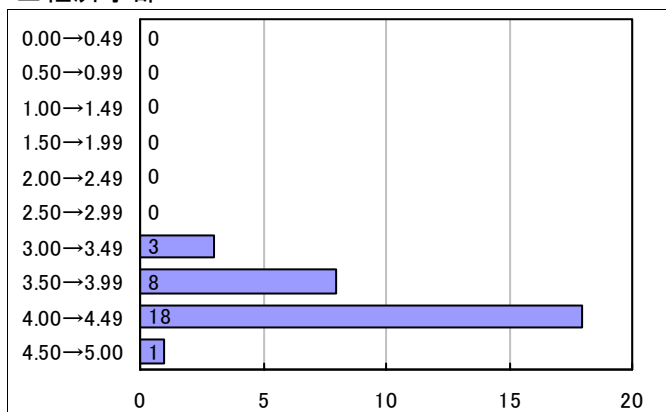
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・管理栄養学科



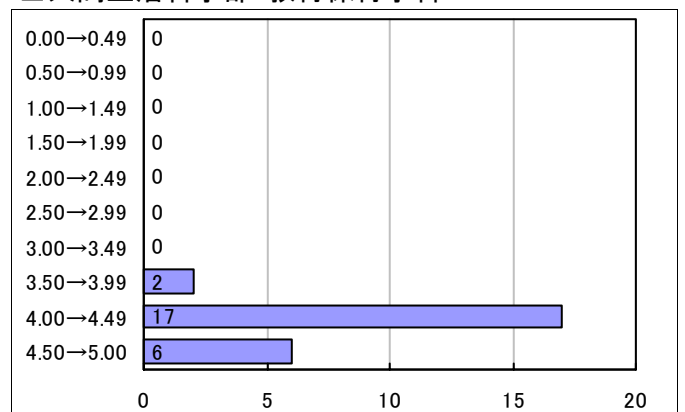
平均値 = 4.64

■経済学部



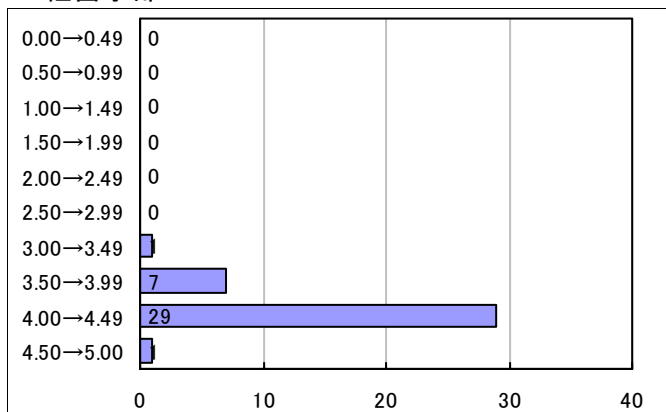
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・教育保育学科



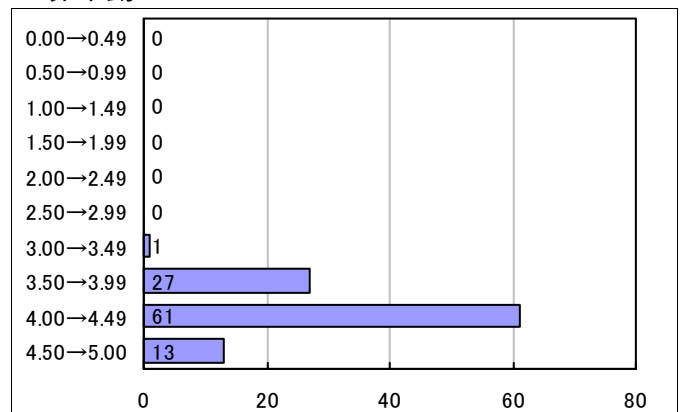
平均値 = 4.33

■経営学部



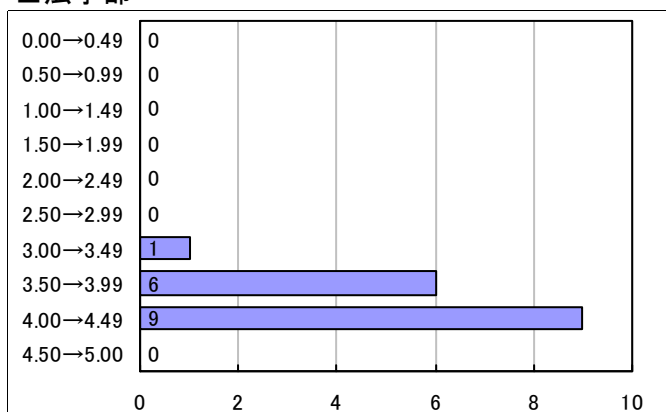
平均値 = 4.14

■非常勤



平均値 = 4.10

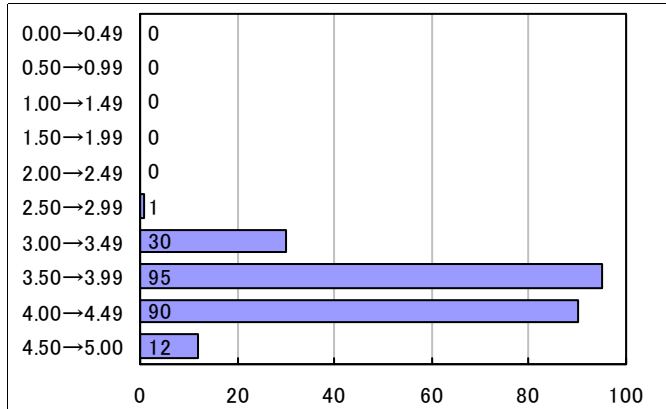
■法学部



平均値 = 4.01

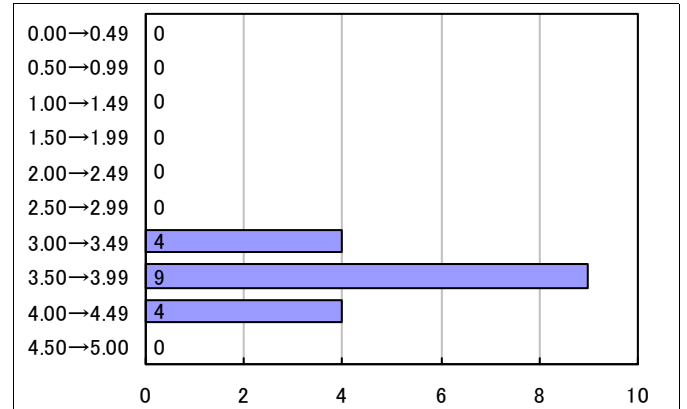
●2.あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



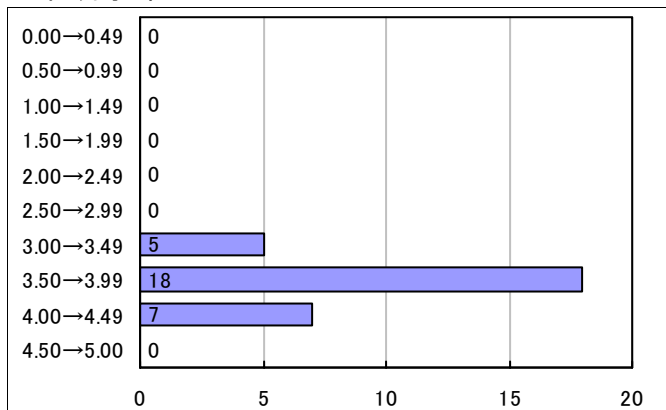
平均値 = 3.82

■人間生活科学部・管理栄養学科



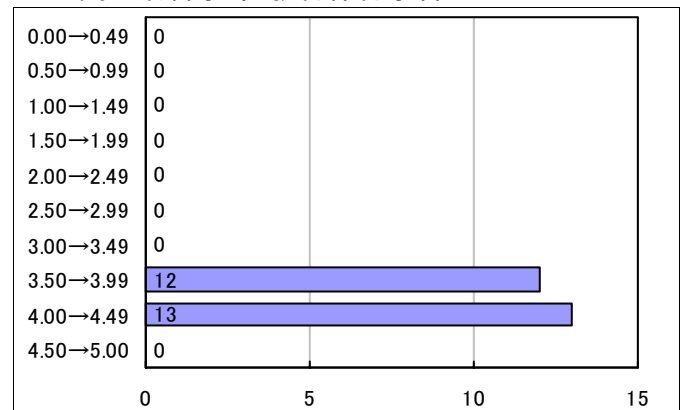
平均値 = 3.72

■経済学部



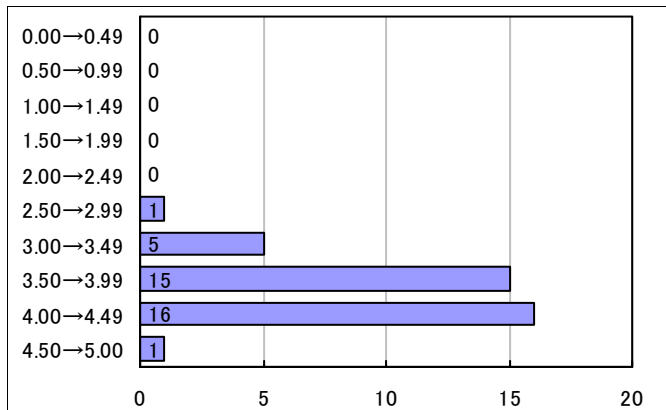
平均値 = 3.77

■人間生活科学部・教育保育学科



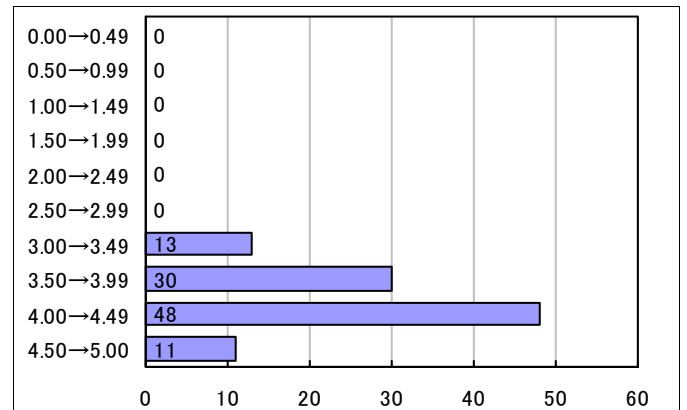
平均値 = 3.97

■経営学部



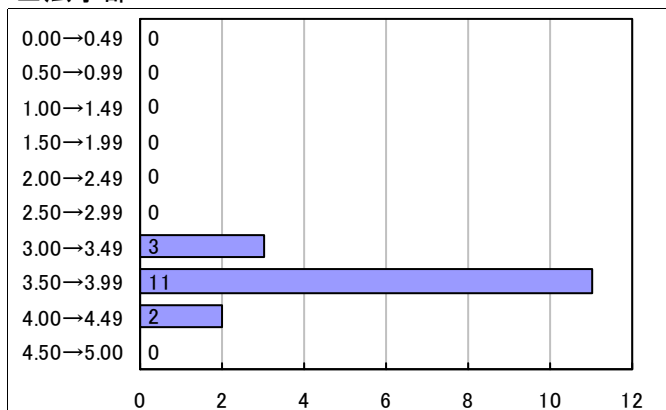
平均値 = 3.80

■非常勤



平均値 = 3.90

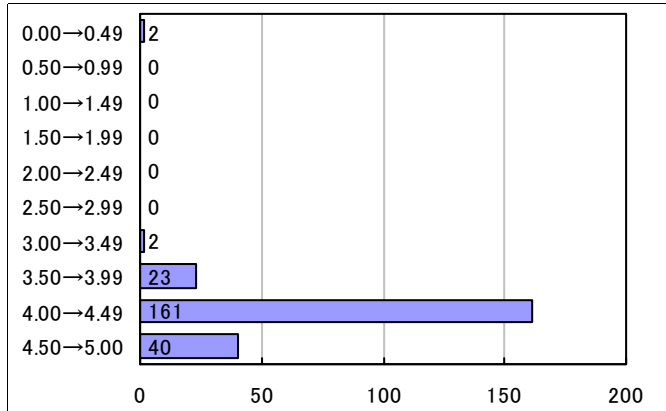
■法学部



平均値 = 3.76

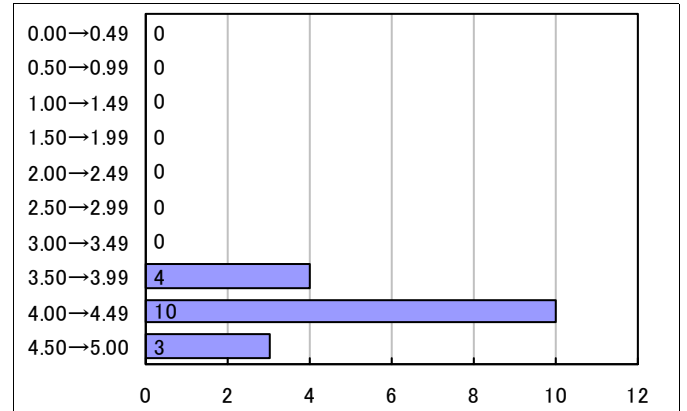
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)

■全体



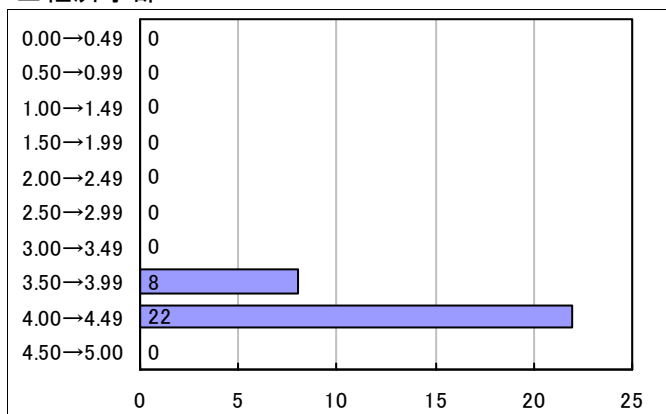
平均値 = 4.22

■人間生活科学部・管理栄養学科



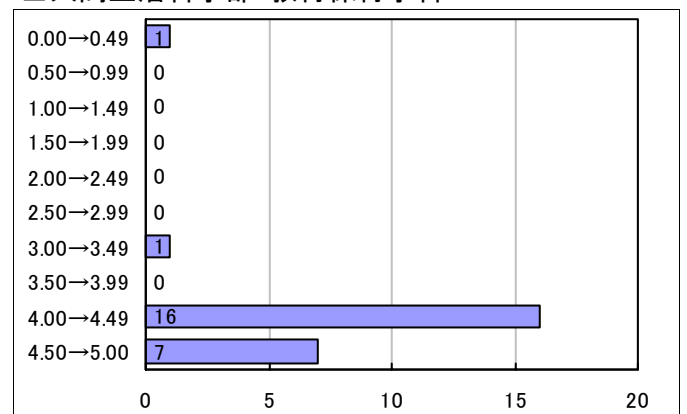
平均値 = 4.12

■経済学部



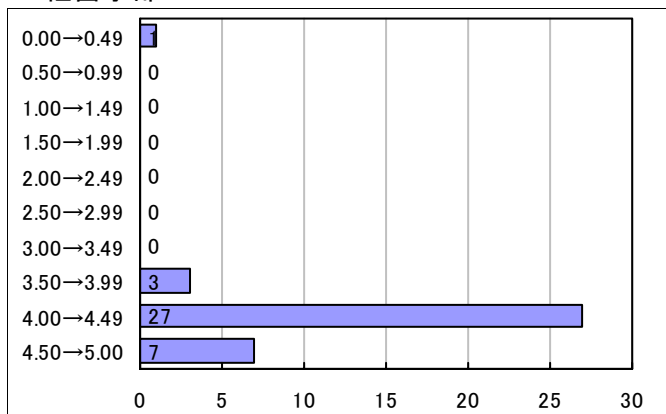
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・教育保育学科



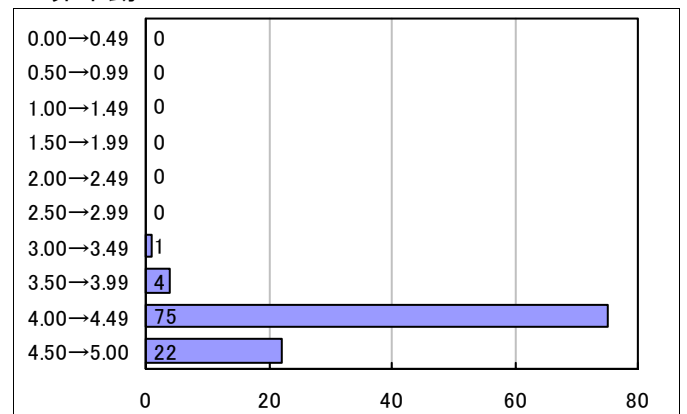
平均値 = 4.26

■経営学部



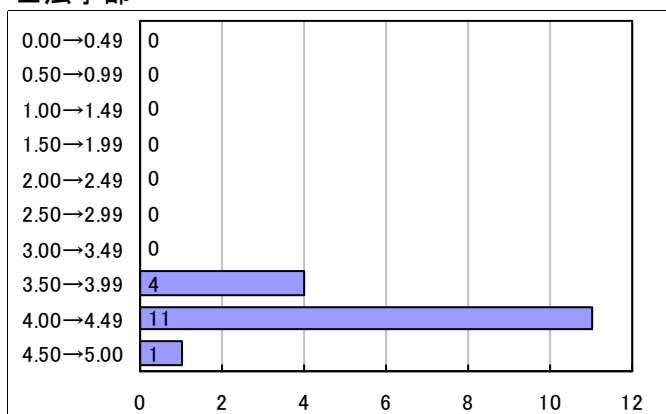
平均値 = 4.24

■非常勤



平均値 = 4.28

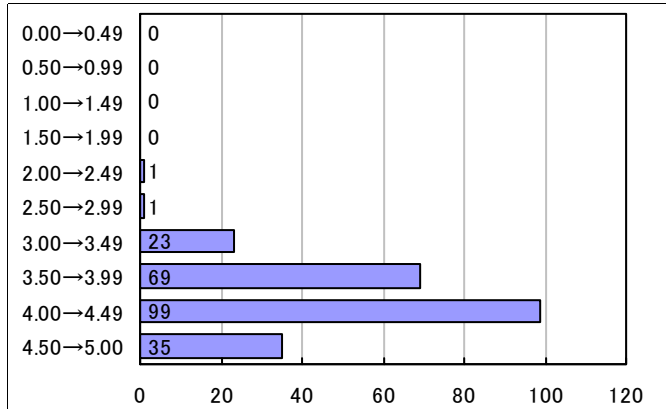
■法学部



平均値 = 4.16

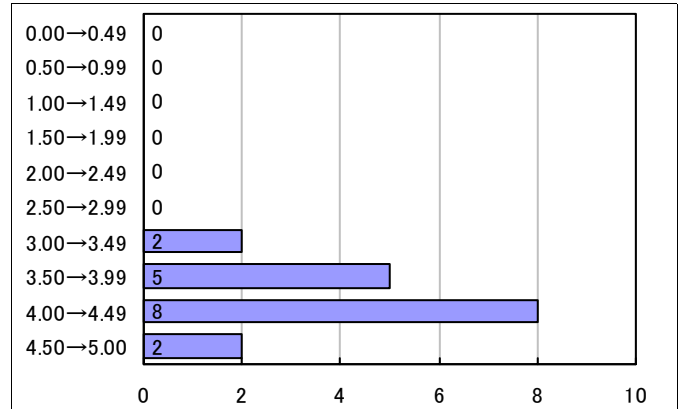
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



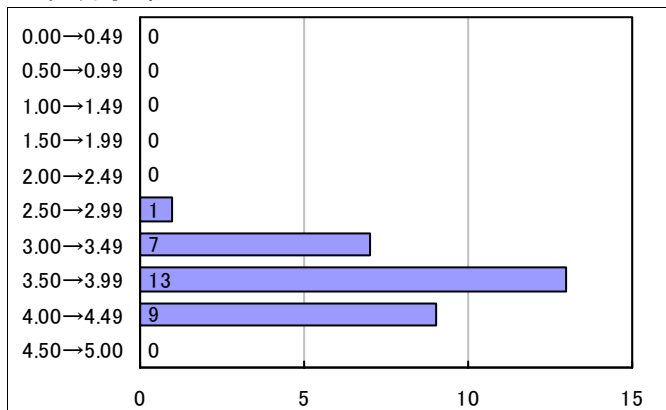
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・管理栄養学科



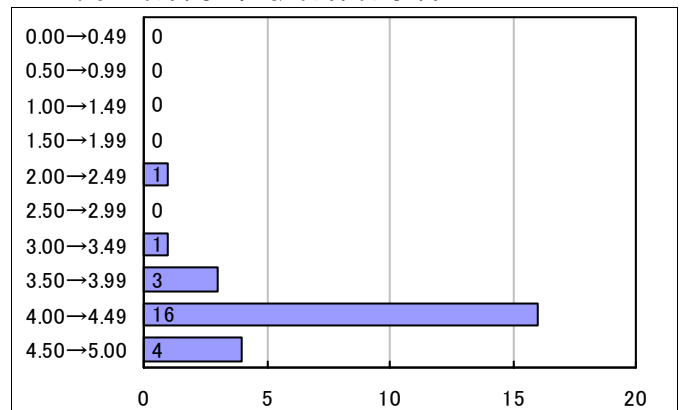
平均値 = 3.93

■経済学部



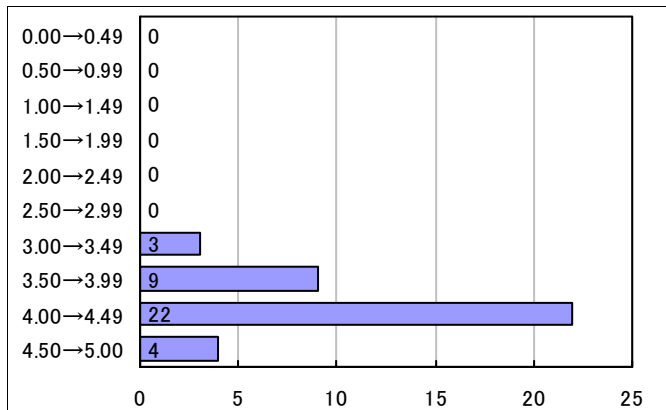
平均値 = 3.76

■人間生活科学部・教育保育学科



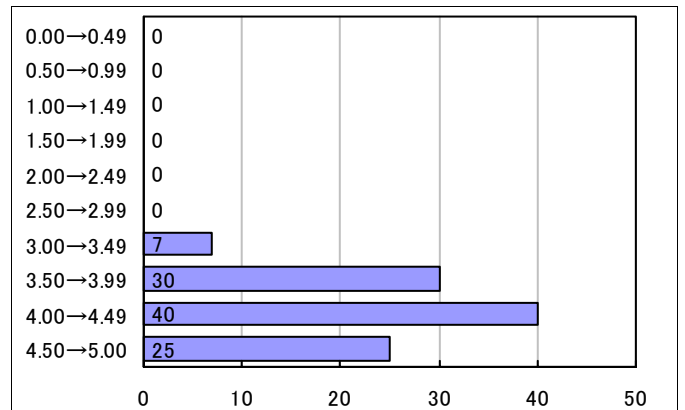
平均値 = 4.14

■経営学部



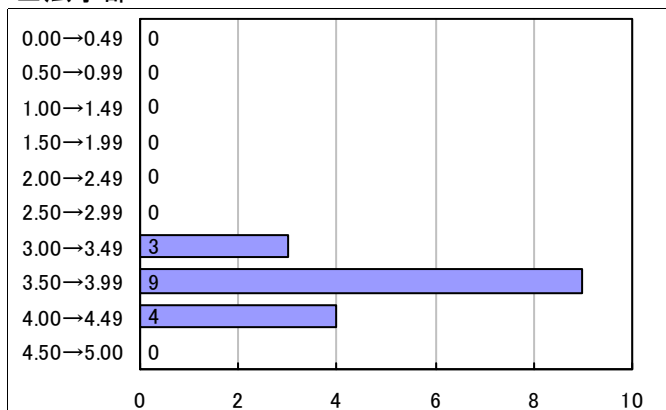
平均値 = 3.99

■非常勤



平均値 = 4.03

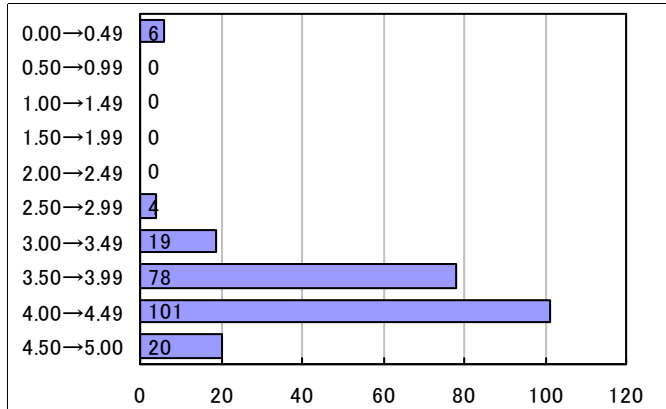
■法学部



平均値 = 3.82

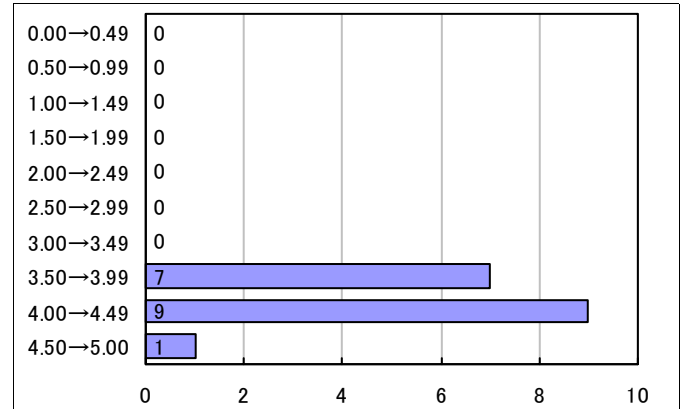
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



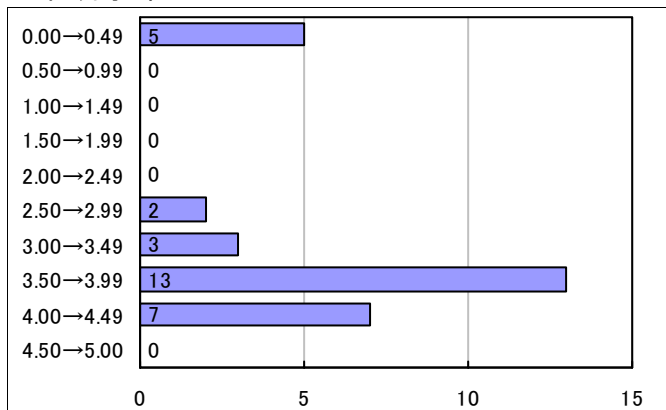
平均値 = 3.91

■人間生活科学部・管理栄養学科



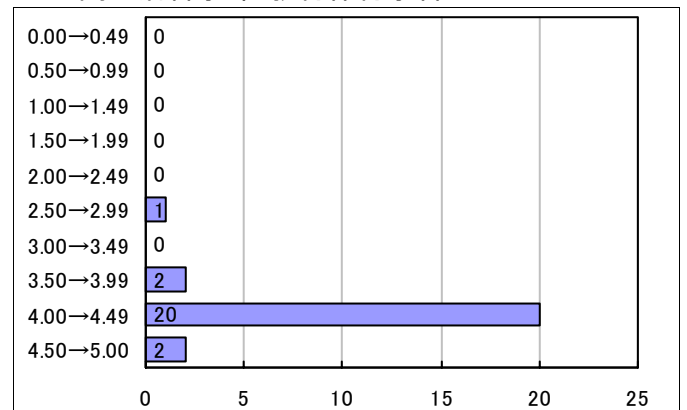
平均値 = 3.96

■経済学部



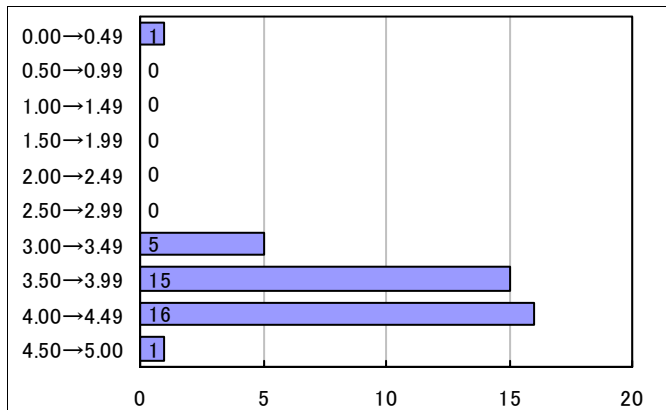
平均値 = 3.81

■人間生活科学部・教育保育学科



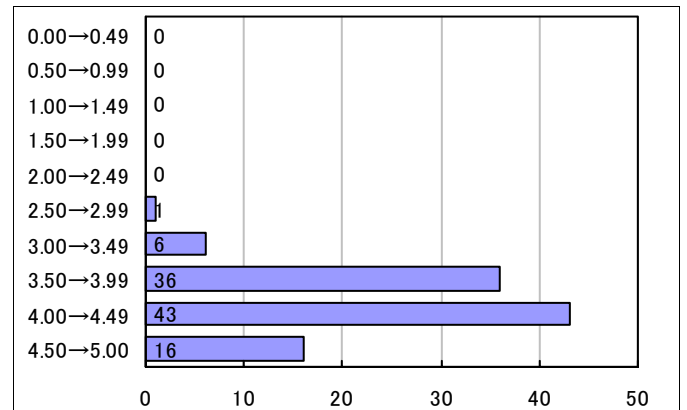
平均値 = 4.15

■経営学部



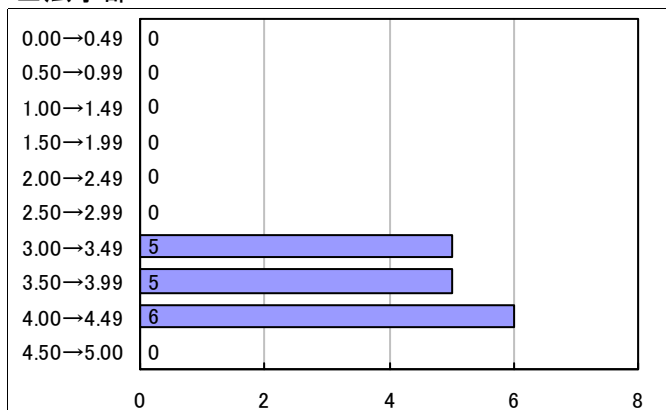
平均値 = 3.92

■非常勤



平均値 = 3.95

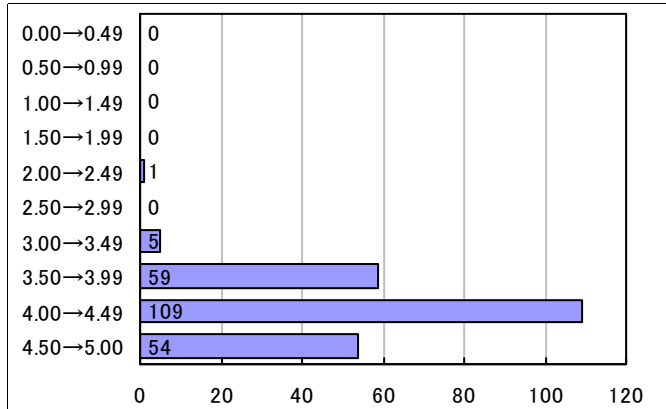
■法学部



平均値 = 3.77

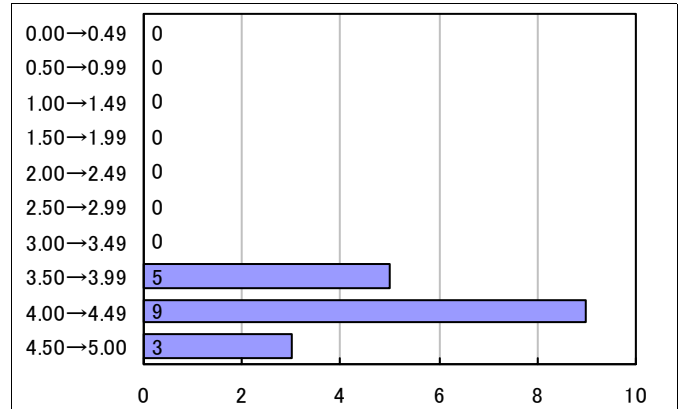
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



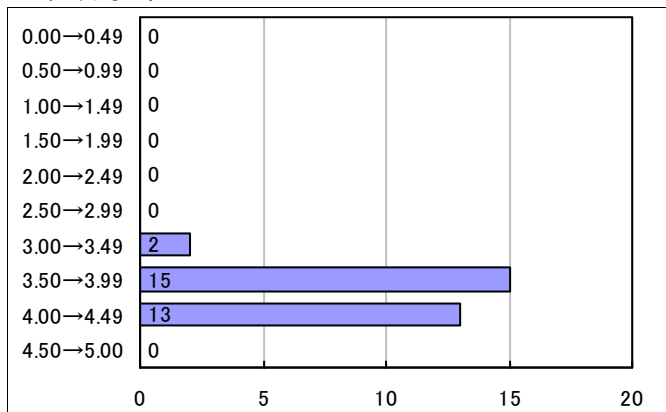
平均値 = 4.10

■人間生活科学部・管理栄養学科



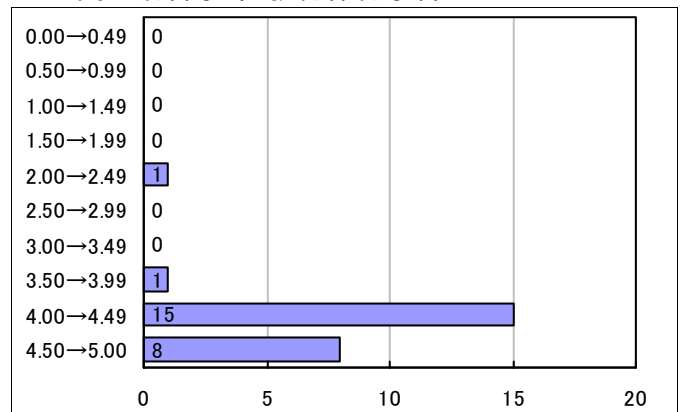
平均値 = 4.15

■経済学部



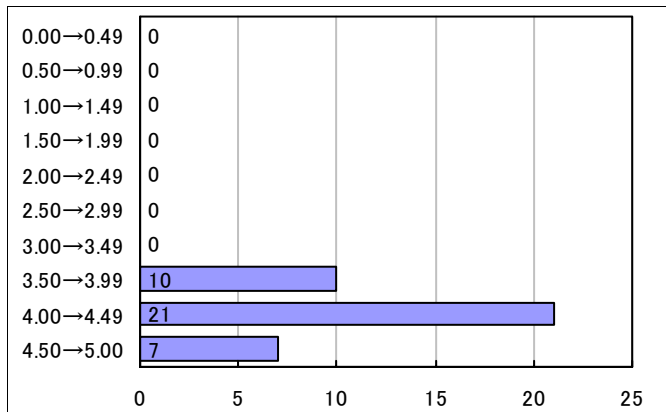
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・教育保育学科



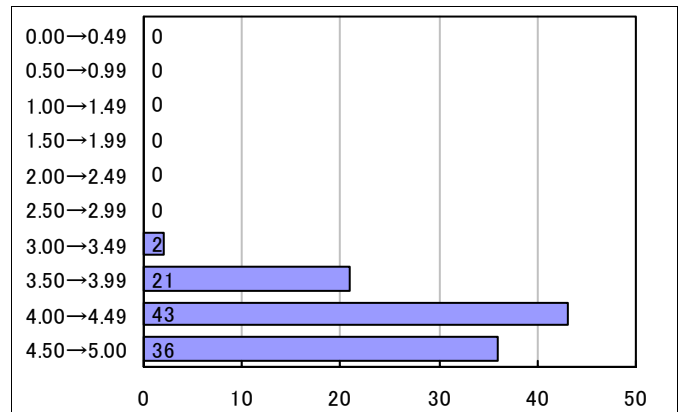
平均値 = 4.34

■経営学部



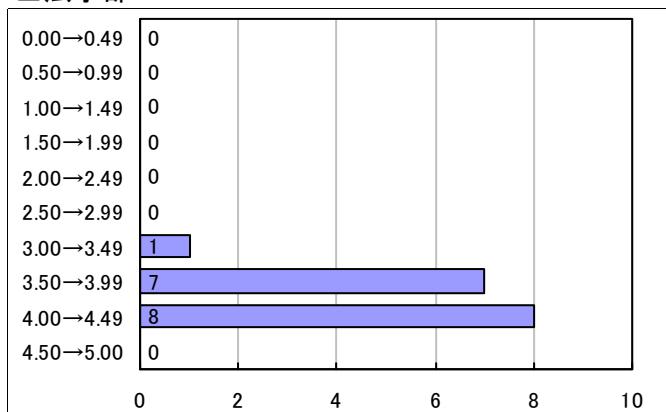
平均値 = 4.12

■非常勤



平均値 = 4.19

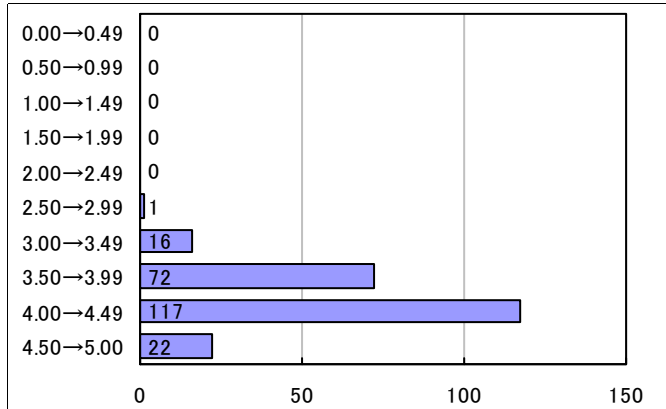
■法学部



平均値 = 3.94

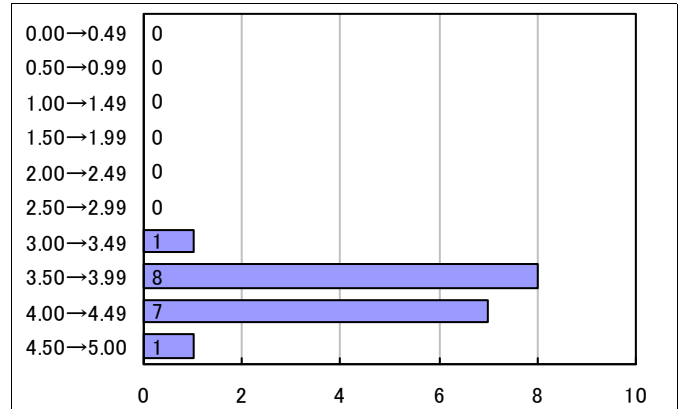
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



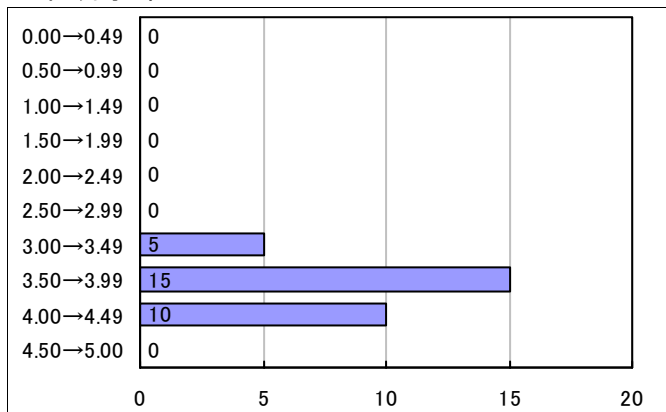
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



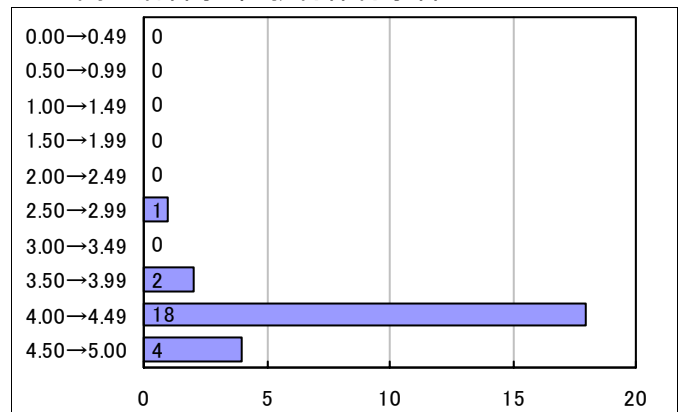
平均値 = 3.96

■経済学部



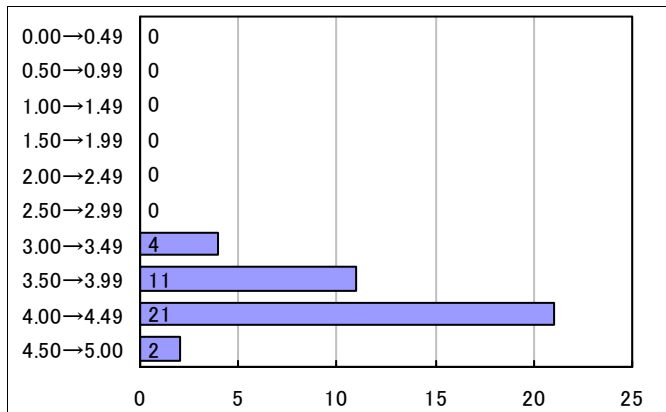
平均値 = 3.82

■人間生活科学部・教育保育学科



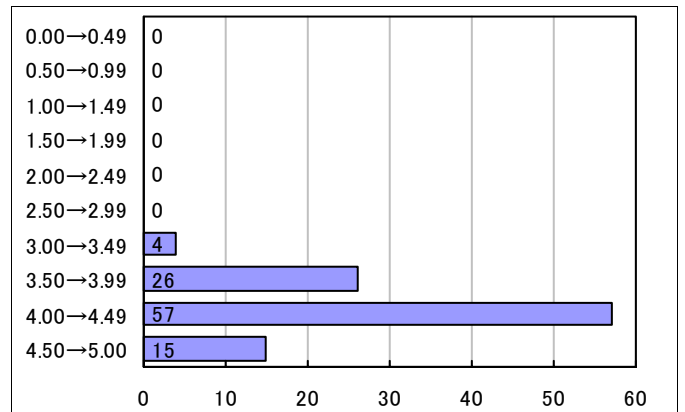
平均値 = 4.22

■経営学部



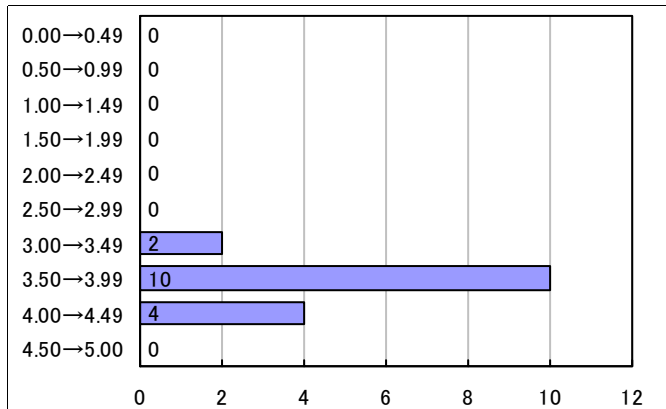
平均値 = 3.97

■非常勤



平均値 = 4.05

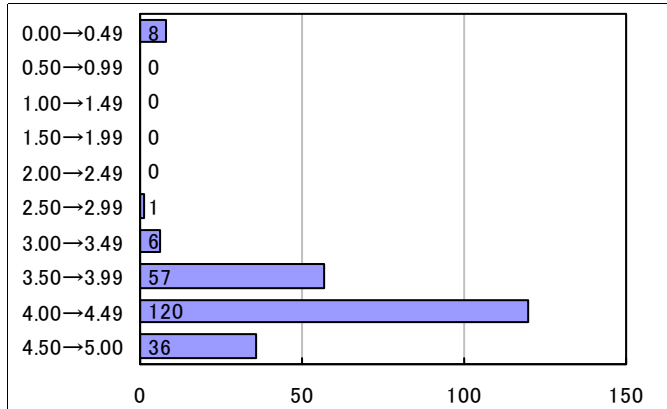
■法学部



平均値 = 3.84

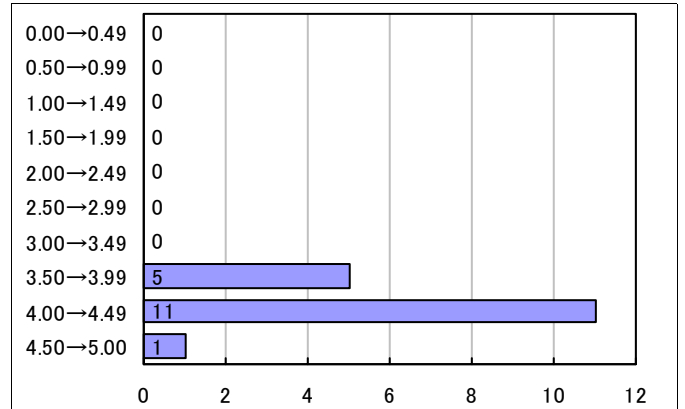
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



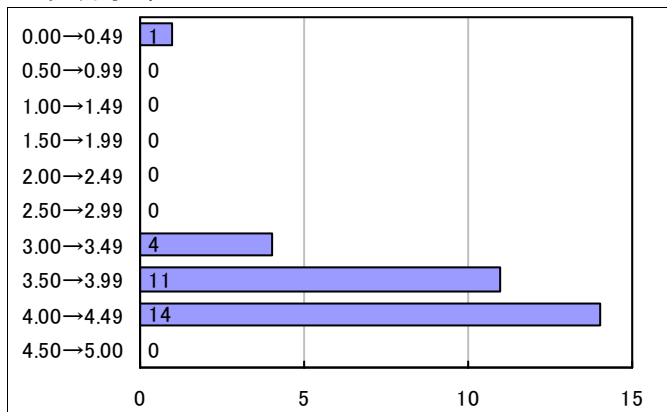
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



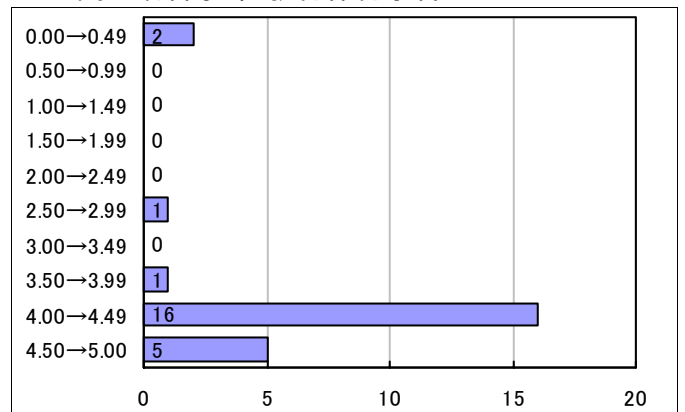
平均値 = 4.10

■経済学部



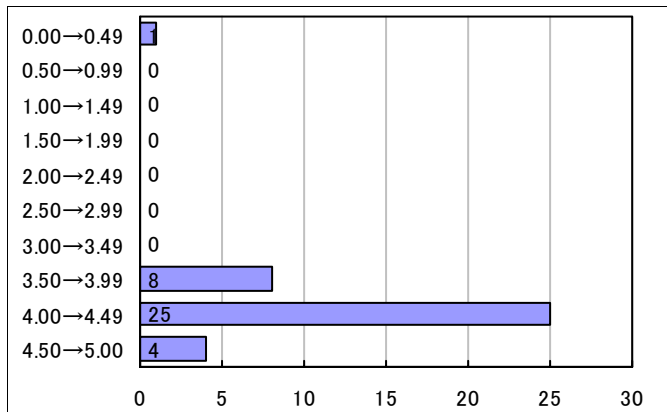
平均値 = 3.89

■人間生活科学部・教育保育学科



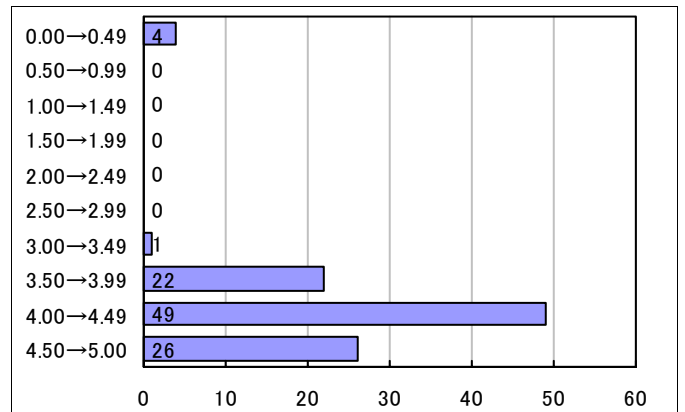
平均値 = 4.25

■経営学部



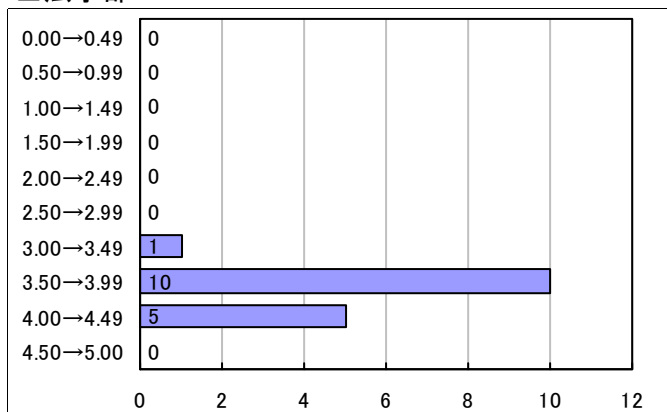
平均値 = 4.03

■非常勤



平均値 = 4.15

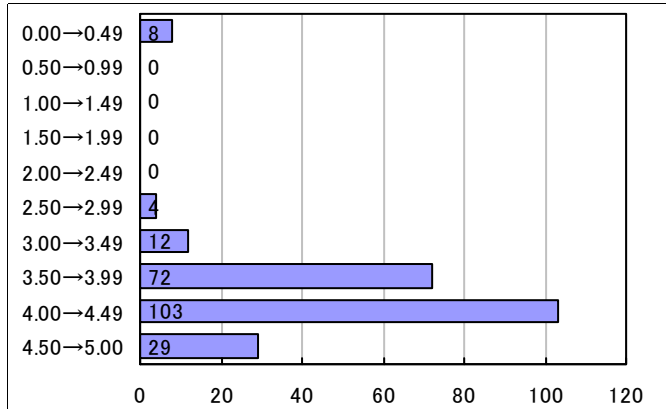
■法学部



平均値 = 3.94

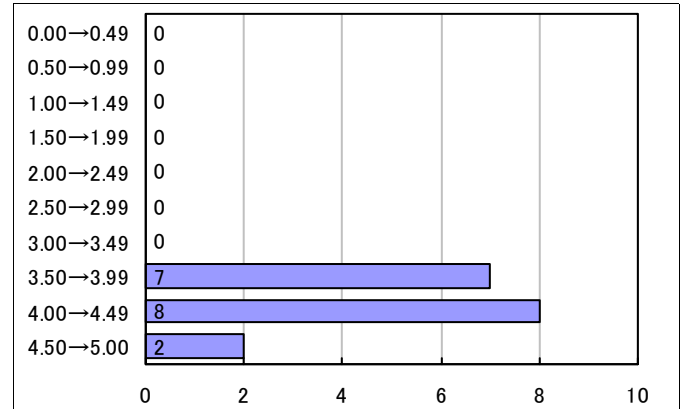
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



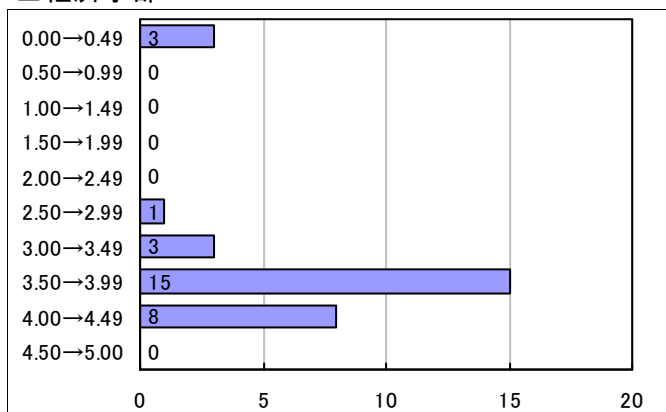
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・管理栄養学科



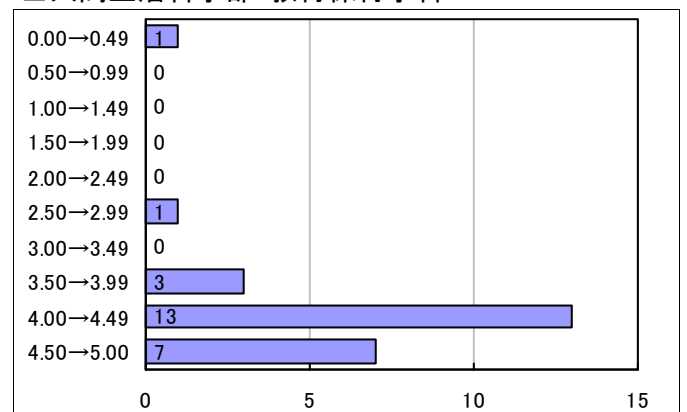
平均値 = 4.08

■経済学部



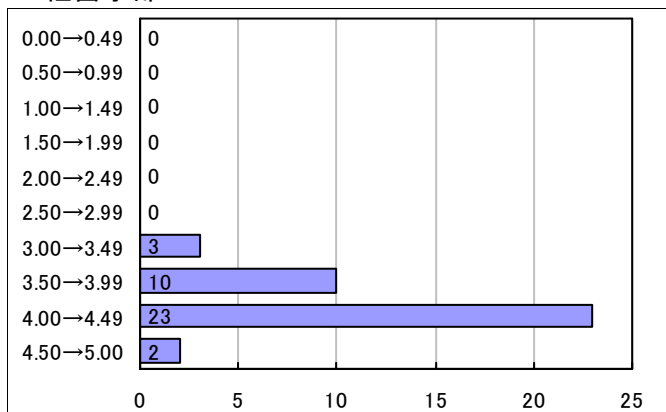
平均値 = 3.85

■人間生活科学部・教育保育学科



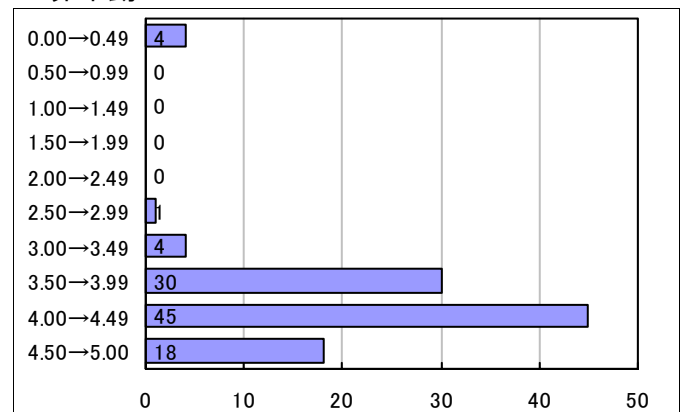
平均値 = 4.24

■経営学部



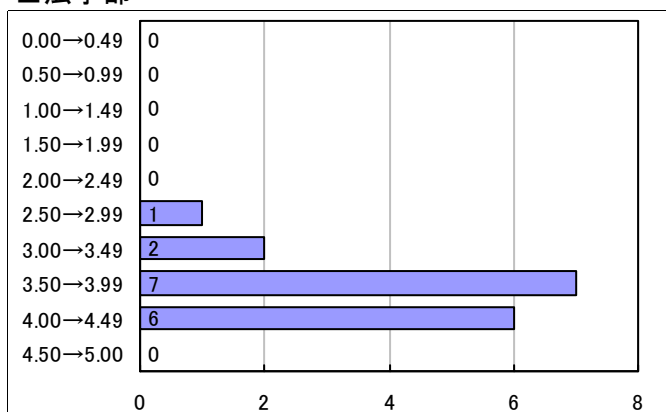
平均値 = 4.03

■非常勤



平均値 = 4.04

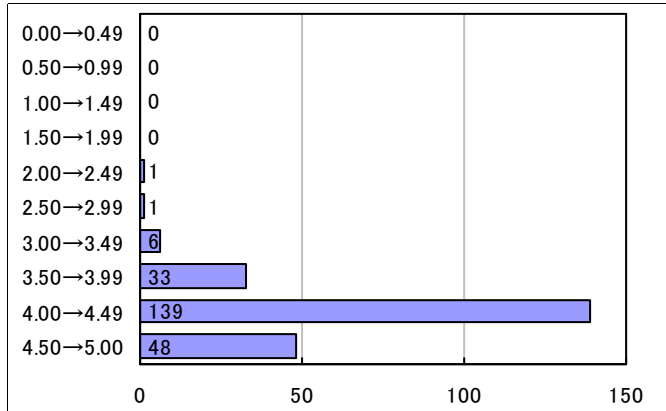
■法学部



平均値 = 3.85

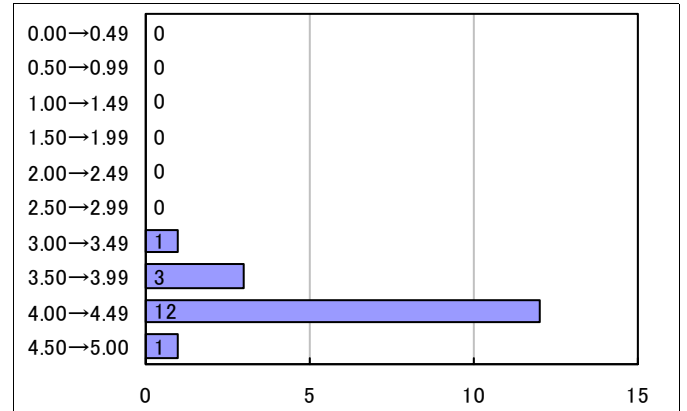
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



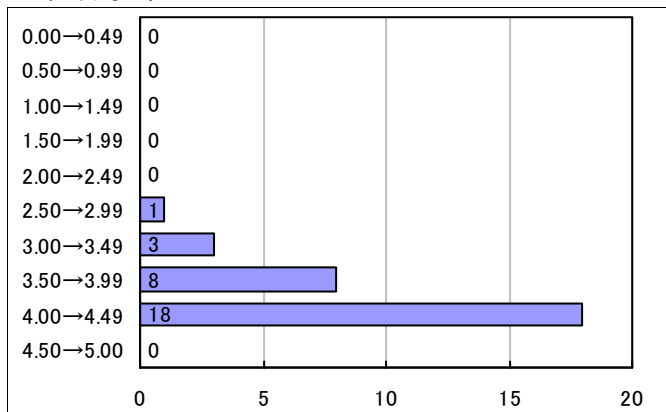
平均値 = 4.12

■人間生活科学部・管理栄養学科



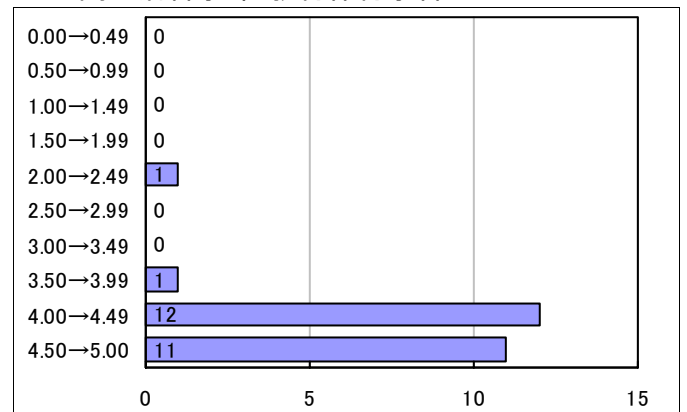
平均値 = 4.12

■経済学部



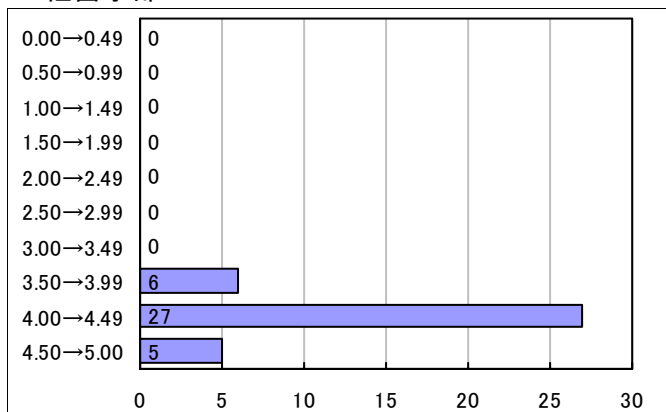
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



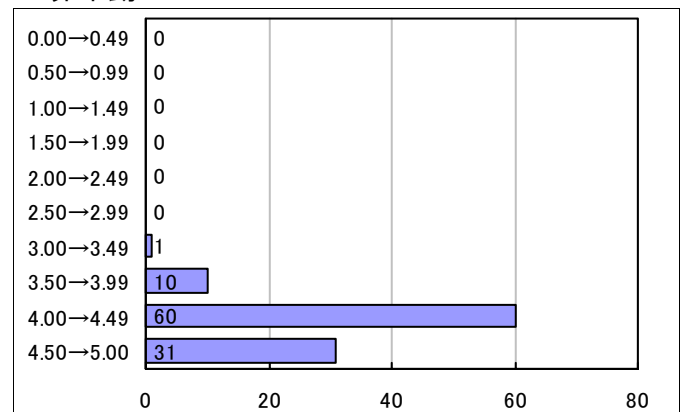
平均値 = 4.36

■経営学部



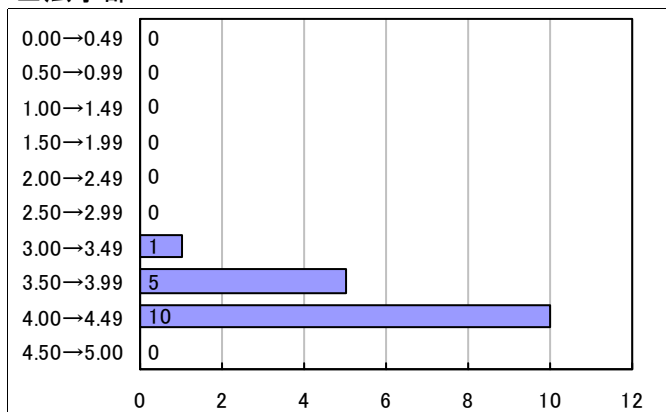
平均値 = 4.16

■非常勤



平均値 = 4.24

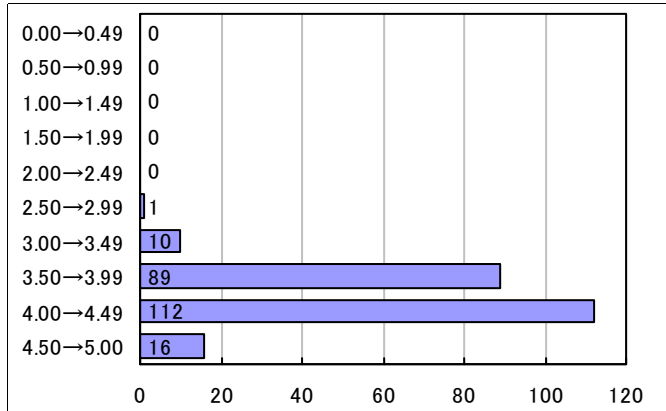
■法学部



平均値 = 3.98

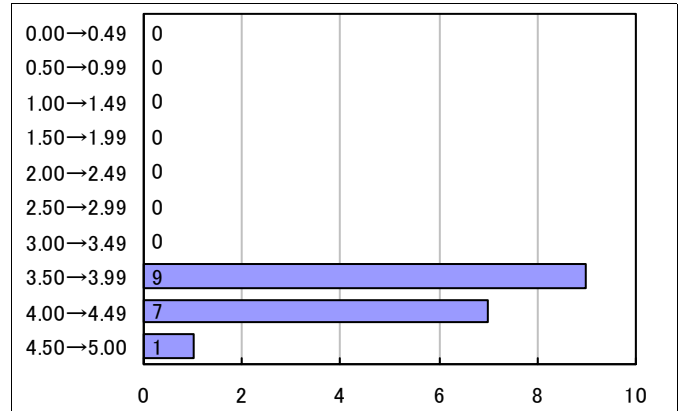
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



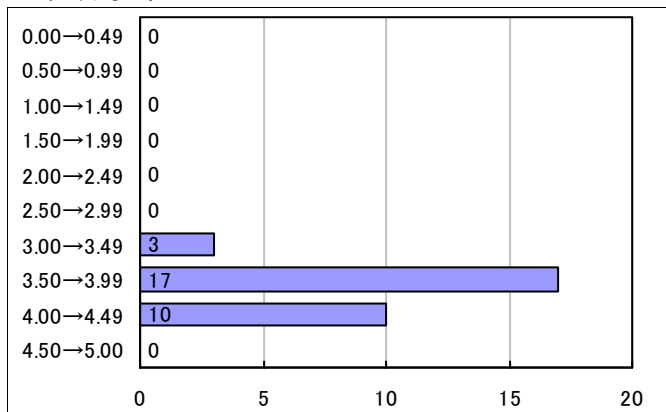
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・管理栄養学科



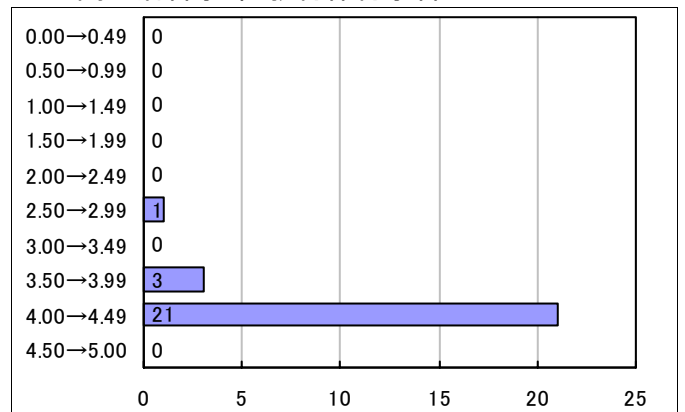
平均値 = 3.92

■経済学部



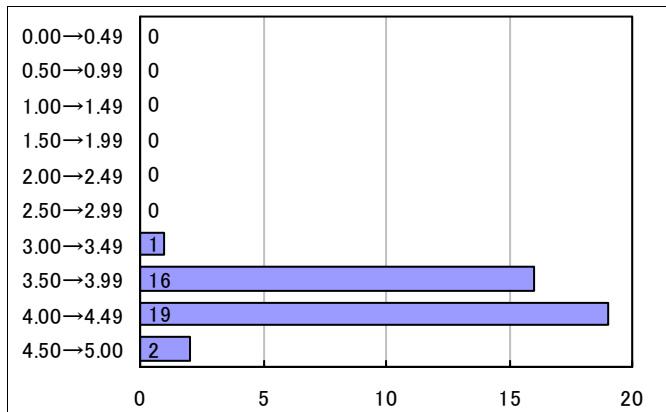
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



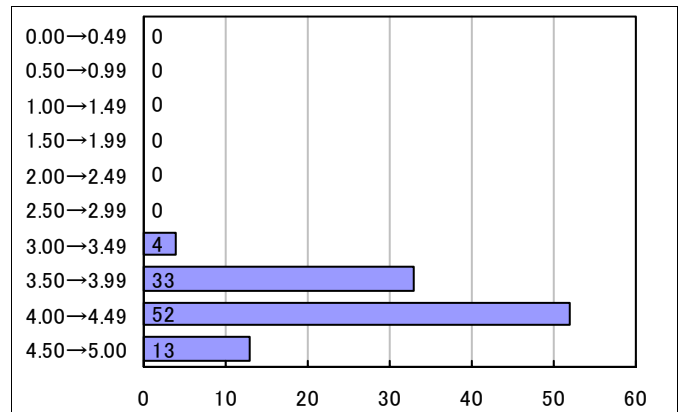
平均値 = 4.09

■経営学部



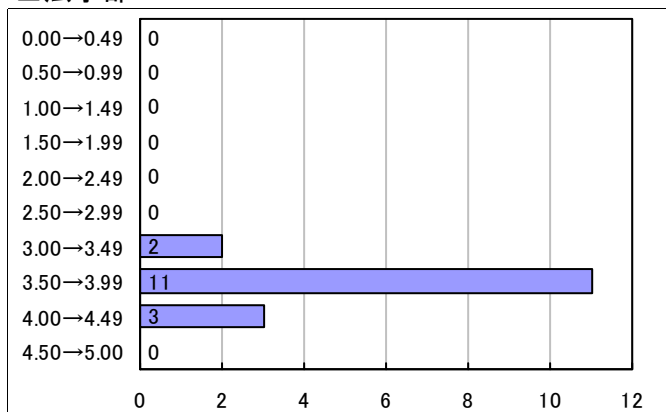
平均値 = 3.95

■非常勤



平均値 = 4.00

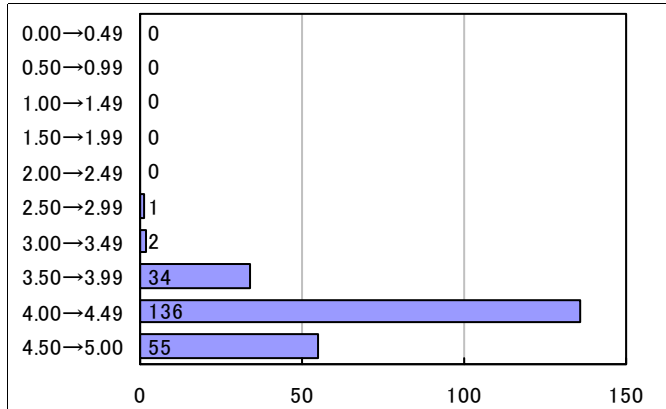
■法学部



平均値 = 3.83

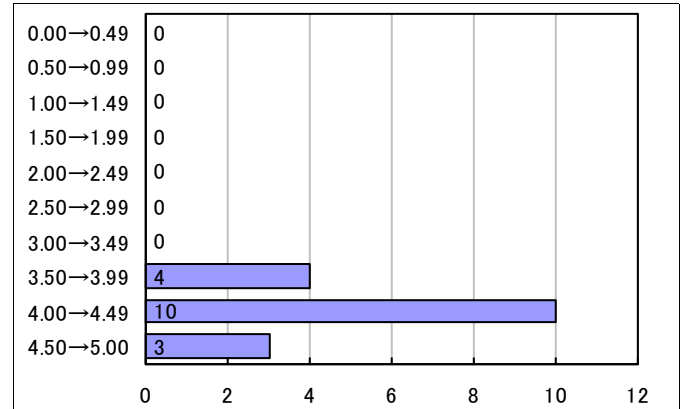
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



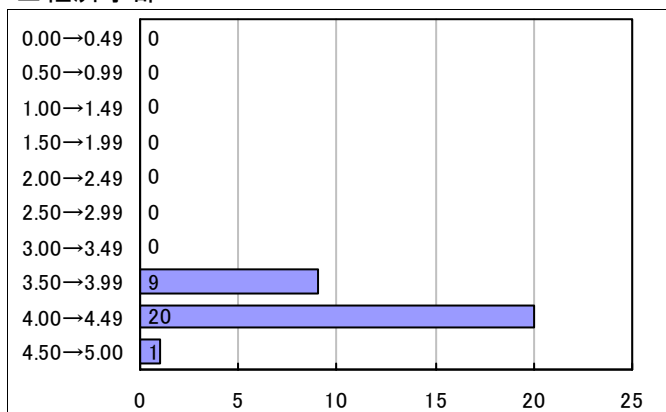
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・管理栄養学科



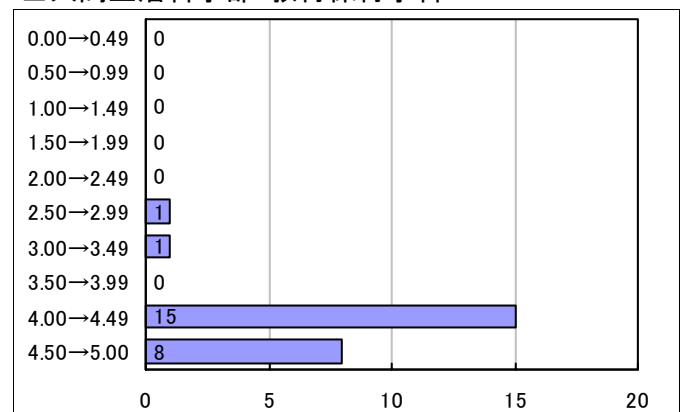
平均値 = 4.22

■経済学部



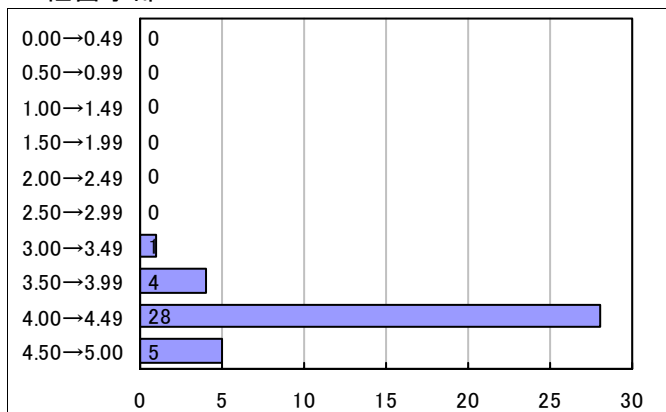
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・教育保育学科



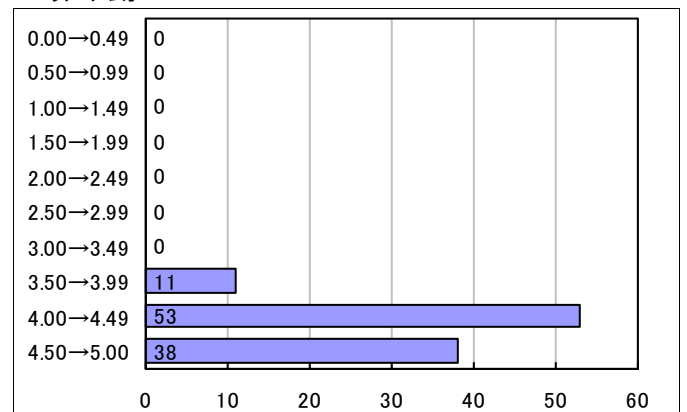
平均値 = 4.32

■経営学部



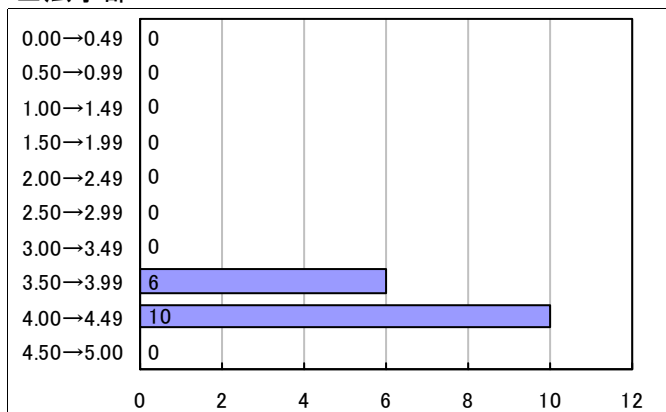
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 4.27

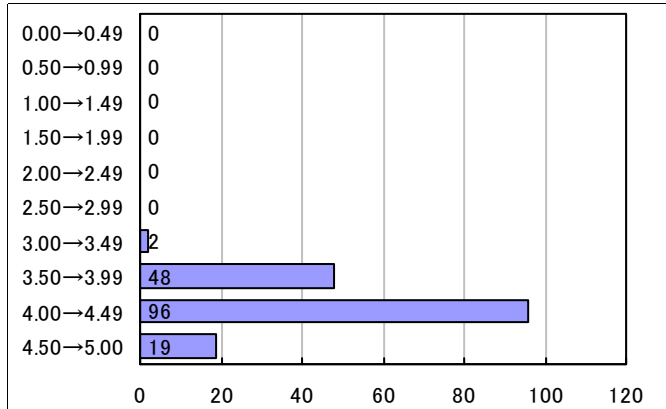
■法学部



平均値 = 4.01

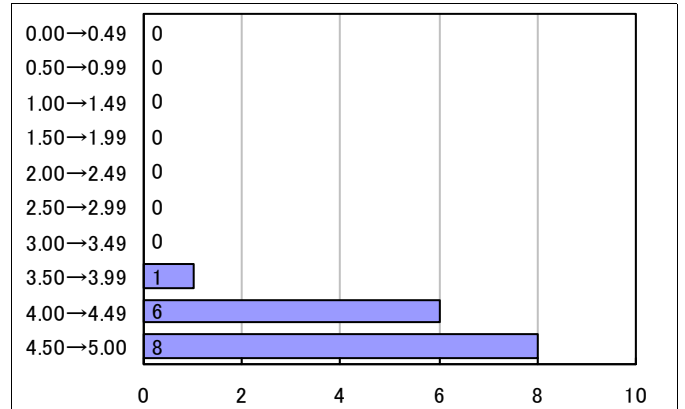
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



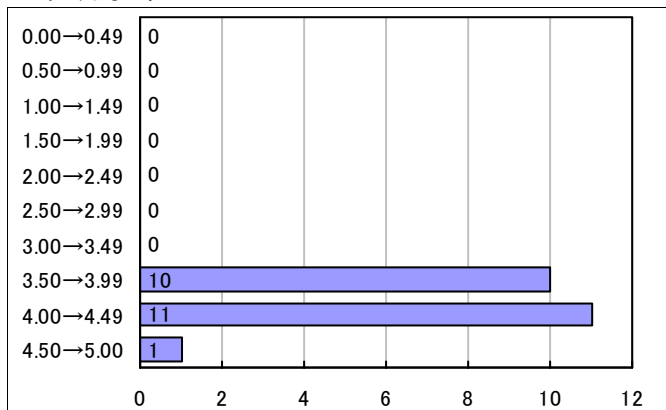
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・管理栄養学科



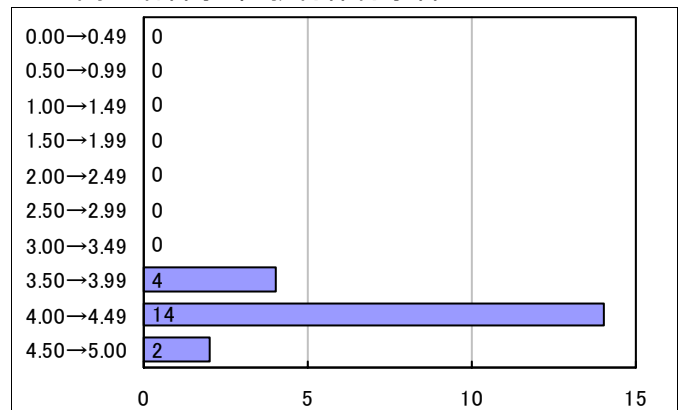
平均値 = 4.48

■経済学部



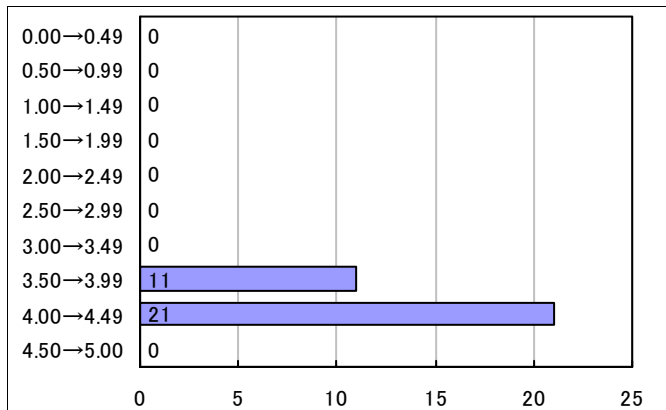
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・教育保育学科



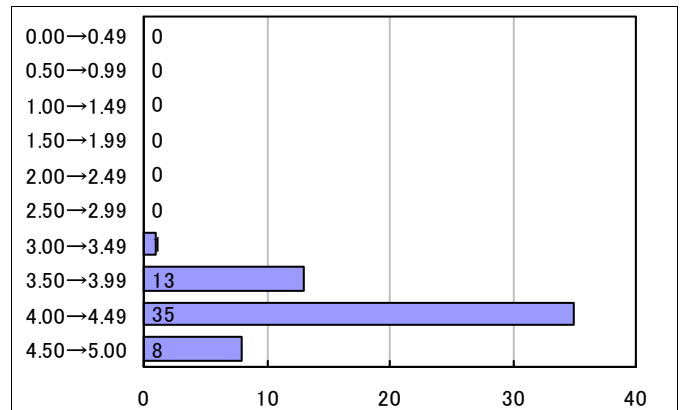
平均値 = 4.16

■経営学部



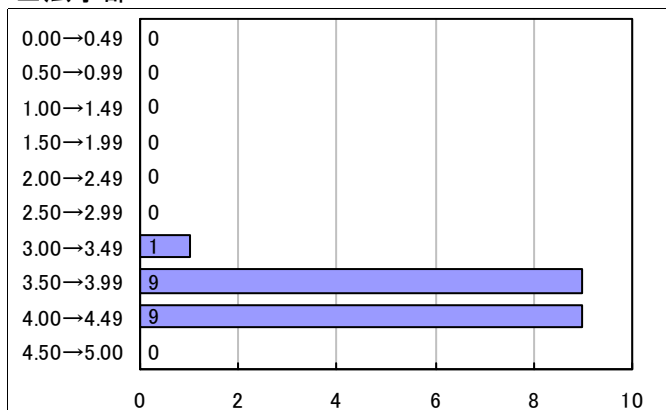
平均値 = 4.05

■非常勤



平均値 = 4.05

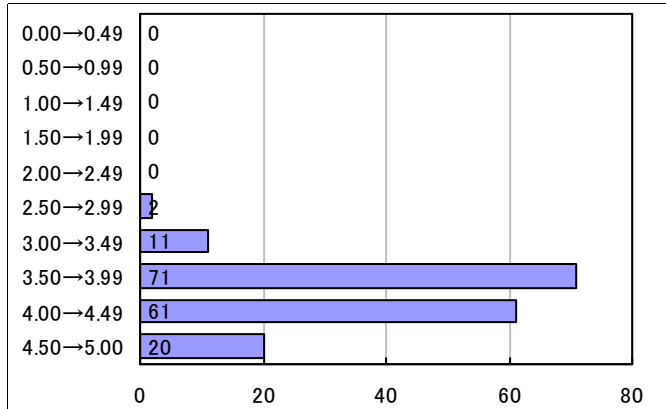
■法学部



平均値 = 3.92

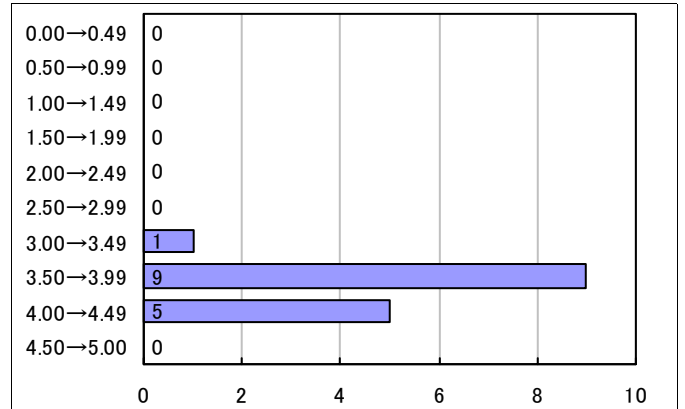
●2.あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



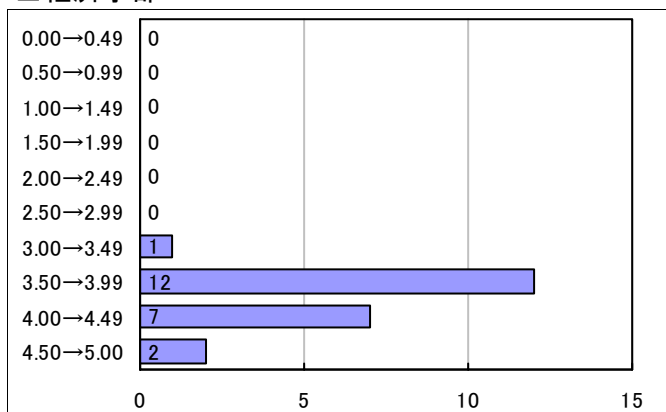
平均値 = 3.85

■人間生活科学部・管理栄養学科



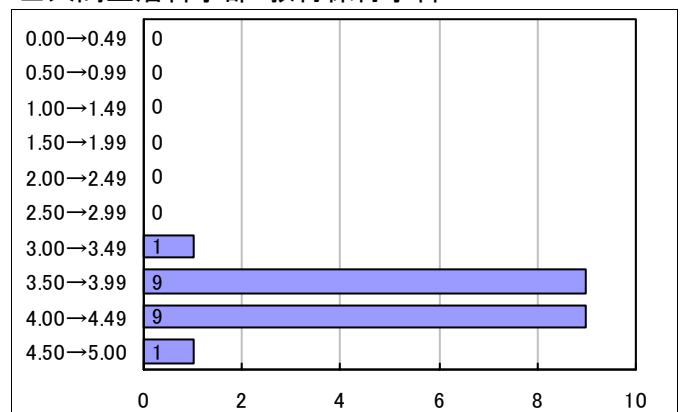
平均値 = 3.91

■経済学部



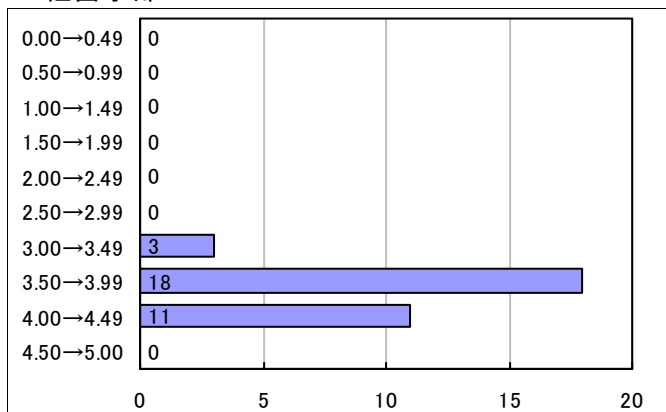
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



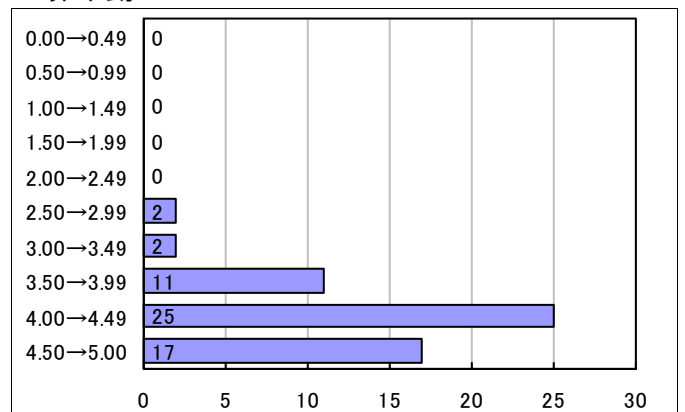
平均値 = 3.91

■経営学部



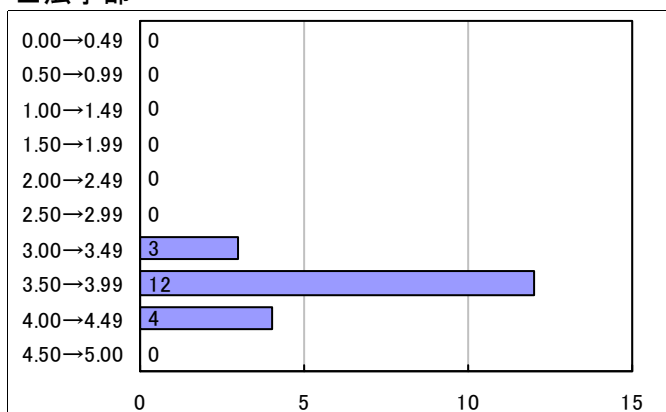
平均値 = 3.86

■非常勤



平均値 = 3.97

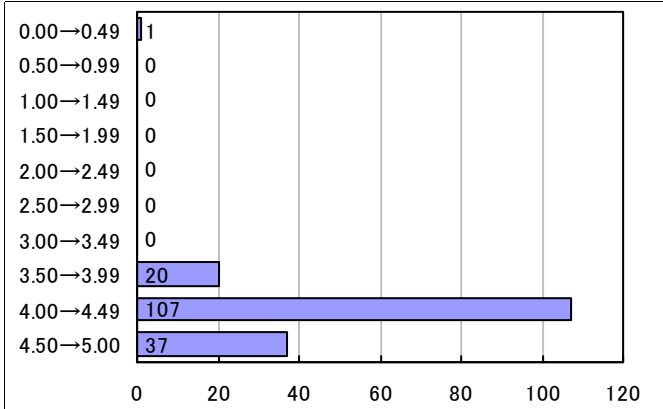
■法学部



平均値 = 3.65

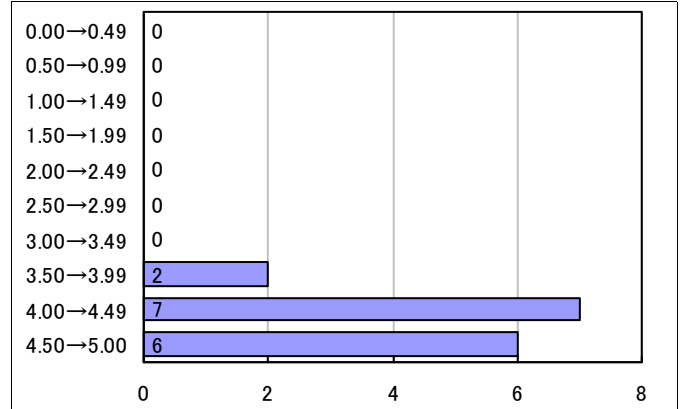
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)

■全体



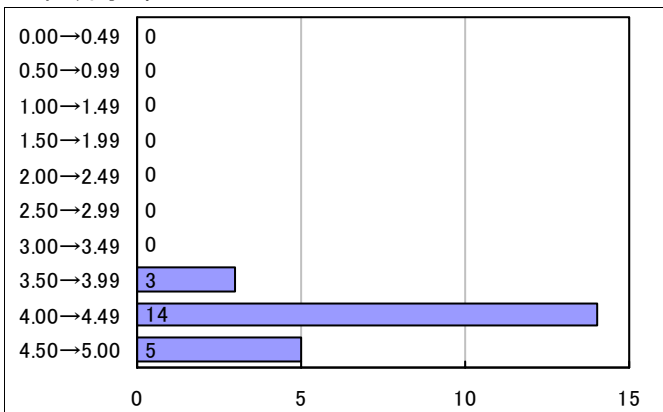
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・管理栄養学科



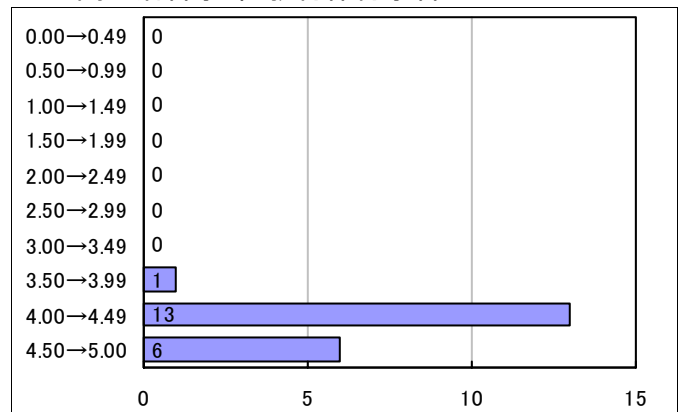
平均値 = 4.36

■経済学部



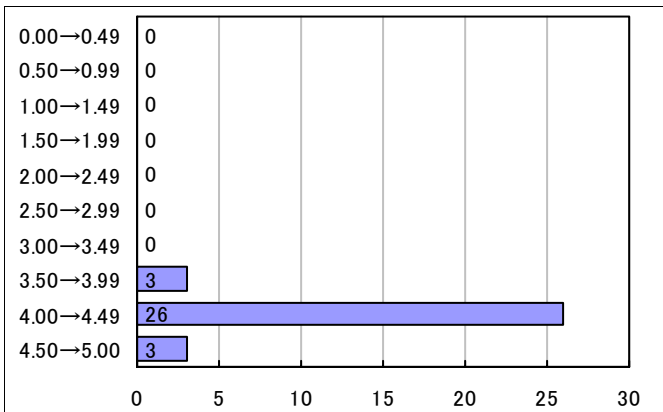
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・教育保育学科



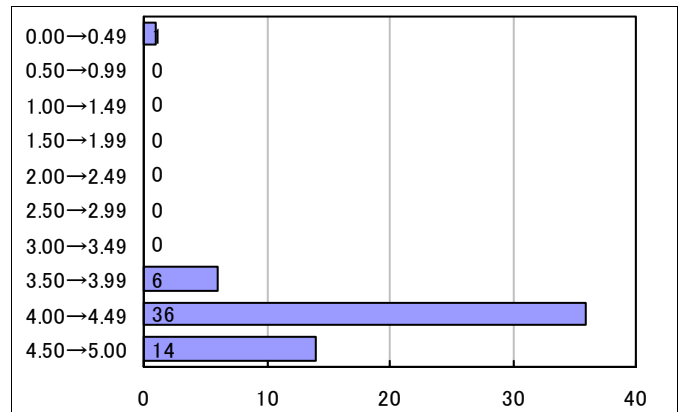
平均値 = 4.21

■経営学部



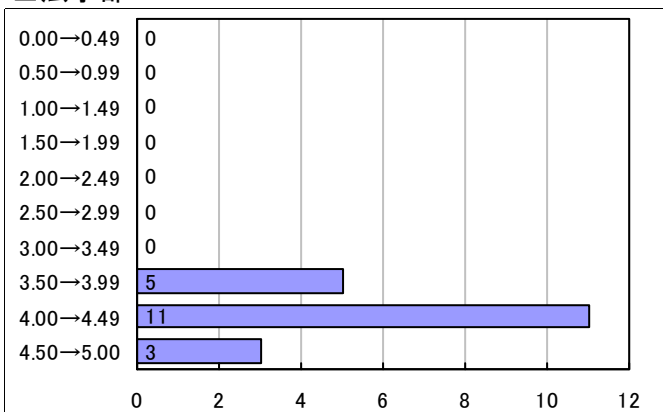
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 4.23

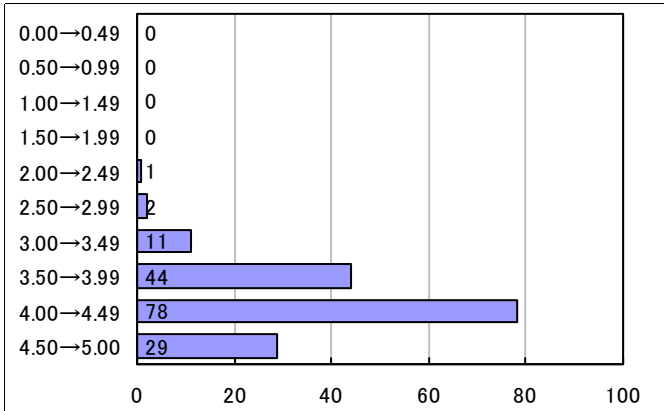
■法学部



平均値 = 4.10

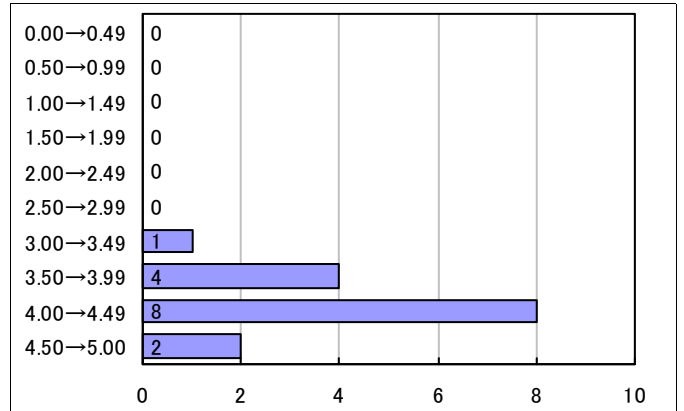
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



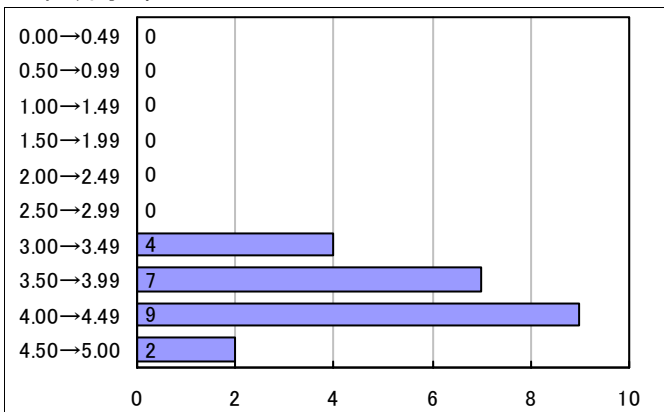
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・管理栄養学科



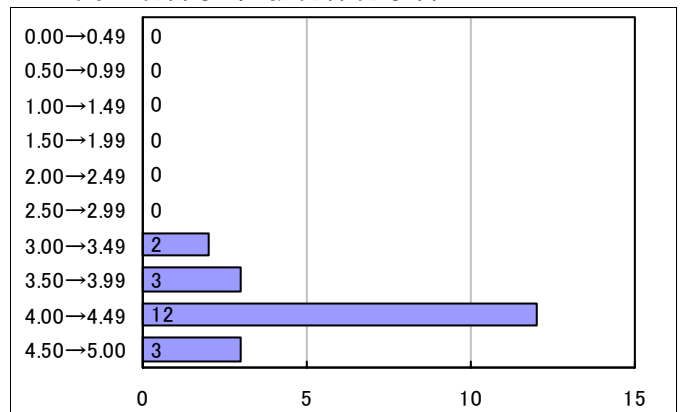
平均値 = 4.09

■経済学部



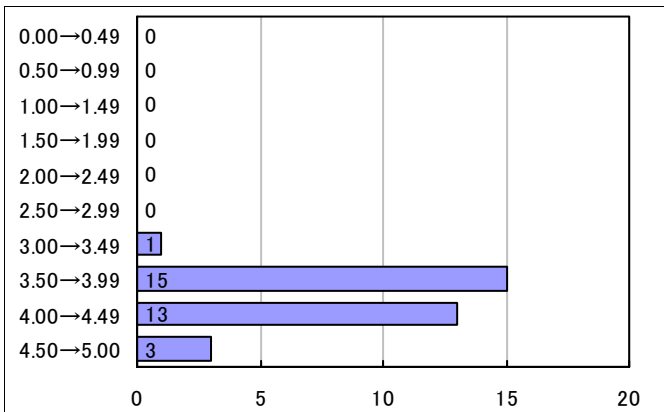
平均値 = 3.90

■人間生活科学部・教育保育学科



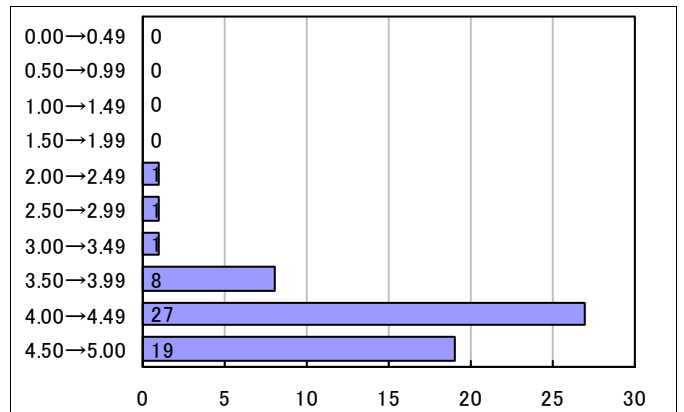
平均値 = 4.07

■経営学部



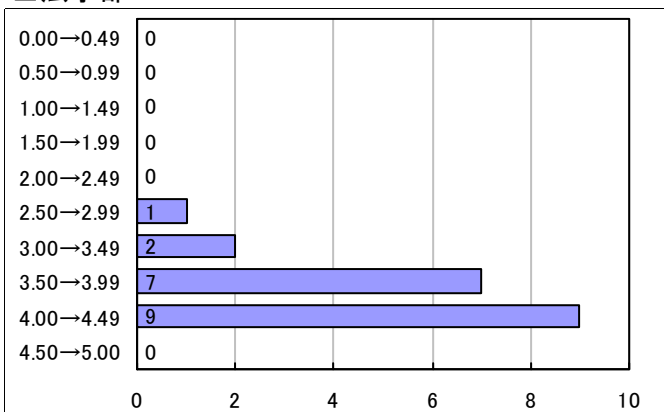
平均値 = 3.96

■非常勤



平均値 = 4.03

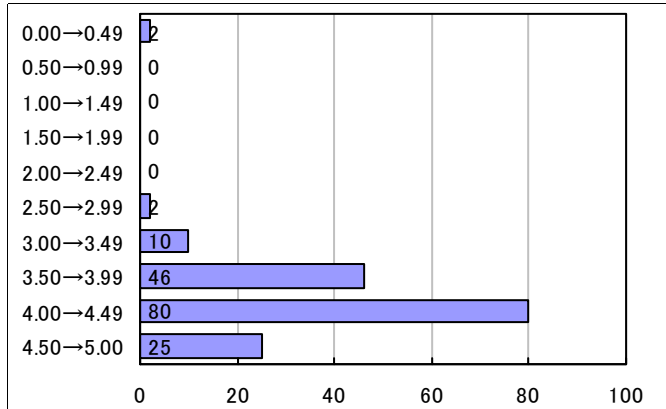
■法学部



平均値 = 3.75

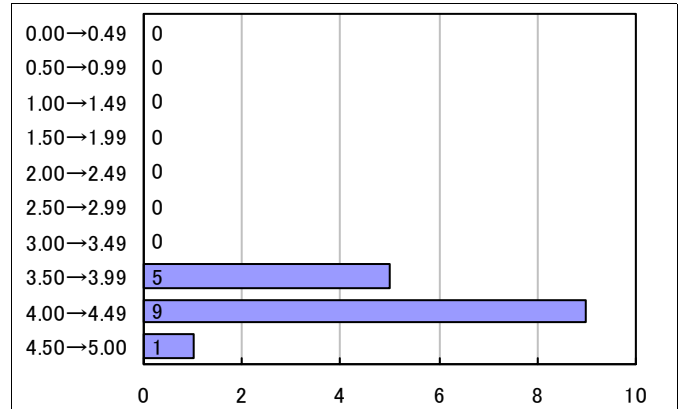
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



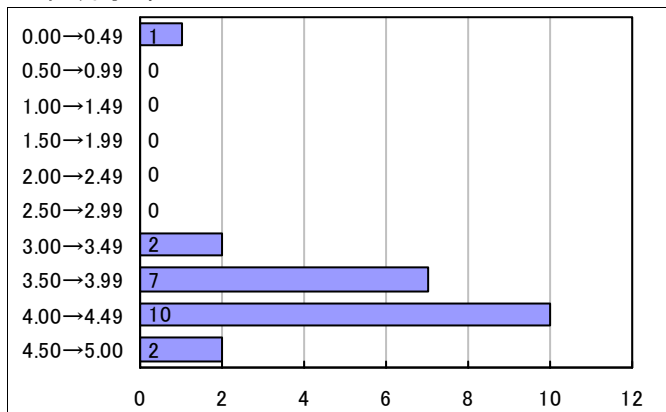
平均値 = 3.93

■人間生活科学部・管理栄養学科



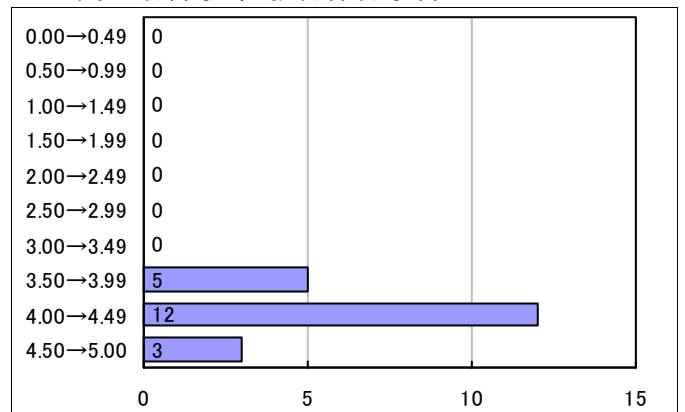
平均値 = 4.09

■経済学部



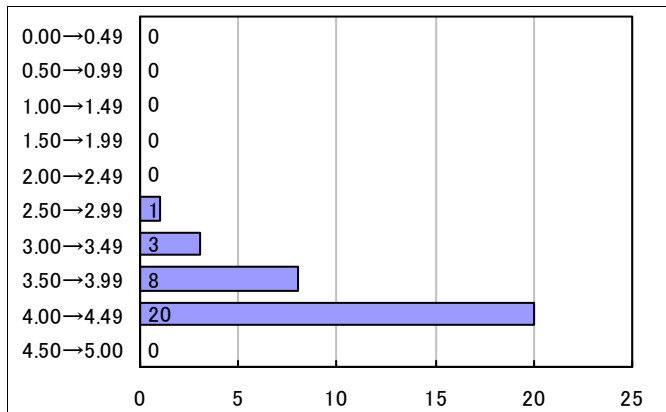
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



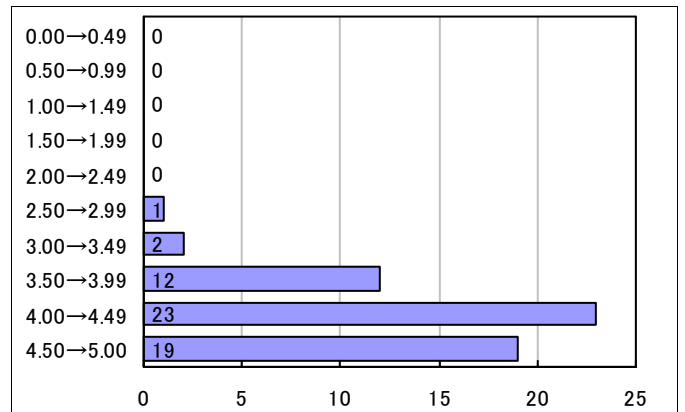
平均値 = 4.12

■経営学部



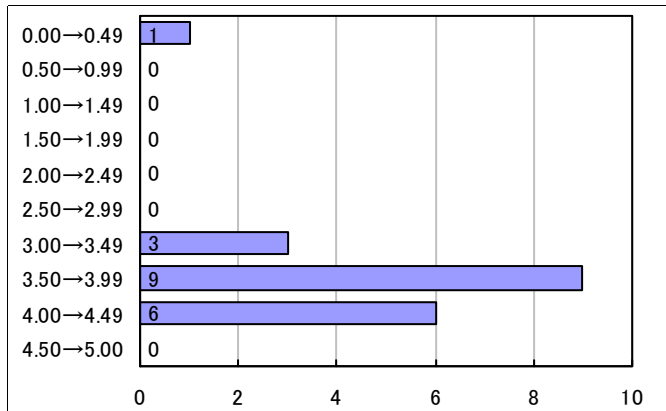
平均値 = 3.95

■非常勤



平均値 = 4.01

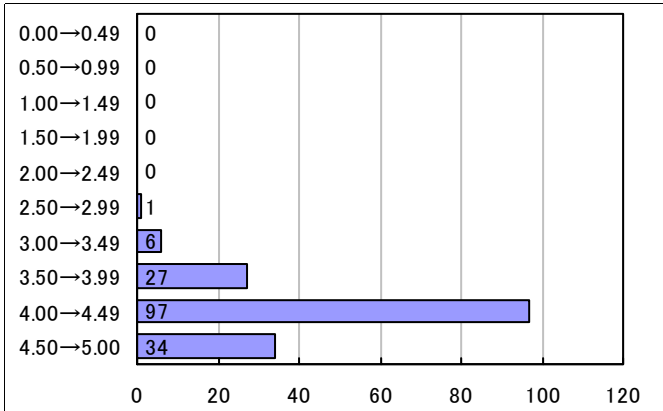
■法学部



平均値 = 3.70

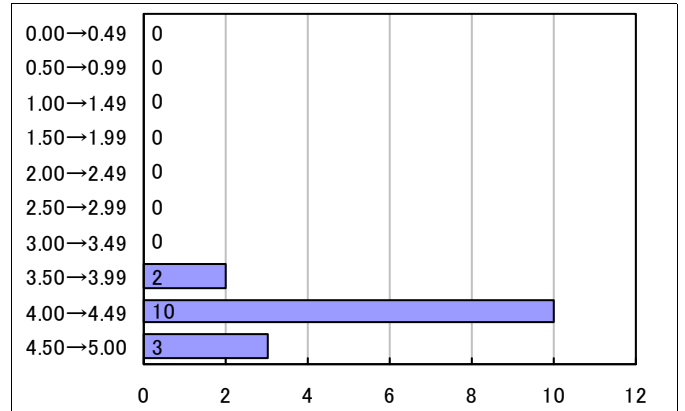
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



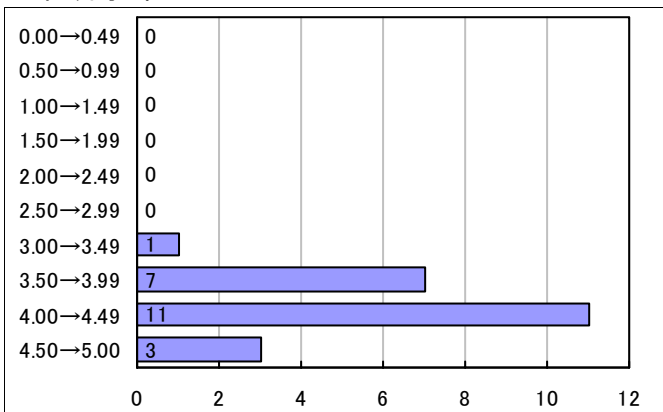
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



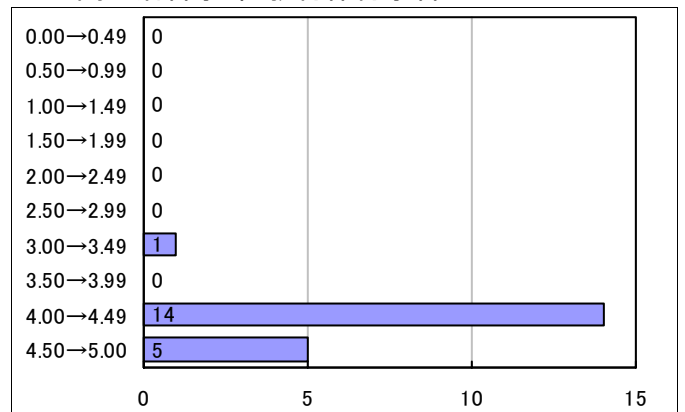
平均値 = 4.31

■経済学部



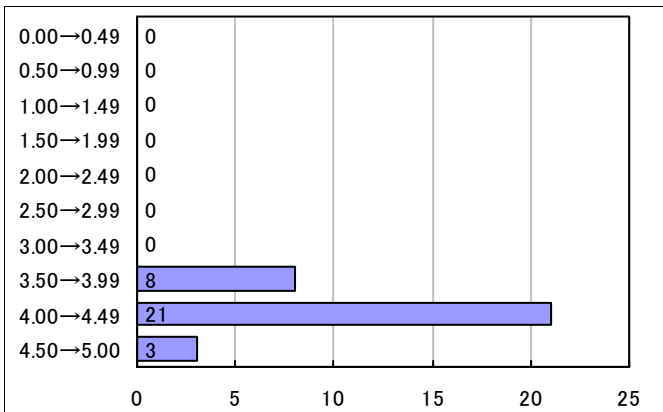
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・教育保育学科



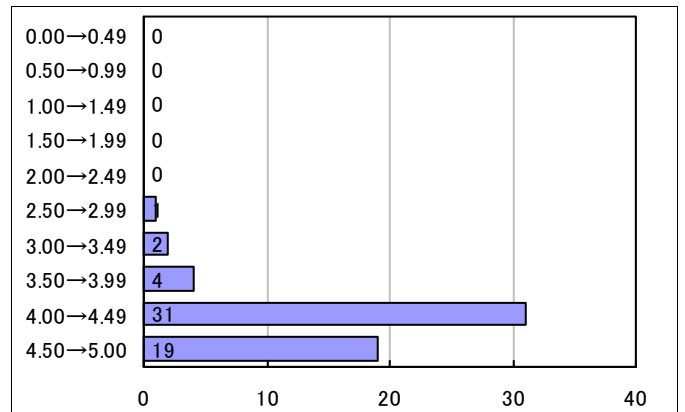
平均値 = 4.26

■経営学部



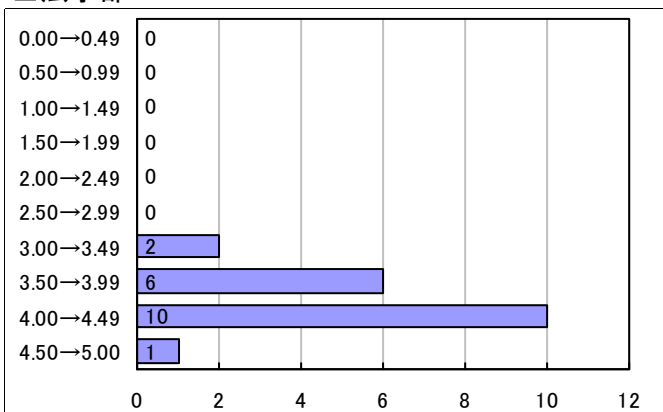
平均値 = 4.09

■非常勤



平均値 = 4.15

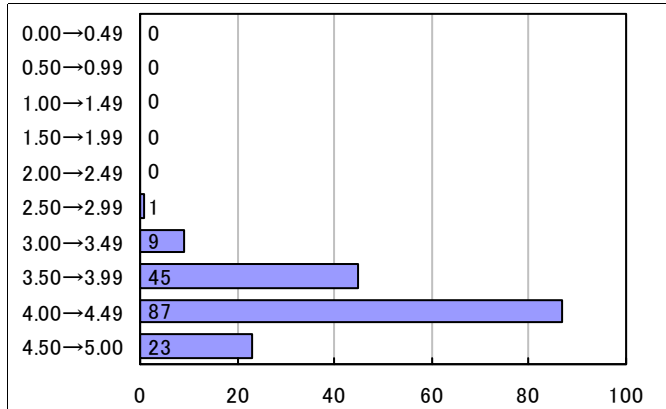
■法学部



平均値 = 3.86

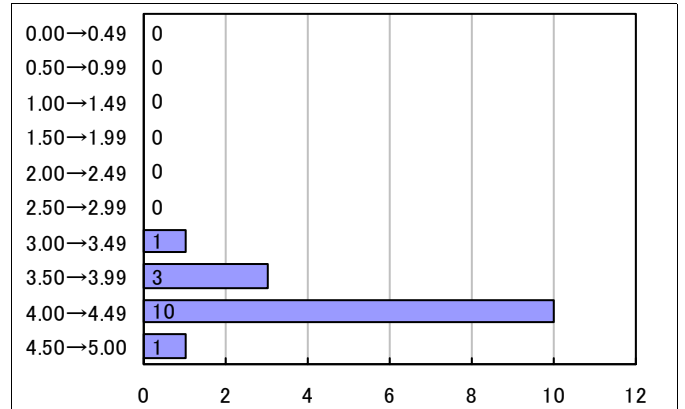
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



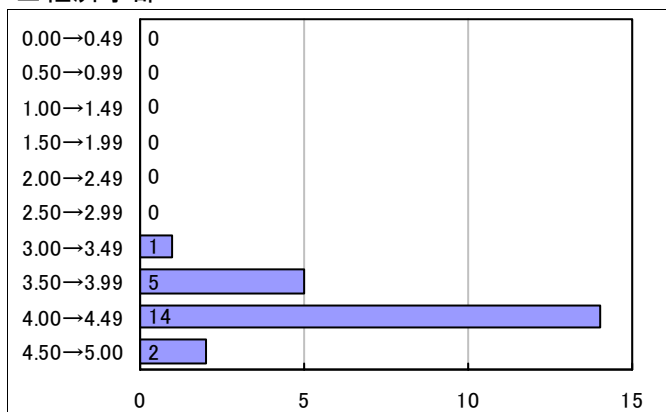
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



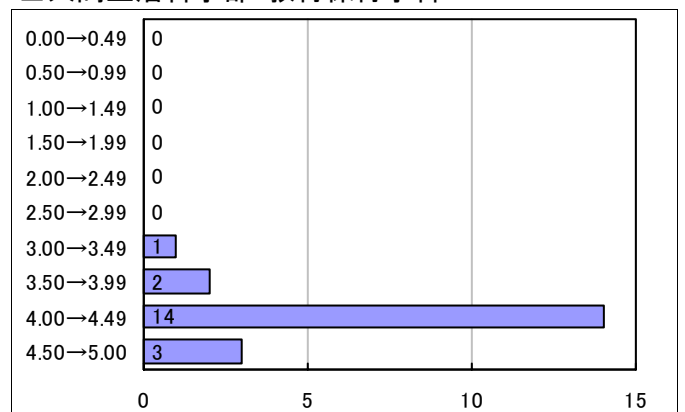
平均値 = 4.04

■経済学部



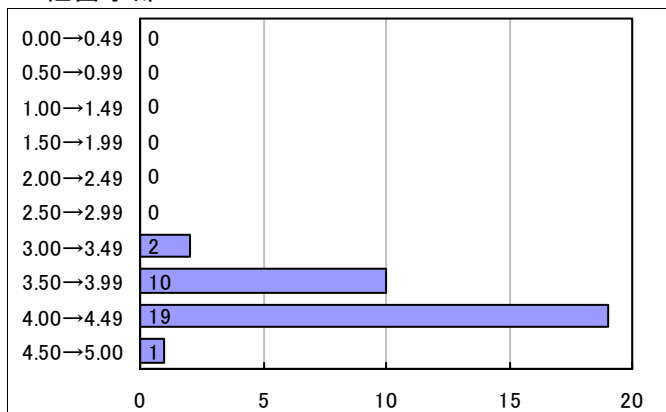
平均値 = 3.98

■人間生活科学部・教育保育学科



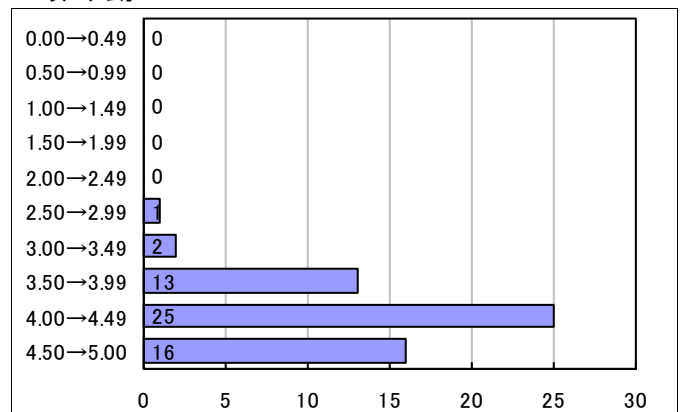
平均値 = 4.12

■経営学部



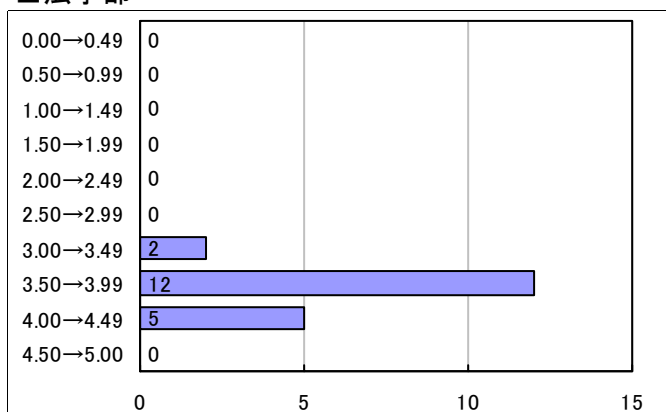
平均値 = 3.97

■非常勤



平均値 = 4.06

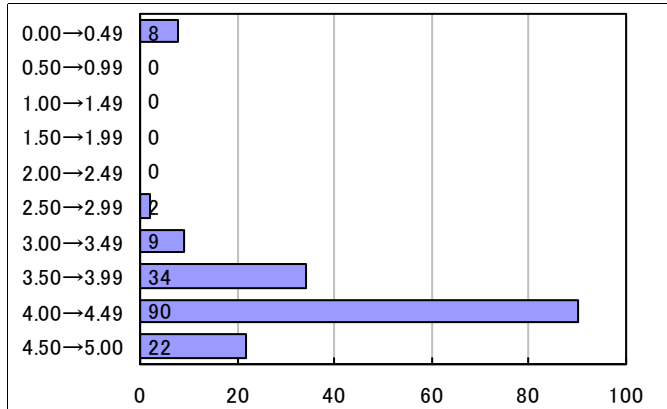
■法学部



平均値 = 3.78

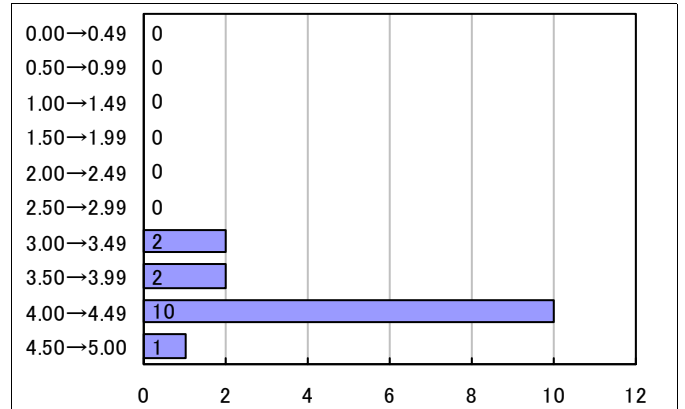
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



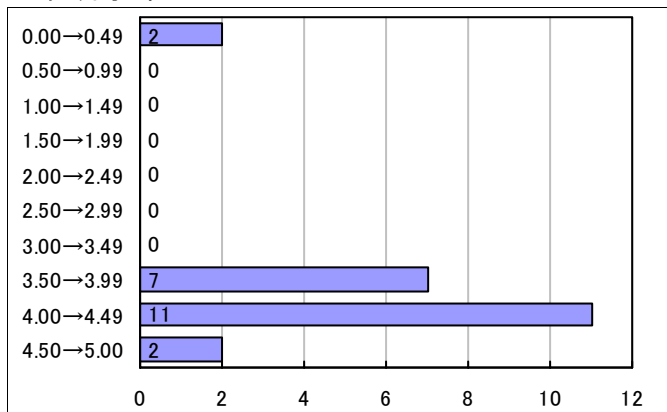
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



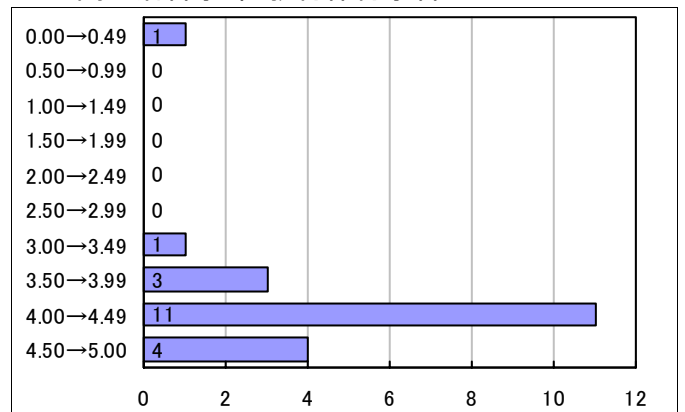
平均値 = 4.10

■経済学部



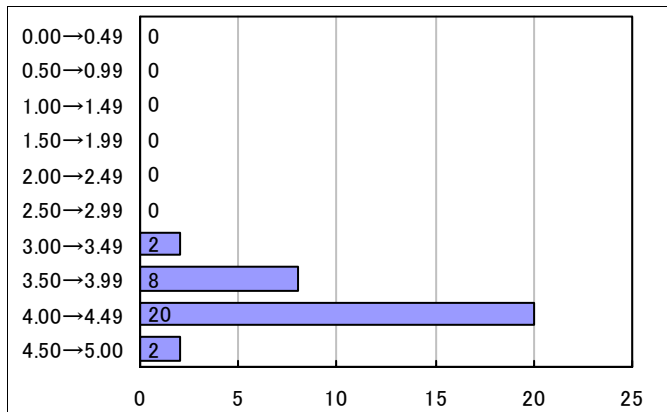
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・教育保育学科



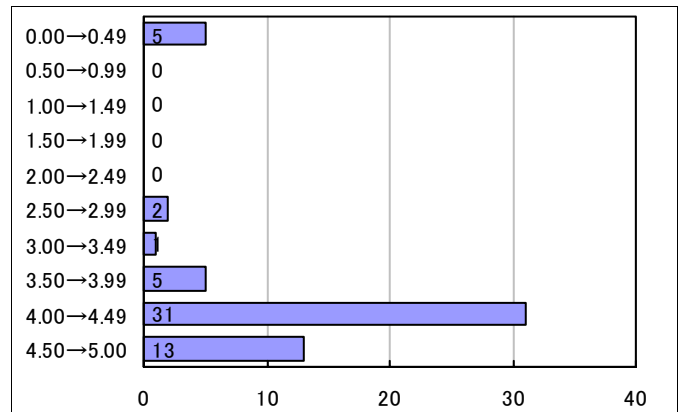
平均値 = 4.13

■経営学部



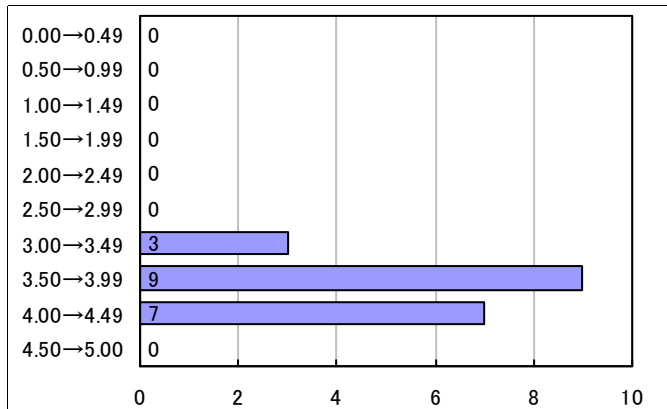
平均値 = 4.03

■非常勤



平均値 = 4.10

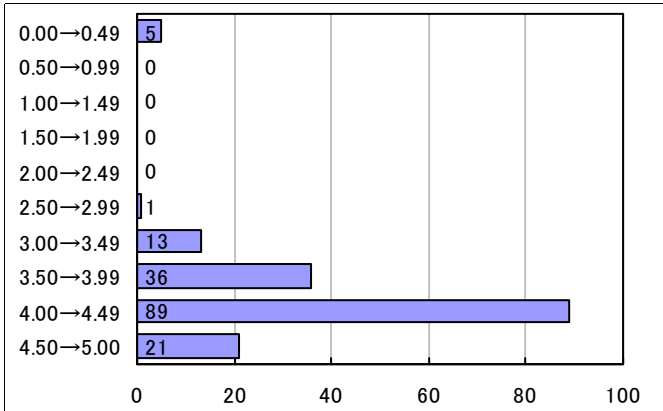
■法学部



平均値 = 3.84

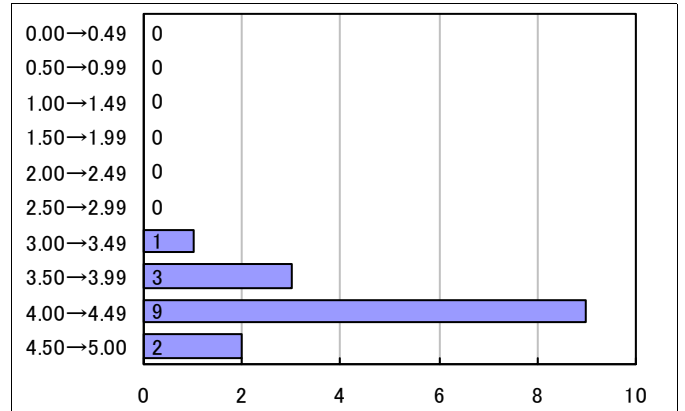
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



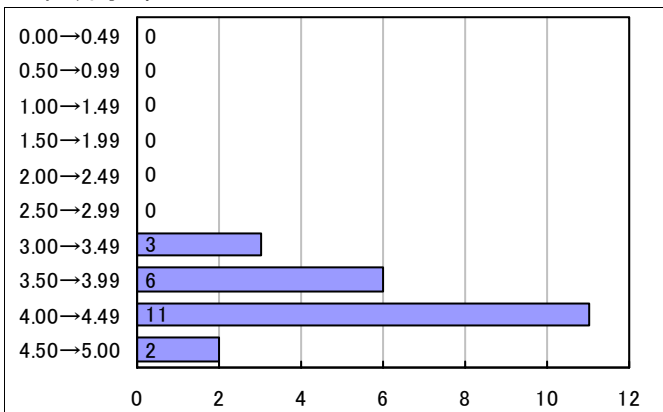
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



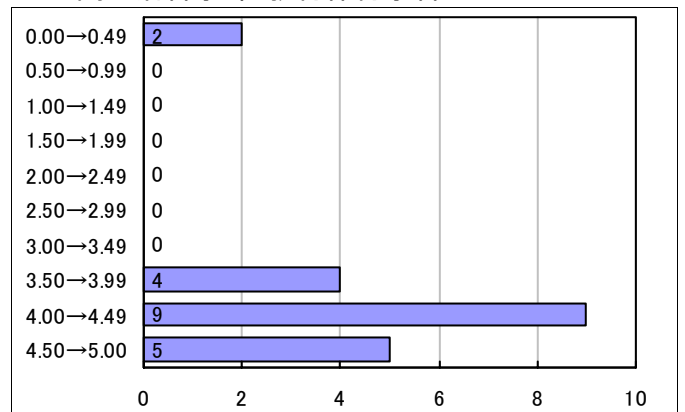
平均値 = 4.14

■経済学部



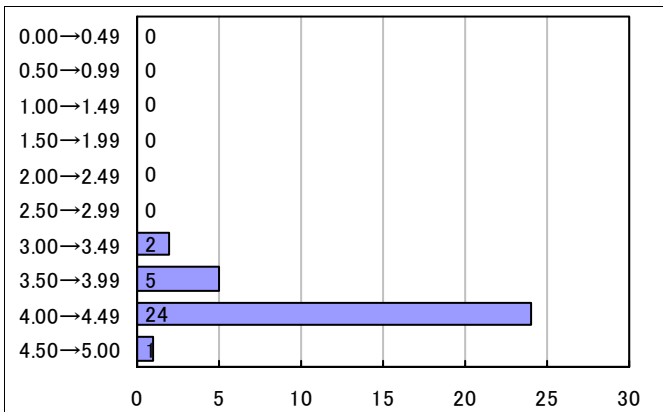
平均値 = 3.98

■人間生活科学部・教育保育学科



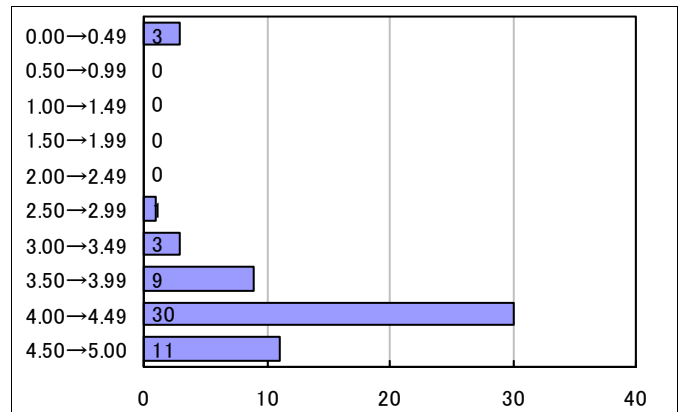
平均値 = 4.13

■経営学部



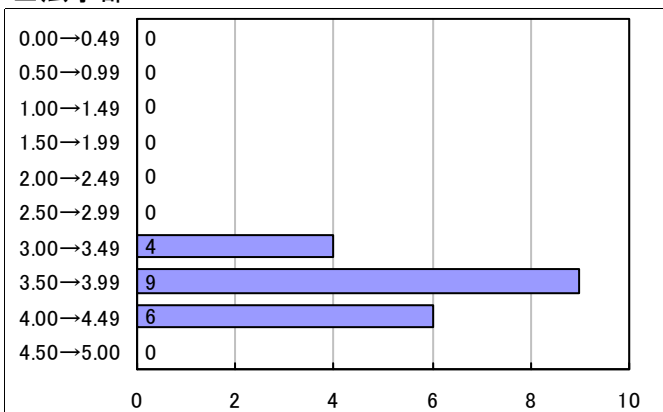
平均値 = 4.04

■非常勤



平均値 = 3.98

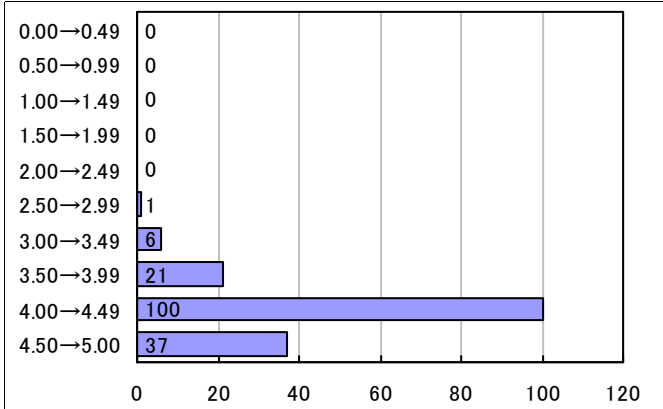
■法学部



平均値 = 3.74

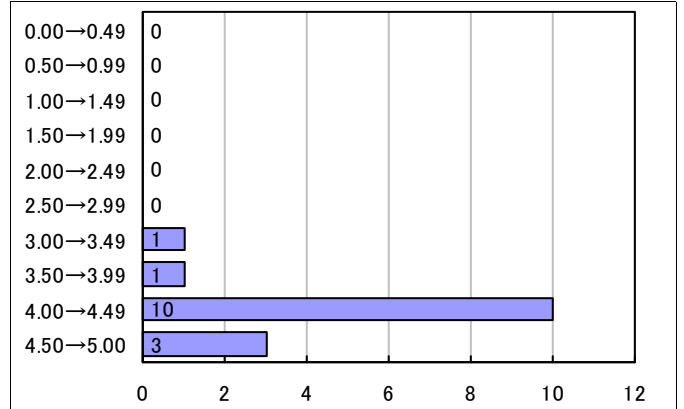
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



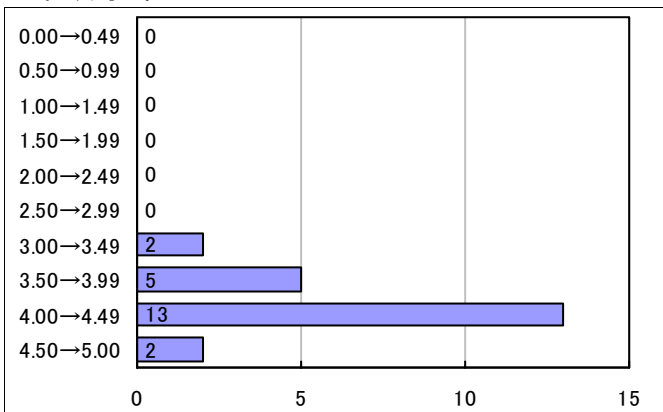
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・管理栄養学科



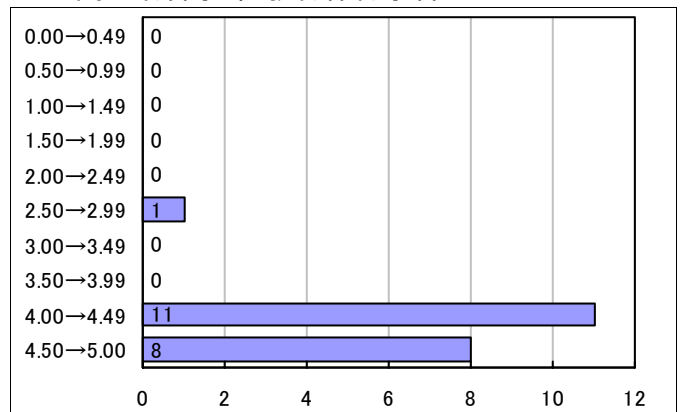
平均値 = 4.26

■経済学部



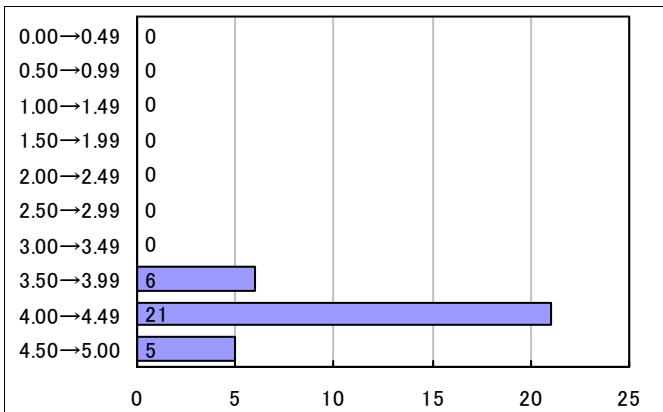
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・教育保育学科



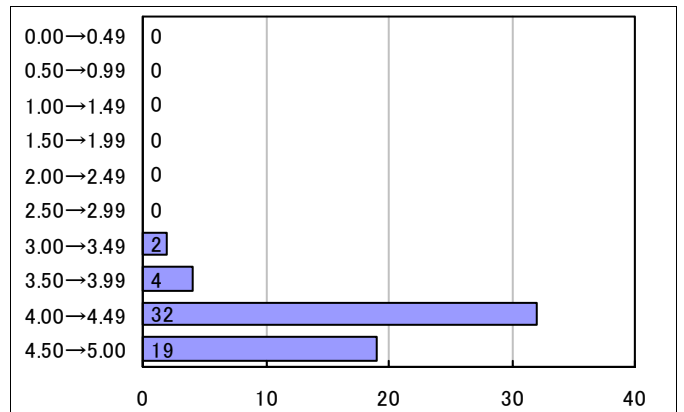
平均値 = 4.23

■経営学部



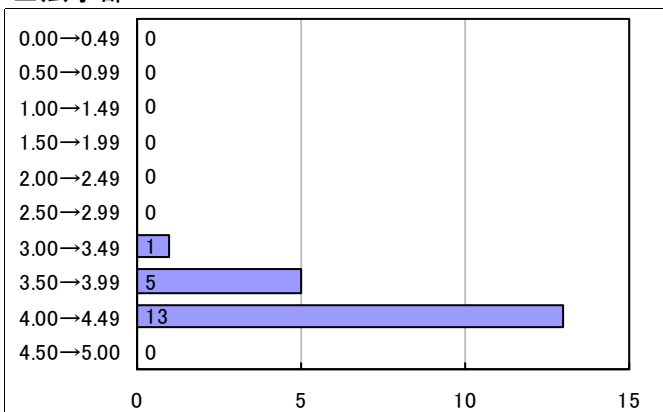
平均値 = 4.13

■非常勤



平均値 = 4.20

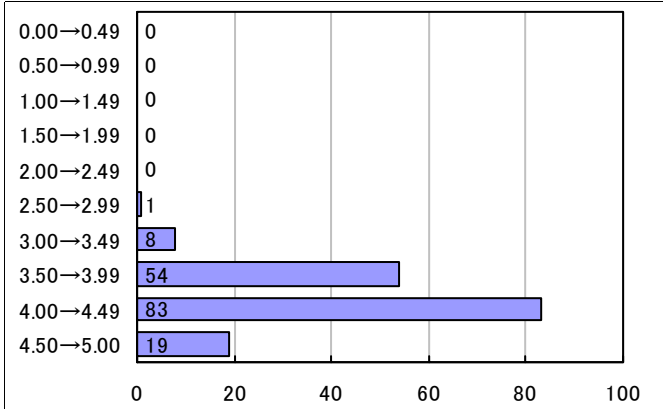
■法学部



平均値 = 3.96

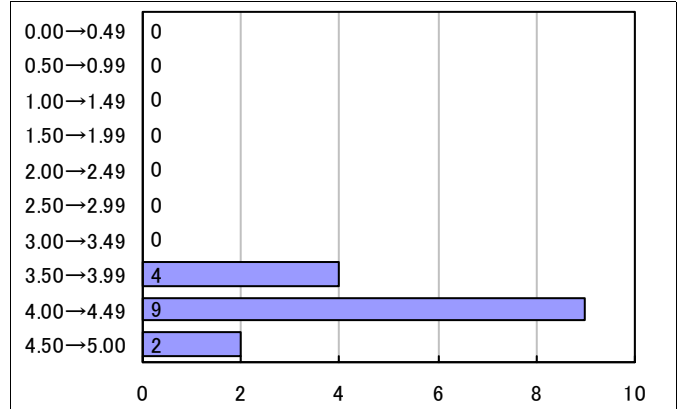
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



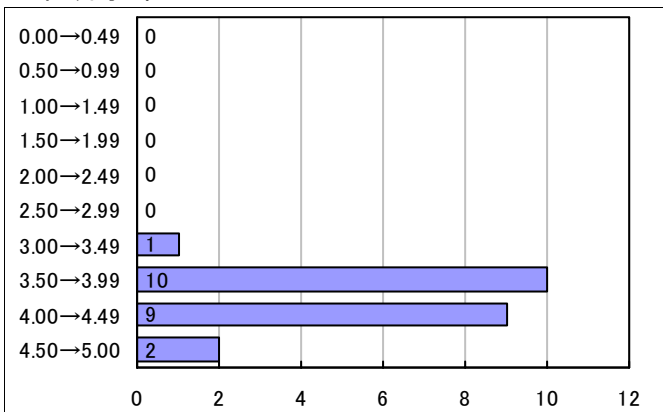
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・管理栄養学科



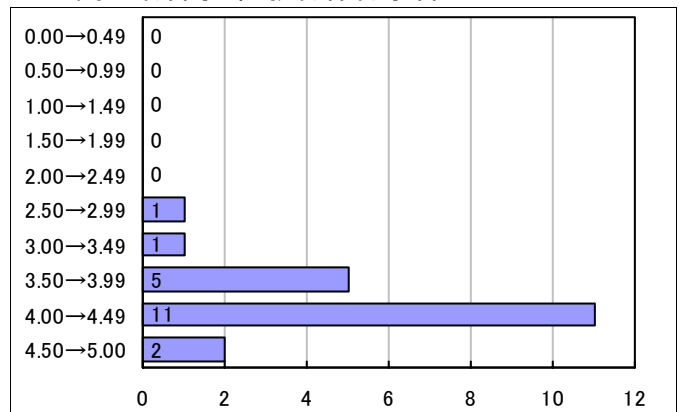
平均値 = 4.15

■経済学部



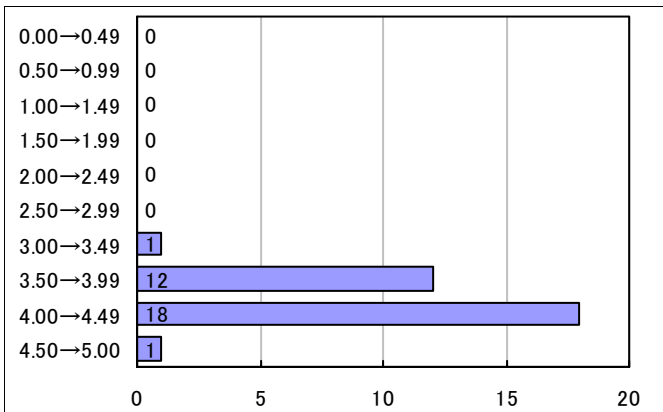
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



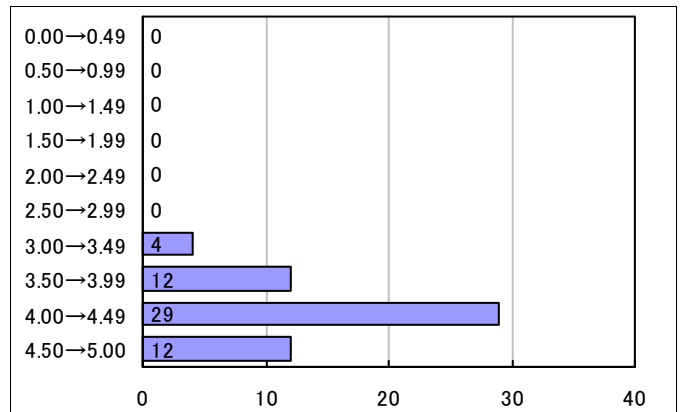
平均値 = 3.98

■経営学部



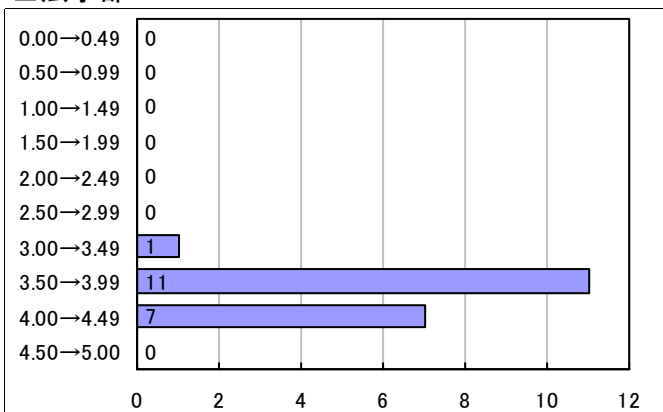
平均値 = 3.98

■非常勤



平均値 = 3.99

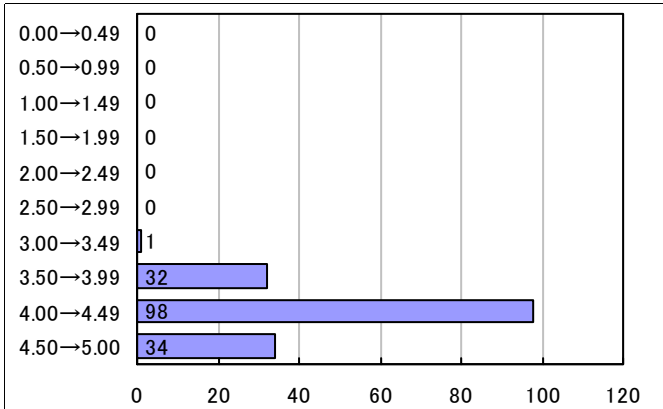
■法学部



平均値 = 3.77

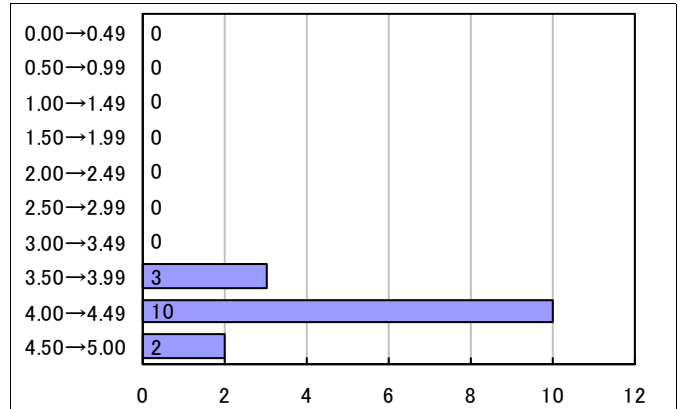
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



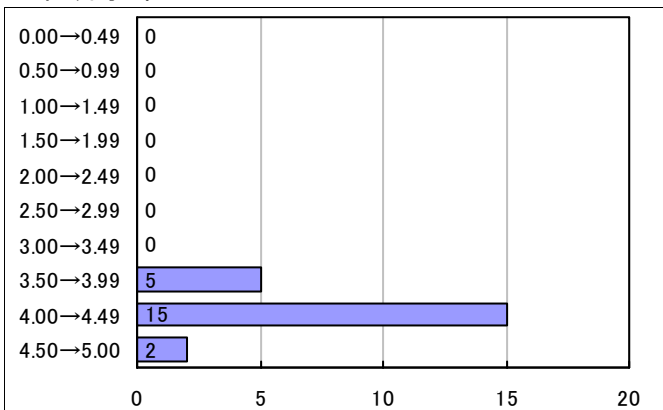
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



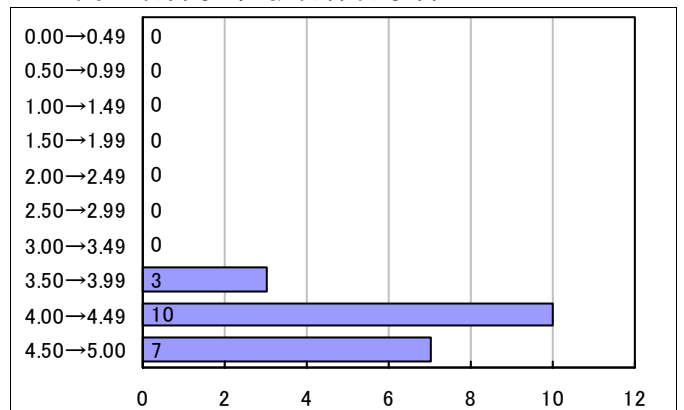
平均値 = 4.29

■経済学部



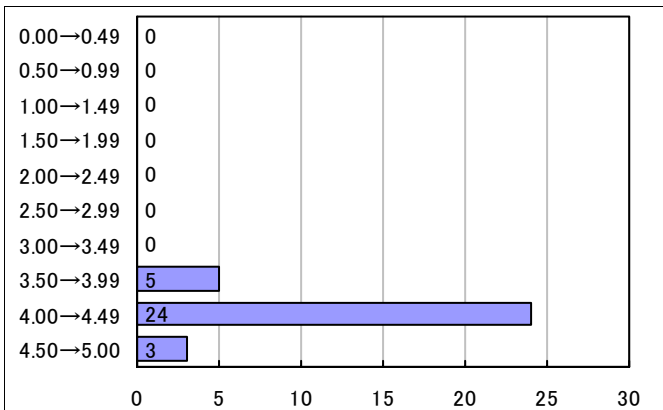
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・教育保育学科



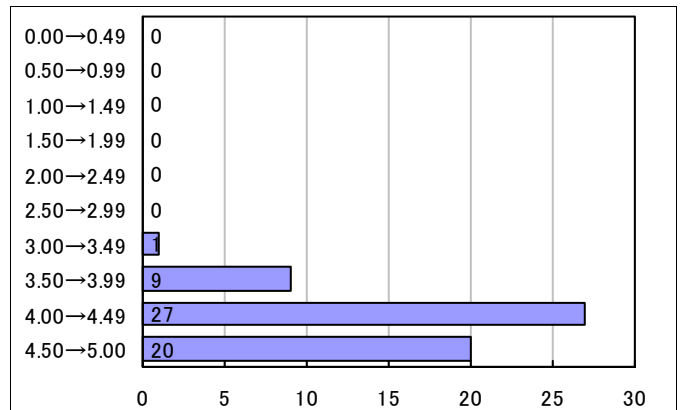
平均値 = 4.25

■経営学部



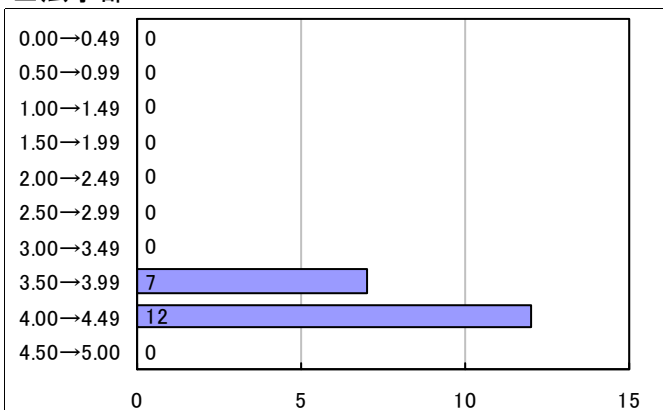
平均値 = 4.16

■非常勤



平均値 = 4.18

■法学部



平均値 = 3.97

2018(平成 30)年度前期授業評価アンケート結果 <学生視点>

1. 学部学科別

<学部学科別回答数 * >

	回答数
経済	2336
経営	2985
法	2581
教育保育	1159
管理栄養	801

* 設問1の回答数

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.1	4.2	4.0	4.3	4.6
2	3.8	3.9	3.7	3.9	3.7
3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1
4	3.9	4.0	3.8	4.1	3.9
5	3.9	3.9	3.8	4.1	3.9
6	4.1	4.1	4.0	4.3	4.1
7	4.0	4.0	3.8	4.2	3.9
8	4.0	4.1	3.9	4.2	4.1
9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0
10	4.1	4.1	4.0	4.3	4.1
11	3.9	4.0	3.8	4.1	3.9
12	4.2	4.2	4.0	4.3	4.2
13	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7

2. 留学生

<設問 C 回答より: 留学生の回答割合>

	回答総数	留学生回答数	留学生による 回答割合
経済	2337	761	32.56%
経営	2983	1293	43.35%

<留学生のみ>

設問	経済	経営
1	4.1	4.2
2	4.3	4.3
3	4.3	4.3
4	4.2	4.2
5	4.2	4.3
6	4.3	4.3
7	4.2	4.2
8	4.2	4.2
9	4.2	4.2
10	4.2	4.3
11	4.2	4.2
12	4.3	4.4
13	4.0	4.1

<留学生除く>

設問	経済	経営
1	4.1	4.1
2	3.6	3.6
3	4.1	4.2
4	3.8	3.8
5	3.8	3.7
6	4.0	4.0
7	3.9	3.8
8	4.0	4.0
9	3.9	3.9
10	4.0	4.0
11	3.8	3.8
12	4.1	4.1
13	3.5	3.5

3. スポーツ学生

＜設問 D 回答より:スポーツ学生の回答割合＞

	回答総数	スポーツ学生 回答数	スポーツ学生による 回答割合
経済	2316	246	10.62%
経営	2952	376	12.74%
法	2572	1374	53.42%
教育保育	1154	187	16.20%

＜スポーツ学生のみ＞

設問	経済	経営	法	教育保育
1	3.9	4.1	3.8	4.3
2	4.0	4.1	3.7	3.9
3	4.3	4.3	4.2	4.2
4	4.0	4.0	3.8	4.1
5	4.0	4.0	3.8	4.1
6	4.1	4.2	3.9	4.3
7	4.1	4.0	3.8	4.2
8	4.0	4.1	3.8	4.2
9	4.1	4.1	3.9	4.1
10	4.1	4.2	3.9	4.3
11	4.0	4.1	3.8	4.1
12	4.2	4.2	4.0	4.3
13	4.0	3.9	3.5	4.4

＜スポーツ学生除く＞

設問	経済	経営	法	教育保育
1	4.1	4.2	4.2	4.3
2	3.8	3.9	3.7	3.9
3	4.2	4.3	4.2	4.3
4	3.9	4.0	3.9	4.1
5	3.9	3.9	3.8	4.1
6	4.1	4.1	4.1	4.3
7	4.0	4.0	3.9	4.2
8	4.0	4.1	4.0	4.2
9	4.0	4.0	3.9	4.1
10	4.1	4.1	4.1	4.3
11	3.9	4.0	3.8	4.1
12	4.2	4.2	4.1	4.3
13	3.6	3.7	3.6	3.7

2018(平成 30)年度後期授業評価アンケート結果 <学生視点>

1. 学部学科別

<学部学科別回答数 * >

	回答数
経済	1780
経営	2198
法	1627
教育保育	631
管理栄養	714

* 設問1の回答数

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.0	4.1	3.9	4.2	4.4
2	3.9	4.0	3.7	3.8	3.8
3	4.1	4.2	4.2	4.2	4.4
4	3.9	4.0	3.8	4.0	3.9
5	3.9	4.0	3.8	4.0	3.9
6	4.0	4.1	3.9	4.2	4.2
7	4.0	4.0	3.8	4.0	3.9
8	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1
9	4.0	4.1	3.8	4.0	4.0
10	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2
11	3.9	4.0	3.8	4.0	4.0
12	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2
13	3.6	3.5	3.6	2.9	3.4

2. 留学生

<設問 C 回答より: 留学生の回答割合>

	回答総数	留学生回答数	留学生による 回答割合
経済	1774	756	42.61%
経営	2196	1177	53.60%

<留学生のみ>

設問	経済	経営
1	4.1	4.2
2	4.2	4.3
3	4.2	4.3
4	4.1	4.2
5	4.2	4.3
6	4.2	4.3
7	4.1	4.2
8	4.1	4.2
9	4.1	4.2
10	4.2	4.3
11	4.1	4.2
12	4.2	4.3
13	3.9	3.7

<留学生除く>

設問	経済	経営
1	4.0	3.9
2	3.6	3.6
3	4.0	4.2
4	3.7	3.8
5	3.8	3.7
6	3.9	3.9
7	3.9	3.9
8	3.9	3.9
9	3.8	3.9
10	4.0	4.0
11	3.7	3.8
12	4.0	4.1
13	3.5	3.4

3. スポーツ学生

＜設問 D 回答より:スポーツ学生の回答割合＞

	回答総数	スポーツ学 生 回答数	スポーツ学生によ る 回答割合
経済	1763	251	14.24%
経営	2171	301	13.86%
法	1613	782	48.48%
教育保育	631	87	13.79%
管理栄養	708	115	16.24%

＜スポーツ学生のみ＞

設問	経済	経営	法	教育保育
1	4.1	4.1	3.6	4.1
2	4.2	4.0	3.7	3.7
3	4.3	4.1	4.1	3.9
4	4.1	4.0	3.8	4.0
5	4.1	4.0	3.7	3.9
6	4.2	4.1	3.9	4.1
7	4.1	4.0	3.8	4.0
8	4.1	4.1	3.8	3.9
9	4.2	4.0	3.8	3.8
10	4.2	4.1	3.9	4.1
11	4.1	4.0	3.7	3.9
12	4.2	4.1	3.9	4.0
13	4.2	3.7	3.6	3.5

＜スポーツ学生除く＞

設問	経済	経営	法	教育保育
1	4.0	4.1	4.1	4.2
2	3.8	4.0	3.8	3.8
3	4.1	4.2	4.2	4.2
4	3.9	4.0	3.9	4.0
5	3.9	4.0	3.8	4.0
6	4.0	4.1	4.0	4.2
7	4.0	4.0	3.9	4.0
8	4.0	4.1	4.0	4.1
9	3.9	4.1	3.9	4.1
10	4.0	4.2	4.1	4.2
11	3.9	4.0	3.9	4.0
12	4.1	4.2	4.1	4.2
13	3.5	3.5	3.6	2.6

2018(平成 30)年度前期 経済学部授業評価アンケート結果報告

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	3,021	2,969	2,071	69.75
【全体】	13,646	13,594	9,909	72.89

3科目が未実施だったため回収率は90.91%である(対象科目数33、回収科目数30)。回答率は69.75%であり、平成29年度前期の63.83%、平成29年度後期の64.28%より上回っている。大学全体の回答率72.89%より低い回答率である。

2. 経済学部教員の所属別集計結果

	内容	平 29 前期	平 29 後期	平 30 前期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.0	4.0	4.1
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	4.0	3.8
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)	3.8	3.9	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.8	3.9	3.8
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	3.9	3.8
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.1	4.0
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	3.9	4.0	3.8
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.1	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.0	3.8
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.0	4.1	3.9
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	3.9	3.9
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.1	4.1
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	X	3.9	3.6

今回から、設問2では「予習・復習を含め」が加わり、設問3では「(設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)」が加わった。

平成29年度前期、経済学部の所属教員の複数教員による授業はなかったが、平成30年度前期にはあった。

平成 29 年度前期と比べ、平成 30 年度前期は、4 個の設問の値が同じであり、2 個の設問でわずかに 29 年度前期を上回っている。6 個の設問でわずかに 29 年度前期を下回っている。平成 29 年度後期と比べ、平成 30 年度前期は、2 個の設問の値が同じであり、2 個の設問でわずかに 29 年度後期を上回っている。9 個の設問でわずかに 29 年度後期を下回っている。平成 30 年度前期の値が平成 29 年度前期、平成 29 年度後期と比べ、上回るあるいは下回るといっても 0.1 程度のものであり誤差の範囲ともいえるかもしれない。

設問 3 が平成 29 年度前期後期に比べ 0.3~0.4 上回っている。これは、今回から、設問 E 「あなたはこの授業のシラバスを読みましたか」で「はい」と答えた人のみ回答することになった影響と思われる。

設問 13 については注意を要する。経済学部は平成 28 年度以降、専門共通基礎 I の複数教員によるオムニバス形式を解除し、各科目を個人担当で担当することにした。平成 28 年度前期には値 3.0 を示していたが、この時の経済学部の専門共通基礎 I は複数教員による授業に該当しない。設問 13 に該当し得るのは経済学部教員を含む複数教員による授業（共通科目）のみであった。平成 30 年度前期の値 3.6 についても同様のことがいえ、該当し得るのは専門共通基礎 I 以外の経済学部教員を含む複数教員による授業である。

3. 学生視点集計結果

〔全体〕

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	4.1	3.8	4.2	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	3.7
留学生のみ	4.1	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.0
留学生を除く	4.1	3.6	4.1	3.8	3.8	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	3.5
スポーツ学生のみ	3.9	4.0	4.3	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0
スポーツ学生を除く	4.1	3.8	4.2	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	3.6

経済学部の学生は他学部所属の教員の複数教員による授業を受けている。

全体的に平成 29 年度前期の値と比べ、微減しているようである。学生視点の値を学年全体学生の属性別にみると、「全学生」の値は、平成 29 年度前期の値より 0.1 下がった設問の数が多い。「留学生のみ」の値は、全学生の値と似ており、平成 29 年度前期の値より 0.1 下がった設問が多い。「留学生を除く」の値も、「全学生」の値と似ており、平成 29 年度前期の値より 0.1 下がった設問が多く、0.2 下がった設問も幾つかある。「スポーツ学生のみ」の値は、平成 29 年度前期の値より 0.2 下がった設問が多い。「スポーツ学生を除く」の値は、平成 29 年度前期の値より 0.1 下がった設問があるものの、他の属性に比べて値を下げた設問が最も少ない。

設問 2 「予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだか」が、平成 29 年度前期の値と比べて「留学生を除く」と「スポーツ学生のみ」で 0.3 低い。スポーツ学生が意欲的に取

り組まなかったと答えたようである。また、設問 3 が平成 29 年度前期と比べ値を上げている。設問内容の変更による影響と思われる。

設問全体、属性全体でみて、平成 29 年度前期に比べ値をわずかに下げている傾向がみられる。

学生視点での集計のうち、「留学生のみ」の値は「全学生」の値に比べ、すべての設問で高い。「スポーツ学生のみ」の値は、「全学生」の値に比べ、設問 1 を除くすべての設問で 0.1 ほど高い。ただし、平成 29 年度前期と比べると値を下げている。29 年度前期はわずかに低いものの「留学生のみ」の値とほぼ同じ値で高かった。「留学生を除く」の値は、「全学生」の値に比べ、ほとんどの設問で 0.1 下回っている。また、ほとんどの設問で「留学生のみ」の値および「スポーツ学生のみ」の値よりも低い。ただし、「留学生のみ」の値と「スポーツ学生のみ」の値、各々との差は 0.1 ほどであり、差が平成 29 年度前期より縮まっているようである。スポーツ学生の値が、スポーツ学生を除く日本人学生の値に近かった可能性がある。

過去と同様、「留学生」の値が相対的に高い傾向がある。平成 30 年度前期もスポーツ学生を除く日本人学生の値と「留学生」および「スポーツ学生」の値との間には開きがあるが、「スポーツ学生」との差はやや縮んだようである。

〔学年別〕

全学生

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 年	4.2	3.7	4.2	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	3.6
2 年	4.0	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	3.9	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	3.8
3 年	4.0	4.1	4.3	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.2	3.7
4 年	3.6	3.9	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1	3.8

5 年以上は有効数が 1 すなわちアンケート回答者は 1 名だった。

学生視点の値を学年別にみると、1 年は平成 29 年度前期より 0.1～0.2 下回る設問が複数ある。上回る設問はほとんどない。2 年は平成 29 年度前期より 0.1～0.2 上回る設問がかなりある。0.1 ほど下回る設問もわずかにある。3 年は平成 29 年度前期より 0.1 ほど上回る設問もあれば、0.1 ほど下回る設問もある。上回るもの下回るもの各々同じ位の数である。4 年は 0.1～0.2 の幅で、平成 29 年度前期より上回る設問も幾つかあるが、下回る設問の方が多。

過去と同様に学年が上がるほど出席率が下がる傾向がある。平成 29 年度前期に、2～4 年生で見られた出席率の改善がわずかに後退した可能性がある。

設問ごとに学年別の値をみると、学年毎の値に違いはあるものの、多くの設問で値の開きはわずかである。

その他、各学年にわたり設問 13 は総じて低い値となっている。平成 29 年度前期と同じ傾向である。また、設問 3 の値は各学年にわたり平成 29 年度前期に比べても、他の設問の値に比べても、総じて高い値となっている。設問内容を変更した影響があると思われる。

4. 履修者数別集計結果

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1-50	4.0	3.8	4.2	3.8	3.6	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	3.9	4.1	3.8
51-100	4.1	3.8	4.2	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	4.3	3.6
101-150	4.1	3.7	4.1	3.7	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.0	0.0
151-200	4.0	3.9	4.2	3.7	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	0.0
201-250	4.1	4.0	4.4	3.9	4.0	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	0.0

教室規模で見た場合、値にはばらつきがみられるものの、教室規模にかかわらずおよそ 4 前後である。設問ごとに各々の教室規模の値を見ると、値にはばらつきはあるものの 0.1～0.2 の差であり、およそ同程度の値といえる。

ただし、1～150 人までの授業は多くの設問で平成 29 年度前期の値よりもわずかに下回っている傾向がある。一方、「151-200」の値は平成 29 年度前期より 0.3 ほど上回っている設問が多い。「201-250」の授業数は平成 29 年度前期は 0 だった。教室規模が大きな授業の数が増えたことは、入学者数の増加が影響しているのかもしれない。

なお、どの教室規模でも設問 3 の値は大きなものとなっており設問内容の変更による影響と思われる。

5. 設問 4「わかりやすさ」、設問 5 「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」

科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室・授業管理
(日・留)市民生活とキャリア形成(再 2)(月 1)	4.38	4.38 ①	4.19 ⑦
公務員基礎力養成 II(木 4)	4.28	-	4.01 ⑩
トピック対策英語 II(1)(火 2)	4.25	-	4.25 ③
(留)市民生活と経済E(月 2)	4.24	4.33 ③	4.24 ④
(留)市民生活と経済D(月 2)	4.23	4.34 ②	4.31 ①
心の科学 I/心の科学(月 4)	4.19	4.08 ⑤	4.18 ⑧
国民経済と政府(1)(木 1)	4.15	4.16 ④	4.23 ⑤
(留)市民生活と経済F(月 2)	4.11	-	4.30 ②
(日)市民生活とキャリア形成R(月 2)	4.06	3.97 ⑦	-
(日)市民生活と経済B(金 2)	3.91	-	-

上表では、設問 4「わかりやすさ」の値が高い順に値上位 10 までの科目を並べ、真ん中

の列に設問 5「新しいものの見方」、右側に設問 11「授業・教室管理」の結果を示している。設問 5、11 については、設問 4 の上位 10 の科目のうち、値が上位 10 科目に位置している科目についてのみ丸囲みの数字でその順位を示した。

「(留)市民生活と経済 E(月 2)」と「(留)市民生活と経済 D(月 2)」が三つの設問について上位 5 科目に入っている。「(日・留)市民生活とキャリア形成(再 2)(月 1)」「トピック対策英語 II(1)(火 2)」が二つの設問について上位 5 科目に入っている。

留学生が高い得点をつける傾向をさしひく必要があるかもしれないが、三つの設問を通じた次のような特徴がある。①上位 10 科目はほぼ同じ科目名と担当者で構成されている。上位 5 科目でも同じ科目名と担当者という傾向がみられる。②専門共通基礎 I「市民生活と経済」シリーズ、特に「(留)市民生活と経済」が得点上位の科目となっている。

また、「市民生活と経済」シリーズを除いた科目をみると、平成 30 年度前期において経済学部の学生は、キャリア形成、心理や国民経済への興味関心や理解を深めた可能性がある。

6. 前期専門共通基礎

学生の属性別でみて上述の設問 4、設問 5、設問 11 について各々以下の点をあげることができる。

専門共通基礎 I「市民生活と経済」シリーズについて、前述のとおり経済学部では平成 28 年度から複数教員によるオムニバス形式を解除し、各科目を個人で担当することになっている。平成 29 年度前期の結果に引き続き、平成 30 年度前期の結果は総じて高い値であり、経済学部の授業評価アンケート回収科目のなかで上位に位置している。なかでも「(留)市民生活と経済」が上位に位置している。

各「(日)市民生活と経済」の値は総じて高いが、学生の属性ごとにみるとスポーツ学生の値は、それ以外の日本人学生の値に比べて低い傾向にあったようである。ただし、スポーツ学生の値がそれ以外の日本人学生の値に比べて高いクラスや設問もある。

各「(留)市民生活と経済」の値が総じて高いことには、クラス規模が相対的に小さいことも作用しているかもしれない。

専門共通基礎 II の科目については、次のとおりである。

・国民経済と政府

「国民経済と政府(1)」、「国民経済と政府(2)」とも、全学生の値に比べて留学生のみの値が高い。スポーツ学生のみの値は全学生の値に比べ「国民経済と政府(1)」で高く、「国民経済と政府(2)」で低いが、これには自分が専攻する科目であるか否かが関わっているものと思われる。平成 29 年度前期とは異なり、総じて、留学生の値が「留学生を除く」日本人学生の値より高い。

・市場の経済学

「市場の経済学(1)」、「市場の経済学(2)」とも、留学生のみの値は全学生の値に比べて高い。

「市場の経済学(1)」、「市場の経済学(2)」とも、スポーツ学生のみ値は全学生の値に比べて設問 4 では高く、設問 11 では低かった。

平成 29 年度前期と同様、総じて、「留学生を除く」日本人学生の値は留学生の値より低い。

7. クロス集計について

経済学部設問 11 と設問 4、8、9、10 のクロス集計は、大学全体のクロス集計と同様の形になっている。

設問 4 では大学全体のクロス集計とほぼ同じ形である。設問 8 でもほぼ同じ形だがわずかに右下方に分布している印象がある。設問 9 では基本的に同様の分布だが、設問 9 の「回答なし」がやや多めの印象がある。設問 10 では基本的に同様の分布だがやや右下方に分布している印象がある。

「教科書・配布資料の活用」、「教員の声が聞き取りやすい」が「教室・授業管理」に及ぼす影響はわずかに後退しているのかもしれない。教室管理に向けても、教科書・配布資料、授業の聞き取りやすさに留意がいるかもしれない。

8. 非常勤講師担当の専門科目について

該当する科目はなかった。

2018(平成 30) 年度前期経営学部授業評価アンケート結果分析

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
全体	13646	13594	9909	72.89
経営学部	3527	3527	2540	72.02

実施予定 38 科目すべてにおいて授業評価アンケートが実施された。経営学部教員担当科目の回答率は 72.02%であり、全体平均 72.89%に比べ、0.87%低かった。国家試験等を目指す人間生活科学部の高い数値に比較しては、低いものの、前年度前期の回答率 69.11% (全体平均 70.64%) と比較すると、2.91%高くなった。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問内容	前年度	本年度
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9	4.1
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	3.8
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	3.9	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.0	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.9	3.9
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.2	4.1
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.1	4.2
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0	3.9
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.6	3.5

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、設問 1、設問 3、設問 4、設問 6、設問 7、設問 8、設問 9、設問 10、設問 12 に関しては 4.0 以上となっており、出席率、授業のわかりやすさ、教員の熱意および配布資料に関しては、高い数値となった。設問 2、設問 5、設問 11 に関しては、4.0 未満となっており、学生の意欲や授業への自発的な参加を向上させる改善策（学生の講義に対する興味を誘発させると同時に、自ら課題解決を見出せるような授業づくり）が必要である。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

* 属性別のポイント（1～13 の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2
2	3.9	4.3	3.6	4.1	3.9
3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3
4	4.0	4.2	3.8	4.0	4.0
5	3.9	4.3	3.7	4.0	3.9
6	4.1	4.3	4.0	4.2	4.1
7	4.0	4.2	3.8	4.0	4.0
8	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1
9	4.0	4.2	3.9	4.1	4.0
10	4.1	4.3	4.0	4.2	4.1
11	4.0	4.2	3.8	4.1	4.0
12	4.2	4.4	4.1	4.2	4.2
13	3.7	4.1	3.5	3.9	3.7

留学生はすべての設問について、4.0 以上の高い数値を示しており、満足度が高いと思われる。一方、日本人学生（留学生を除く）は設問の半分（2、4、5、7、9、11、13）が 4.0 未満であり、授業に対する不満足がうかがえる。自己評価である設問 2（授業に対する姿勢）や設問 5（新しいものの見方や考え方）に関しては、留学生よりもかなり低い。そのため、今後、日本人学生の意欲を引き上げる必要がある。

スポーツ学生のみでは、設問 13（複数教員による講義）の 3.5 を除く、すべての設問において 4.0 以上と高い数値となっており、日本人学生のなかではスポーツ推薦入学生の満足度が高いことが推測できる。

4. 経営学部履修者別結果

	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	251～300人	301人以上
1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.2
2	3.9	3.9	3.8	4.0	3.8	3.1
3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4	4.0
4	4.0	4.2	4.0	4.0	4.1	3.5
5	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9	3.6
6	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	3.6
7	4.0	4.1	4.1	4.0	4.0	3.5
8	4.1	4.2	4.2	4.0	3.7	3.7
9	4.0	4.2	4.0	4.1	4.0	3.7
10	4.2	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
11	4.0	4.1	4.0	4.0	3.8	3.6
12	4.2	4.3	4.3	4.2	4.0	4.0
13	3.5	3.6	3.5	3.8	0.0	3.4

* 201～250人は、該当科目なし。

履修者別の各設問の結果をみると、「51～100人規模」が設問2（意欲）、設問13（複数教員）を除く、すべての設問において4.1以上の高い数値を示している。過去のデータからは100人以下の場合は、高い数値を示す傾向にあったが、「1～50人規模」においては「101～150人規模」と比較すると、同等または低い数値もある。また、設問1（出席率）、設問2（意欲）、設問3（シラバスに沿った授業内容）に関しては、「151人以上の規模」が高い数値を示している。

5. クロス集計について

「設問11：教室管理」と、「設問4：わかりやすさ」、「設問8：教科書、配布資料の活用」、「設問9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、「設問10：教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計においては、いずれも、大学全体と同様「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという強い相関関係が見られる。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果分析

* 「設問4：わかりやすさ」

「設問4：わかりやすさ」において評価平均4.0以上の科目は、38科目中26科目（68.4%）

であり、前年前期(70.4%)より 2%下がった。留学生のみならず、日本人学生に対する経営学部教員の講義への工夫が必要となる。

*** 「設問 5：新しいものの見方」結果**

「設問 5：新しいものの見方」において評価平均 4.0 以上の科目は、38 科目中 17 科目(44.7%)で、昨年前期(63.7%)であり、昨年より大幅に低下した。

*** 「設問 11：教室管理」結果**

「設問 11：教室管理」において評価平均 4.0 以上の科目は、38 科目中 21 科目(55.3%)で、昨年前期(66.7%)より 11.4%と大幅に下がった。学生の私語や携帯電話、遅刻など授業の妨げに対して徹底的な管理が求められる。

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果の下位には、経営学部必修の専門科目〔(日)基本簿記 C、(日)基本簿記 B、(日)市民生活とビジネス〕がある。経営学部では専門基礎の学びを重視する体系を目指しているため、改善に向けてより一層の努力が望まれる。

7. 経営学部担当の専門共通基礎 I,II について

*** 「(留) 市民生活とビジネス」**

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」において 4.00～4.02 と 4.0 以上であるが、「オムニバス」は 3.96 と 4.0 を下回った。前年度と変わり、今年度は留学生クラスを日本語レベルで(前期、後期)に分けておらず、前期(3 クラス)のみにし、受講者が増加したため、前年度前期(4.29～4.64)に比べると評価が低下している。

*** 「(日) 市民生活とビジネス」**

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」、「オムニバス」すべてが、3.42～3.58 であり、留学生クラスに比べてかなり低い結果となった。今後、教員によるわかりやすい講義への工夫および勉学への意欲を高められるような改善策が必要である。

*** 「会計と資金の経営学① (経営学部必修)」**

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の 3 項目において、3.88～4.03 であり、前年度に比べると少し低くなったが、留学生のみでは 4.33 ～4.51 であり、良好な結果と言える。

*** 「会計と資金の経営学② (経済、法学部選択)」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目において、3.91～4.12 である。留学生のみでは 4.35～4.39 であり、「会計と資金の経営学① (経営学部必修)」同様、

良好な結果と言える。

*** 「商品と流通の経営学①（経営学部必修）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目において3.95～3.99と4.0未満となっているが、留学生のみでは4.07～4.10となっており、日本人学生より高評価を得ている。

*** 「商品と流通の経営学②（経済、法学部選択）」**

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の3項目において4.00～4.56とすべて4.0以上となっている。スポーツ学生のみで見ると3項目ともに4.3以上となっており、良好な結果であると言える。

経営学部担当の専門共通基礎 I,II の結果でも、全体的に留学生の評価が高く、日本人学生の講義への意欲を向上させるような工夫が必要である。

2018(平成 30)年度前期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	2,074	2,074	1,389	66.97
【全体】	13,646	13,594	9,909	72.89

法学部の専任教員担当科目のうち 16 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 66.97%と、前年度後期より 1.08 ポイント上昇した。もっとも、他学部はより大きく回答率が上昇しており、今回の法学部は回収率は、他学部と比べて低い値となっている。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.0
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったかと思いませんか	3.8
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	3.9
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.8
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.8
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.0
13	複数教員による授業は良かったと思いませんか	3.7

今年度前期の結果と比較すると、大半の項目で、0.1~0.2 ポイント低下しており、全体の平均値において 0.09 ポイント低下した。上昇した項目は、3 であるが、これは設問の変更によるものと思われる。0.2 ポイント低下した項目は、2, 6, 8, 9 である。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	4.0	4.1	3.9	3.7	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.7	3.7	3.8	3.6	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2	4.2	4.3	4.0	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いませんか	3.8	3.8	3.9	3.6	3.8
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8	3.7	3.9	3.7	3.9
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	4.0	4.0	4.1	3.9	4.0
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8	3.8	4.0	3.6	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.9	3.9	4.0	3.7	3.8
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.9	3.8	4.0	3.6	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0	4.0	4.1	3.8	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.8	3.8	3.9	3.7	3.9
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.0	4.0	4.1	3.9	4.1
13	複数教員による授業は良かったと思いませんか	3.6	3.6	3.6	2.9	4.0
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	41.2	43.6	40.1	33.0	49.2

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.8	4.0	3.7	3.5	3.4
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.7	3.7	3.7	3.5	4.0
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	3.8	3.8	3.9	3.6	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	3.7	3.9	3.6	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	3.9	3.9	4.1	3.8	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	3.8	3.8	3.9	3.6	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	3.8	3.8	3.9	3.6	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9	3.8	4.0	3.6	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	3.9	3.9	4.0	3.8	4.1
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.8	3.8	3.9	3.6	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.0	4	4.1	3.7	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.5	3.5	3.5	3.1	4.0
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	36.6	39.9	33.5	28.3	52.6

まず、全学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は前年度後期と変わらない(3.9)。設問別にみると、設問3「あなたは、この授業のシラバスを読みましたか」が、0.4ポイント上昇した。これは、設問を変更したためであると思われる。また、設問13「複数教員による授業は良かったと思いますか」は0.2ポイントの低下、設問Eは3.4%の低下であった。ともに、3年生の数値が大きく低下した(設問13は1.2ポイントの低下、設問Eは17.6%の低下)ことによるものであると考えられる。今回、各学年の平均値をみると、2年生が4.0、1,3年生が3.9と相対的に高いのに対し、3年生が3.7と相対的に低かった。

次に、スポーツ学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は前年度後期と変わらない(3.8)。学年の平均値をみると、3年生が3.6と相対的に低く、1年生が3.8、2年生が3.9、4年生が4.0と相対的に高かった。

スポーツ学生と全体とを比較すると、全体的に、全体がスポーツ学生の数値を上回る傾向が見られる。もっとも、4年生では、逆に、スポーツ学生の方が数値が高い傾向が見られる。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250	301-
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.1	3.8	4.0	4.0	4.0	4.2
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.5	3.7	3.8	3.8	4.0	3.7
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	3.9	3.7	3.9	3.8	4.1	3.7
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.0	3.7	3.8	3.8	4.0	3.7
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2	3.9	4.1	3.9	4.1	3.8
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	3.9	3.8	3.9	3.8	4.1	3.8
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	3.6	4.0	3.9	4.0	3.7
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.0	4.1	3.9	4.2	3.9
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	3.7
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	3.8
13	複数教員による授業は良かったと思いますか			3.8	3.7	3.9	3.5

※ 履修者数 251 名から 300 名のクラスは存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50 名規模のものが 1、51~100 名規模のものが 6、101~150 名規模のものが 3、151~200 名規模のものが 4、201~250 名規模のものが 1、301 名以上のものが 1 である。なお、「(日) 市民生活と法」は、301 名以上に分類されているが、実際には、140 名程度の教室に分かれて、3 クラスで開講されている。

履修者数別に平均値を見ると、201 名~250 名規模は 4.1、101 名~150 名規模は 4.0 と若干高めであるが、1~50 名規模と 151 名~200 名規模は 3.9、51 名~100 名規模と 301 名以上は 3.8 となっている。そのため、前年度の後期と異なり、履修者数の規模によって顕著な差異は見られない(なお、この結果は、前年度前期と同じである。)

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
資格・検定講座 III(宅建対策)(火1)	4.33	4.11②
行政法総論(金2)	4.31	4.15①
資格・検定講座 IV(宅建対策)(火2)	4.18	4.06⑥
(日)市民生活とキャリア形成S(月2)	4.06	4.10③
企業と法(2)(水1)	4.06	4.02⑦
(日)市民生活と法(再)(火2)	4.03	3.83
(留)市民生活と法(火2)	3.93	4.08⑤
国際社会と法(2)(木2)	3.92	4.08④
(日・留)市民生活とキャリア形成(再1)(月1)	3.89	4.00⑧
刑事訴訟法(火2)	3.83	3.86⑨
国際社会と法(1)(木1)	3.76	3.84⑩
(日)市民生活と法(水3)	3.75	3.67
(日)基礎力養成 I(C)(水2)	3.72	3.34
企業と法(1)(水1)	3.72	3.70
債権各論(木2)	3.64	3.38
(日)基礎力養成 I(B)(水2)	3.64	3.38
(日)公務員試験対策 I(火4)	3.32	3.29
刑法各論(水2)	3.06	3.11
法哲学(水3)	3.00	3.63

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。従来の結果と同様、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
行政法総論(金2)	4.23
国際社会と法(1)(木1)	4.07
企業と法(2)(水1)	4.00
資格・検定講座 IV(宅建対策)(火2)	4.00
(留)市民生活と法(火2)	3.98
資格・検定講座 III(宅建対策)(火1)	3.94
(日)市民生活と法(再)(火2)	3.93
国際社会と法(2)(木2)	3.92
(日)市民生活とキャリア形成S(月2)	3.88
(日)基礎力養成 I(C)(水2)	3.86

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。前年度後期と比較すると、平均値は0.4ポイント低下した(4.3→3.9ポイント)。

7 複数教員による授業

科目	平均
(留)市民生活と法(火2)	4.05
企業と法(2)(水1)	3.93
国際社会と法(2)(木2)	3.89
(日)基礎力養成 I(C)(水2)	3.81
国際社会と法(1)(木1)	3.73

複数教員による授業を好ましいという評価のあった授業を、高評価順に5科目示すと、左記の通りである。前年度まで評価が高かったキャリア系科目は、複数教員による授業ではなくなったため、この統計から外れた。

留学生科目や専門共通基礎Ⅱの他学部向け科目が、評価が高い傾向にある。

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	1	1	1			
		5		235	83	20	3	8
		4	1	57	434	76	22	3
		3	1	16	99	205	22	9
		2	1	3	21	10	10	3
		1		5	8	5	5	21
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし			2	1		
		5	1	273	52	18	4	1
		4	1	76	453	52	9	2
		3		29	105	200	12	6
		2		8	13	13	13	1
		1	1	6	5	5	3	24
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし		1	2			
		5		269	60	12	6	2
		4	3	59	429	79	19	4
		3		22	86	205	24	15
		2	1	14	11	7	12	3
		1		5	5	5	5	24
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	1	1	1			
		5	2	280	51	11	4	1
		4	2	96	437	45	11	2
		3	2	28	123	180	15	4
		2		9	17	10	8	4
		1		5	6	2	8	23

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度についても、一般に教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	347	(日)市民生活と法(水3)	3.75	3.67	3.69
スポーツ学生のみ	82		3.71	3.66	3.78
スポーツ学生を除く	265		3.76	3.67	3.66
全学生	126	(留)市民生活と法(火2)	3.93	4.08	3.98
スポーツ学生のみ	19		3.79	4.05	3.94
スポーツ学生を除く	107		3.95	4.08	3.98
全学生	40	(日)市民生活と法(再)(火2)	4.03	3.83	3.93
スポーツ学生のみ	17		3.88	3.53	3.71
スポーツ学生を除く	23		4.13	4.04	4.09
全学生	80	(日)市民生活とキャリア形成S(月2)	4.06	4.10	3.88
スポーツ学生のみ	17		4.00	3.94	3.88
スポーツ学生を除く	63		4.08	4.14	3.87
全学生	18	(日・留)市民生活とキャリア形成(再1)(月1)	3.89	4.00	3.72
スポーツ学生のみ	7		3.86	4.00	3.43
スポーツ学生を除く	11		3.91	4.00	3.91

専門共通基礎 II

全学生	120	企業と法(1)(水1)	3.72	3.70	3.69
留学生のみ	8		3.88	3.88	3.63
留学生を除く	112		3.71	3.69	3.70
スポーツ学生のみ	68		3.87	3.72	3.79
スポーツ学生を除く	52		3.52	3.67	3.56
全学生	155	企業と法(2)(水1)	4.06	4.02	4.00
留学生のみ	85		4.29	4.32	4.33
留学生を除く	70		3.79	3.65	3.60
スポーツ学生のみ	15		4.20	4.20	4.07
スポーツ学生を除く	140		4.04	4.00	3.99
全学生	86	国際社会と法(1)(木1)	3.76	3.84	4.07
留学生のみ	5		3.60	3.80	4.60
留学生を除く	81		3.77	3.84	4.04
スポーツ学生のみ	47		3.74	3.77	3.91
スポーツ学生を除く	39		3.77	3.92	4.26
全学生	72	国際社会と法(2)(木2)	3.92	4.08	3.92
留学生のみ	48		4.00	4.15	4.08
留学生を除く	24		3.75	3.96	3.58
スポーツ学生のみ	8		3.63	4.00	4.00
スポーツ学生を除く	64		3.95	4.09	3.91

専門共通基礎 I・II に共通することとして、前年度後期の分析でも示されているが、今学期においても、留学生クラスは、全般的に、同種の日本人向け通常科目と比べて、平均値が高い傾向にある。

専門共通基礎 I については、スポーツ学生と非スポーツ学生との比較をみると、「(日)市民生活と法(再)」においては、顕著に、非スポーツ学生の方が平均値が高いものの、逆に、「(日)市民生活と法」の設問 11 においては、スポーツ学生の方が高い値となっており、スポーツ学生であるからといって、一概に、平均値が低いということとはできないようである。

専門共通基礎 II については、それぞれの科目の(1)が科目設置学部の学生向け、(2)がそれ以外の学部学生向けとなっている。(1)科目と(2)科目を比べると、従来と同様、(2)科目の方が平均値が高い。一方、スポーツ学生については、「企業と法」においては、(1)(2)ともに、スポーツ学生の方が非スポーツ学生より高い値を示している。この傾向は、「企業と法」という科目の特徴である可能性もあるが、受講者らの特性である可能性もあり、さらに検討が必要であろう。(1)科目では、スポーツ学生の平均値が全体より低いものの、(2)科目では、逆に、スポーツ学生が平均値を引き上げることが前年度の分析であったが、今学期においては、「国際社会と法」の設問 11 においてのみ、その傾向が見られる。

2018（平成 30）年度前期 人間生活科学部教育保育学科 授業評価アンケート結果分析

教育保育学科 FD 委員会

1. 実施概要

表 1

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者 (F)	回答率 (F÷E)
教育保育学科	1,039	1,039	825	79.40
【全体】	13,646	13,594	9,909	72.89

教育保育学科のアンケートは 25 科目について行われ、回答率は 79.4%であった。昨年度は前後期それぞれ 8 科目ずつ実施された。今回、実施科目数を大幅に増加した。昨年度前期回答率は 90.63%、後期は 86.5%と比較すると今回の回答率は低くなっている。

2. 教育保育学科の教員担当科目の平均ポイント

表 2

	設問内容	ポイント
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.3
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.2
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.4
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.3
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	4.3

13 項目すべて 4.0 以上のポイントを得た。その中で、最も高いポイントが、項目 10 の“教員の声の聞

き取りやすさ”であった(4.4)。最も低いポイントが、項目 2 の“意欲的に取り組んだか”の質問であった(4.0)。4.0 未満の項目がなく、全体的に高い評価が得られていることは喜ばしい。ただ、相対的に授業への意欲が低いことは残念であり、自ら学ぶ姿勢の獲得に向け、教員も様々な工夫やしかけを考える必要があると考えられる。

シラバスに関して

項目 E「あなたはこの授業のシラバスを読みましたか」の質問に対し、はいが 23%、いいえが 77%であった。かなりの学生がシラバスを読まずに授業を受けている。昨年度、シラバスを読まないと答えた学生は、前期 53.9%、後期 64.6%とおり、今回の方が読まない学生が多い。また、「はい」と答えた学生のみ回答する項目 3「この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか」は、ポイントが 4.3 であった。昨年度は、前期 3.8、後期 3.9 であり、今回の方が高くなっている。私たち教員は、シラバスを授業理解へ活用することをもっと支援するべきであると言える。しかしながら、自らシラバスを読んだ学生からの評価をみると、昨年度よりも 0.4~0.5 ポイント評価が高くなっており、それぞれの授業でシラバスに沿った授業展開がされている点は評価できるだろう。

3. 学生視点からのデータ分析（教育保育学科）

(1) 学年別の結果

表 3

	1年	2年	3年	4年
1	4.4	4.3	4.3	<u>3.9</u>
2	<u>3.9</u>	<u>3.9</u>	4.0	4.1
3	4.2	4.4	4.2	4.4
4	4.1	4.1	4.1	4.3
5	4.1	4.1	4.1	4.3
6	4.2	4.4	4.3	<u>4.5</u>
7	4.2	4.2	4.1	4.3
8	4.2	4.4	4.2	4.3
9	4.1	4.3	4.1	4.0
10	4.4	4.4	4.3	4.4
11	4.1	4.1	4.0	4.1
12	4.4	4.4	4.2	4.4
13	<u>3.8</u>	<u>3.9</u>		4.0

全体を見ると、4.5 以上の高いポイントを得た（二重下線）のは、4年生の項目 6 であり、4.0 未満のポイントであった（一重下線）のが、1, 2年生の項目 2 と項目 13、そして4年生の項目 1 であった。つまり、相対的には、1, 2年生はその“授業への意欲”を低く評価しており、4年生は“出席”を低く、“教員の熱意”を高く評価している。

表 2 の分析において、全体として授業への意欲の低さが課題と考えられたが、特に 1, 2年生において

それが顕著だと言えそうである。教育保育職の養成学科であるため、1年次の最初から教員は厳しい姿勢で臨み、2年生で初めての学外実習を迎える。教育保育職の実際を知り、自分にはできるのかと思悩む学生も増える。1, 2年生という大学生活の前半期に、教育保育職のやりがいを感じ、成功経験を得て、学びへの意欲を獲得させるための重要な期間と言えるだろう。厳しさだけでなく、しかし、学びの姿勢や態度を身につけられるよう考えていきたい。

(2) スポーツ推薦入学なのかどうかによる結果

表 4

	1年		2年		3年	
	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く
1	<u>4.5</u>	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3
2	4.0	<u>3.8</u>	<u>3.9</u>	<u>3.9</u>	<u>3.7</u>	<u>4.0</u>
3	4.2	4.2	<u>5.0</u>	4.3	4.1	4.2
4	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1
5	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1
6	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	4.3
7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1
8	4.3	4.1	4.3	4.4	4.1	4.2
9	4.3	4.1	4.2	4.3	4.0	4.1
10	4.4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.3
11	4.0	4.1	4.3	4.1	4.0	4.0
12	4.4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.2
13	<u>4.3</u>	<u>3.7</u>	<u>4.5</u>	<u>3.8</u>		

スポーツ推薦入学かどうかによる違いとして、0.3ポイント以上の差がある項目を見る（二重下線）。1年生の項目1と項目13、2年生の項目3と項目13、3年生の項目2であった。つまり、1年生では、スポーツ学生の方がそうでない学生よりも“出席”“複数担当の良さ”を高く評価しており、2年生は、スポーツ学生の方が“シラバスに沿って行われた”“複数担当の良さ”を高く評価している。そして、3年生では、スポーツ学生の方が“授業の分かりやすさ”が低く評価されている。また、全体を見て、4.0未満のポイントであった（一重下線）のは、スポーツ学生かどうか、また学年を問わず項目2の“授業への意欲”であった。

昨年度の分析報告を見ると、スポーツ学生の方がそれ以外の学生よりも、全体的に評価が低く、現2年生では特に顕著であったようである。今年度はそこまでの差は見られず、スポーツ学生かどうかというよりも、全体的に“授業への意欲”が低く評価されていることの方が気になる結果である。なお、教育保育学科では、スポーツ推薦の学生は少ないため、解釈には注意が必要である。

4. 履修者規模別集計結果（教育保育学科）

表 5

	1～50人	51～100人	101～150人
1	<u>4.3</u>	4.4	<u>3.7</u>
2	4.1	<u>3.9</u>	<u>3.9</u>
3	4.3	4.3	4.2
4	<u>4.3</u>	4.1	<u>3.8</u>
5	4.2	4.1	4.1
6	4.5	4.2	4.2
7	4.3	4.1	4.2
8	4.4	4.1	4.2
9	4.4	4.2	4.2
10	4.5	4.3	4.3
11	4.2	4.0	<u>3.9</u>
12	4.3	4.3	4.3
13	4.3		

全体的に、履修者が増えるとポイントが低くなる傾向が読み取れる。0.4ポイント以上の差が見られたのは（二重下線）、項目1、項目4であった。これらの項目、つまり、“出席しているか”と“授業の分かりやすさ”は表2の全体の結果では、それぞれ4.3と4.1と高めの評価が得られているものの、授業の履修者規模が大きくなると評価が低くなる項目と言える。101人以上の授業というのは、教育保育学科の専門科目ではほとんどないが、51人以上になる科目を多くあり、履修規模を考慮した授業の工夫が必要である。

ただ、昨年度の分析報告では、“出席”は履修者規模が大きくなると評価が高くなるという結果であったようであった。今回、アンケート対象科目数が増えた結果、通常想定される結果に収れんしたといえるかもしれない。

5. “わかりやすさ” “新しいものの見方” “教室管理” の結果

アンケート対象である25科目のうち、評価のポイントが4.0以上であった科目数の割合は、項目4“わかりやすさ”、項目5“新しいものの見方”、項目11“教室管理”の順に、80%、88%、84%であった。教育保育学科教員の授業への取り組みは成果を得ているものと評価できる。

また、今回、非常勤講師による4科目もアンケートを行った。項目4“わかりやすさ”、項目5“新しいものの見方”、項目11“教室管理”についての平均ポイントは、順に、4.18、4.25、3.95となっており、教室管理について課題があると言える。非常勤の先生方は学生との日頃の関わりがない分、教室管理も迷ったり、うまくいかないこともあるのかもしれない。留意しておく必要がある。

2018（平成 30）年度前期 管理栄養学科

授業評価アンケート結果分析

1. 実施概要

実施科目数は 17 科目であり、すべての対象科目についてアンケートが実施された。対象科目履修者数 688 名のうち、回答者数は 631 名であり、回答率は 91.72% であった。管理栄養学科における回答率は全学平均と比べて約 19 ポイント高い結果となっているが、このことは対象科目の大半が管理栄養士養成にかかる必修科目であり、学生は授業に毎回出席することが習慣化していることに起因する。実施科目の内訳は、1 年次 7 科目、2 年次 6 科目、3 年次 3 科目、4 年次 1 科目であり、回答率はそれぞれ 93%、93%、92%、79% であった。4 年次は 1 科目のみの実施であり、就職活動や臨地実習の影響で欠席する学生もいるため除外すると、アンケート実施時点での出席率に学年差はないと考えられる。

管理栄養士養成にかかる必修科目では 40 名で授業を行うことが原則であり、各科目は 1 組、2 組に分かれて開講される。これまではその何れか一方について、全ての科目で授業評価アンケートを実施してきたが、繰り返し同じ様式のアンケートを記入することは学生の負担となり、アンケートに真摯に回答するという意識が低下すること、また 2 クラスの授業が内容として同一であるという点を鑑みて、2018-2019 年度については 2 年間でどちらか 1 方についてアンケートを実施することとした。

2. 授業理解度の評価

大学における単位認定制度は教室での講義時間と相当の予習、復習を行うものとして設定されている。今回は②予習復習を含めた意欲的取り組みの自己評価、④授業のわかりやすさ、⑦授業のはやさ・進め方の適切性の 3 点に着目して、検討を行った。②の平均点が 4.0 を上回る 5 科目では、すべて④の平均点も 4.0 を超えていた。同様に⑦の平均点が 4.0 を上回る 8 科目では、④の平均点も 4.0 を超えていた。端的に言えば、④は授業を理解できているという、自己達成感を示す項目である。よってこれらの結果から、学生に寄り添ったはやさ・進め方で授業を行うことにより、学生の自己達成感を高められるものと考えられる。至極当然のことであるが、②により自ら進んで予習復習に取り組むことで、自己達成感をさらに高めることに繋がることになる。

一方、④授業のわかりやすさが 4.0 を上回る 10 科目中 1 科目では②および⑦、4 科目ではそのいずれかで、その平均点が 4.0 を下回っていた。②予習復習を含めた意欲的取り組みを高めることで、④授業のわかりやすさに繋げることが一般的順序であるが、反転授業的取り組み、すなわち、④授業のわかりやすさから興味・関心を高めることにより、②予習復習を含めた意欲的取り組みに繋げる方策について、今後の検討と議論を進めることが有益であろう。

②予習復習を含めた意欲的取り組みの自己評価について、学年間での比較を行なったところ、1 年次開講の 7 科目全て、2 年次では 6 科目中 4 科目が平均点 4.0 を下回っていた。一方、3 年次 3 科目、4 年次 1 科目では全て、平均点 4.0 を上回っている。つまり、低学年ほど②予習復習を含めた意欲的取り組みを行っていない、もしくは自己評価を厳しく行っていることを示す。この点について、以下に示す各時点での期末試験終了時点での GPA、すなわち成績評価と比較することで、その事由について考察することとした。

1年次前期GPA				
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
平均GPA	2.425248	2.62173571	2.32617879	2.54166949
2.5以上の比率(%)	48	61.11111111	45.4545455	64.4067797
1.5未満の比率(%)	2.66666667	1.42857143	12.1212121	7.46268657
2年次前期GPA				
	2015年度	2016年度	2017年度	
平均GPA	2.28935067	2.54999412	1.99734923	
2.5以上の比率(%)	41.33333333	55.8823529	29.2307692	
1.5未満の比率(%)	10.66666667	10.2941176	30.7692308	

今期成績（赤字）は再試前のものであり、以降の修正により 1.5 未満の比率は各 5-8 ポイント低下する。（GPA1.5 以上 2.5 未満の中間層に移行する）

成績の同時期比較を行った場合、1 年次（2018 年度）生では本学における特待生継続資格基準、また管理栄養士国家試験合格の分水嶺となる GPA2.5 を上回る学生比率が過去 4 年間で最も高く、同時期比較では現 3 年生と近似している。

本年度より演習として週2コマの全体学習会を設定し、授業の聞き方、ノート
のとり方、ノートのまとめ方、予習復習の強化などを行っていることから、学
習に対する意識の高まり、アンケート実施時期が大学に入って初めての期末試
験直前であったことから、自己評価が低くなったのではないかとと思われる。

2年次（2017年度）生ではGPA2.5を上回る学生比率が3割以下、留年などのリ
スクが懸念される1.5未満の学生が3割を超えるなど、学習に困難がみられる。

この点において、1年次学生とは明らかに全体の状況が異なる。危機意識から、
自己評価が低くなったのではないかとと思われる。その後の面談などを通じて、
自己学習に困難を抱えている学生が多いことが顕在化したため、演習における
学習強化を図っているところである。

2018(平成 30)年度前期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

I. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

前期授業評価アンケート対象科目のうち、非常勤講師担当は 102 科目についてアンケートが実施された。これは全対象科目の約 44%に当る。

実施科目の内訳は情報科目 24、英語科目 22、留学生用日本語科目 33、諸外国語 6、共通科目 4、学部学科専門科目 12、強化指定クラブ所属学生対象科目 1 であった。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
【全体】	231	231	98.60		
非常勤	102	102	100.00		

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	13,646	13,594	9,909	72.89
非常勤	3,297	3,297	2,453	74.40

回答率（アンケート時の出席率）は全体平均よりも高い。情報、語学など必修／選択必修科目の少人数クラスであるため、出席率が高めになったと思われる。

II. 集計結果について

設問項目

1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか

7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
E	あなたはこの授業のシラバスを読みましたか

1. 102 科目の平均ポイント

設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12	設問 E(Yes 率)
4.2	3.9	4.3	4.0	4.0	4.2	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.3	52.3%

学生の自己評価を問う設問 2「取り組みの意欲」が 3.9 であるが、それ以外はすべて 4.0 以上であり、適切な授業が行われたことがわかる。

2. クラスサイズ別の平均ポイント

履修 者数	クラ ス 数	設 問 1	設 問 2	設 問 3	設 問 4	設 問 5	設 問 6	設 問 7	設 問 8	設 問 9	設 問 10	設 問 11	設 問 12	設問 E(Yes 率)
1-50	92	4.1	4.0	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.3	4.1	4.4	4.1	4.4	57.9%
51- 100	3	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	3.8	4.1	33.3%
101- 150	6	4.0	3.7	4.1	3.7	3.8	3.9	3.7	3.8	3.8	3.9	3.7	4.0	42.9%
151- 200	1	3.9	3.8	4.2	3.9	3.9	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	3.7	4.1	53.2%

1～50人のクラス数は92であるが、そのうち85は情報科目や語学で、ほとんどが30人以下のクラスである。すべての項目で4.0以上という結果は学習環境として適切であったことがわかる。

101～150人のクラス(6クラス)では設問4「わかりやすさ」、設問7「授業の速さ・進め方」、設問11「教室管理」が3.7でやや低い。101～150人のクラスの全体平均はそれぞれ3.9、4.0、3.8である。特に「教室管理」については改善に協力していただくよう担当者に依頼する必要がある。

3. 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」について

(1) 英語科目 (22科目)

	科目名	担当者	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
必修 科目	基礎英語 I(A)	A	4.20	4.11	4.09
	基礎英語 I(B)	B	3.85	3.73	3.88
	基礎英語 I(D)	C	4.00	3.90	4.00
	基礎英語 I(E)	D	4.39	4.21	4.22
	基礎英語 I(I)	C	4.04	3.91	4.00
	基礎英語 I(J)	D	4.09	4.00	4.00
	基礎英語 I(K)	B	3.57	3.61	3.69
	基礎英語 I(L)	A	3.90	3.81	3.93
	スキルアップ英語 I(B)	E	3.54	3.52	3.67
	スキルアップ英語 I(C)	A	4.27	4.14	4.15
	スキルアップ英語 I(E)	F	3.96	3.89	3.96
	スキルアップ英語 I(F)	E	3.86	3.75	3.89
	スキルアップ英語 I(H)	A	3.96	3.85	3.95

	スキルアップ英語 I(I)	F	4.24	4.12	4.11
	英語コミュニケーション(A)	C	4.43	4.30	4.25
	英語コミュニケーション(C)	B	3.73	3.64	3.73
	英語コミュニケーション(E)	D	4.50	4.33	4.31
選択科目	英語ライティング(1)	A	4.50	4.36	4.33
	英語リーディング(1)	A	4.60	4.54	4.52
	英語リーディング(2)	E	4.27	4.14	4.15
	英語コミュニケーション(1)	G	4.50	4.36	4.36
	英語コミュニケーション(2)	G	4.67	4.60	4.60

非常勤講師（英語母語者）6名が22科目を担当した。「基礎英語 I」「スキルアップ英語 I」は経済・経営・法学部日本人学生対象の必修科目、「英語コミュニケーション(A)(C)(E)」は人間生活科学部1年次生対象の必修科目である。アルファベットは習熟度別クラスを示し、Aが最上位クラスである。担当者B、Eの必修科目のポイントがやや低い、両名とも新任講師であるため、後期には改善が期待される。選択科目は履修者の意欲が高いこともあり、ポイントが高い。

(2) 情報科目 (24 クラス)

	科目名	担当者	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
選択必修	(日)情報(Word)(営1)	H	3.89	3.81	3.93
	(日)情報(Word)(営2)	I	3.48	3.41	3.63
	(日)情報(Word)(営4)	H	3.44	3.29	3.40
	(日)情報(Word)(済1)	J	4.41	4.25	4.24
	(日)情報(Word)(済2)	K	3.45	3.40	3.58
	(日)情報(Word)(済3)	H	3.81	3.71	3.85
	(日)情報(Word)(済4)	L	3.44	3.37	3.43

	(日)情報(Word)(法 1)	J	4.08	3.96	4.00
	(日)情報(Word)(法 2)	K	3.88	3.77	3.90
	(日)情報(Word)(法 3)	H	3.55	3.57	3.67
	(日)情報(Word)(法 4)	I	3.88	3.80	3.92
	(日)情報(Word)(法 5)	L	3.92	3.84	3.95
必修	情報入門(1 組)	J	3.85	3.74	3.88
	情報入門(2 組)	J	4.00	3.91	4.00
	情報入門(2)	I	3.05	2.85	3.28
選択	ビジネス情報処理I	J	4.45	4.33	4.30
	情報(Excel)(1)	K	3.90	3.82	3.94
	情報(Excel)(2)	H	3.84	3.71	3.86
	情報(Power Point)(1)	J	4.71	4.64	4.67
	情報(Power Point)(2)	K	4.45	4.33	4.30
	情報(Power Point)(3)	I	3.79	3.70	3.81
	情報(Word)(1)	J	4.38	4.20	4.22
	情報(Word)(2)	I	4.11	4.00	4.08
	情報(Word)(3)	K	4.56	4.44	4.44

5名の非常勤講師が24クラスを担当した。経済、経営、法学部1年次生対象「情報(Word)」および人間生活科学部1年次生対象「情報入門」はクラス指定であるが、「わかりやすさ」のポイントが3.6未満のクラスが6クラスある。MOS合格を目指すためにも改善が必要である。担当者Jは担当クラスすべてについて良好な結果であった。

(3) 留学生対象日本語科目 (33科目)

科目名	担当者	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
アカデミック日本語レベル1	M	4.25	4.14	4.14
		4.15	4.06	4.08
	N	3.73	3.67	3.79
		4.07	3.94	4.00
アカデミック日本語レベル3	O	4.60	4.54	4.50
	P	4.60	4.53	4.45

		4.69	4.62	4.64
	Q	4.55	4.41	4.42
	R	4.36	4.19	4.20
	S	4.43	4.30	4.25
アカデミック日本語レベル 5	T	4.58	4.50	4.45
アカデミック日本語レベル 7	P	4.76	4.78	4.67
日本語コミュニケーションレベル 1	O	4.36	4.20	4.21
	P	4.31	4.17	4.18
	R	4.25	4.14	4.14
		4.78	4.91	4.88
日本語コミュニケーションレベル3	M	4.33	4.19	4.20
		4.31	4.14	4.17
	N	4.23	4.11	4.10
		4.44	4.31	4.27
	U	4.31	4.15	4.17
	V	3.53	3.50	3.65
	W	4.77	4.89	4.69
日本語コミュニケーションレベル 5	Q	4.40	4.25	4.23
日本語コミュニケーションレベル 7	Q	4.64	4.55	4.53
日本語特別支援A	N	4.18	4.08	4.09
	P	4.23	4.11	4.10
	Q	4.50	4.33	4.31
	R	4.07	3.93	4.00
	S	4.60	4.54	4.45
	T	4.77	4.88	4.69
	W	4.69	4.63	4.64
	X	4.40	4.23	4.23

非常勤講師 12 名が 33 クラスを担当した。留学生対象のため 1 クラス 25 名以下で編成している。全体として良好な結果である。「わかりやすさ」では 12 クラスが 4.50 以上の結果であった。一方「わかりやすさ」が 4.0 未満だった 2 クラスの担当者には後期の改善を期待したい。

(4) 諸外国語科目 (6科目)

科目名	担当者	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
コリア語入門	Y	4.45	4.31	4.27
		4.58	4.48	4.45
		4.52	4.38	4.40
		4.55	4.40	4.40
ポルトガル語入門	Z	3.57	3.63	3.70
		3.32	3.17	3.30

「コリア語入門」は4クラスとも良好な結果であった。「ポルトガル語入門」は新任講師が担当したが、後期の改善を期待したい。

(5) 共通科目、学部学科専門科目、スポーツ専用科目 (17科目)

区分	科目名	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
共通	(留)日本事情Ⅲ	4.67	4.58	4.55
	科学と人間社会Ⅱ(エネルギー・鉱物資源と社会)	3.91	3.82	3.94
	環境共生の探究Ⅰ	4.14	4.00	4.08
	歴史との対話	3.73	3.65	3.75
3学部専門	(17留2)市民生活とキャリア形成(1)	4.11	4.00	4.07
	(17留2)市民生活とキャリア形成(2)	3.96	3.88	3.96
	(日)市民生活とキャリア形成P	3.49	3.46	3.64
	(日)市民生活とキャリア形成Q	3.76	3.67	3.79
経営専門	情報社会と情報倫理／情報社会論	3.76	3.68	3.80
法専門	刑事訴訟法	3.83	3.71	3.85
	資格・検定講座Ⅲ(宅建対策)	4.33	4.18	4.18
	資格・検定講座Ⅳ(宅建対策)	4.18	4.06	4.09

教育 保育 専門	レクリエーション実技A	4.71	4.74	4.67
	家庭支援論	3.96	3.86	3.96
	子どもの保健IB	3.81	3.70	3.81
	生徒・進路指導論	4.25	4.13	4.13
スポーツ 専用	(ス)スポーツと心理	3.61	3.63	3.71

共通科目のうち留学生用「日本事情 III」は3項目ともポイントが高い。「歴史との対話」の「新しいものの見方」がやや低い。

「市民生活とキャリア形成」は今年度からオムニバス方式から単独担当に変更したが、その効果の分析に役立ててもらいたい。

「スポーツと心理」はポイントが低めである。次年度には改善を期待したい。

4. 「授業・教室管理」との4項目クロス集計について

設問 11「授業・教室管理」と、設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書、配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計結果（詳細データは省略）では、いずれのクロス集計においても、「授業・教室管理」のポイントが高ければ、クロス項目のポイントも高くなるという強い相関関係が見られた。

以上

2018(平成 30)年度後期 経済学部授業評価アンケート結果報告

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	2,019	2,019	1,346	66.67
【全体】	10,579	10,238	6,986	68.24

回収率は 100% (対象科目数=回収科目数) であった。回答率は 66.67% であり、平成 30 年度前期の 69.75% および大学全体の回答率を、やや下回っている。ただし、大学全体の回答率も、平成 30 年度前期の値 (72.89%) から下がっている。

2. 経済学部教員の所属別集計結果

	内容	平 29 前期	平 29 後期	平 30 前期	平 30 後期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.0	4.0	4.1	4.0
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	4.0	3.8	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	3.8	3.9	4.2	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.8	3.9	3.8	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	3.9	3.8	3.9
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.1	4.0	4.0
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	3.9	4.0	3.8	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.1	3.9	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.0	3.8	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.0	4.1	3.9	4.0
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	3.9	3.9	3.9
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.1	4.1	4.1
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	X	3.9	3.6	3.8

平成 30 年度後期において大きな変動は見られないものの、平成 30 年度前期との対比で

は全体的に数値が向上している。平成 29 年度も同様であった。平成 30 年度における設問 3 の数値向上については、前期の分析で指摘した通り、設問上の工夫によると考えられる。

3. 学生視点集計結果

〔全体〕

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.1	3.6
留学生のみ	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	3.9
留学生を除く	4.0	3.6	4.0	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	3.7	4.0	3.5
スポーツ学生のみ	4.1	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2
スポーツ学生を除く	4.0	3.8	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1	3.5

全体的に大きな変動はない。平成 30 年度前期と比較すると、0.1 ポイント程度の微減が散見されるが、取り立てて分析を要するものではない。ただし「スポーツ学生のみ」が例外であり、多くの項目で 0.1~0.2 ポイント上昇している。「留学生のみ」が比較的高い数値を示す傾向は変わっていないが、それとほぼ同水準の値を示していることから、平成 30 年度後期においては、留学生とスポーツ学生の数値が相対的に高かったと考えられる。しかし、その数値と理解度に相関関係が認められるかどうかは不明である。

〔学年別〕

全学生

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 年	4.2	3.9	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	4.2	3.7
2 年	4.0	3.7	3.9	3.6	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	3.9	3.6
3 年	4.1	4.0	4.3	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1	3.7
4 年	3.5	3.8	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	3.4

5 年以上のアンケート回答者は 2 名であった。

平成 30 年度後期において顕著なのは、2 年生のポイントの相対的な低さである。前期に比べ上昇した設問は皆無であり、下げ幅は最大で 0.3 ポイントある（設問 3「シラバスに沿っていたか」、設問 4「わかりやすさ」、設問 9「板書・スクリーンの見やすさ」、設問 11「教室管理」、設問 12「授業時間の遵守」が該当）。各授業担当者による分析と改善が望まれる。

4. 履修者数別集計結果

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1-50	4.0	4.1	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0
51-100	3.9	3.8	4.0	3.6	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	0.0
101-150	4.1	3.7	4.1	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1	3.7
151-200	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1	3.9
201-250	4.0	3.8	4.2	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.0	4.2	0.0

該当する授業数は、1～50人で10、51-100人で2、101-150人で5、151-200人で4、201-250人で1である。51-100人規模に見られる数値の低さは、それに比べて101人以上の講義で数値が高いことから、クラスサイズが大きく作用しているとは考えにくい。以上を踏まえて考えられることは、1-50人規模での講義において、相対的に数値が高く、これを超えるとはほとんど変化がないということである。

5. 設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」

科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室・授業管理
(留)日本語コミュニケーションレベル4(金4)	4.71	4.64 ①	4.67 ①
ベトナム語入門(木3)	4.60	4.60 ②	4.50 ②
キャリア支援講座I(金2)	4.24	4.30 ④	4.25 ④
キャリア支援講座I(金4)	4.24	4.26 ⑥	4.24 ⑤
キャリア支援講座II(SPI対策)(水1)	4.19	4.12 ⑧	4.19 ⑥
心の科学II(水3)	4.16	4.12 ⑧	4.03 ⑨
公務員試験対策II(月4)	4.14	3.79 -	3.86 -
経済統計学(火3)	4.14	4.09 ⑩	4.18 ⑦
キャリア支援講座I(木4)	4.08	4.27 ⑤	4.02 ⑩
スキルアップ英語II(G)(木2)	4.07	- -	3.93 -

上表では、設問4「わかりやすさ」の値が高い順に値上位10までの科目を並べ、真ん中の列に設問5「新しいものの見方」、右側に設問11「授業・教室管理」の結果を示している。設問5、11については、設問4の上位10の科目のうち、値が上位10科目に位置している科目についてのみ丸囲みの数字でその順位を示した。

すべての専門科目でアンケートを実施しているわけではないので、あくまでも今期アンケートを実施した限りでのことであるが、語学とキャリア系科目が上位に並んでいることから、これらへの学生の関心の高さを看取できる。ただし、例えば「わかりやすさ」ではややポイントが低いものの、「ものの見方」では、地方財政論 4.31 (3位)、GIS概論 4.25 (7位) が上位にきていることから、難解だが、新しい視野をひらくことができたと評

価された専門科目講義があることを指摘しておきたい。

6. 後期専門共通基礎（戦後日本経済の動き、地域経済と消費者）

学生の属性別でみて上述の設問 4、設問 5、設問 11、設問 13 について各々以下の点をあげることができる。

・戦後日本経済の動き

設問 13 は単独開講のため、該当しない。

(1) (2) を比較すると、「全学生」でほぼ同水準にある。しかし、(2) の数値を見ると「留学生のみ」の値が 4.3 前後であり、「留学生を除く」の値が 3.8 前後となっている。(1) は (2) ほど顕著ではないが、同様の傾向があるものの、「わかりやすさ」では留学生と日本人学生の数値の逆転がみられる。

・地域経済と消費者

(1) (2) を比較すると、「全学生」でほぼ同水準にある。本科目でも「留学生のみ」が日本人学生に比べて高い数値をつけている。ただし、差はそれほど大きくはない。ほぼすべての項目で 0.2 ポイント程度の範囲に収まる。(2) で留学生と日本人学生との間で「わかりやすさ」に 0.3 ポイントの差（前者が高い）があるが、(2) の留学生の解答数が 8 であることから、留学生が基本的に高い数値を示すという事実には吸収されよう。オムニバス形式に関しては、相対的に (2) でやや低い値が出ている。特に、スポーツ学生の数値は (1) で高く (4.30)、(2) で低い (3.55)。

7. クロス集計について

経済学部の設定問 11 と設問 4、8、9、10 のクロス集計は、大学全体のクロス集計とほぼ同様の形になっている。

8. 非常勤講師担当の専門科目について

該当する科目はなかった。

2018（平成 30）年度後期経営学部授業評価アンケート結果分析

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
全体	10579	10238	6986	68.24
経営学部	3107	3107	2084	67.07

実施予定 32 科目すべてにおいて授業評価アンケートが実施された。経営学部教員担当科目の回答率は 67.07%であり、全体平均 68.24%に比べ、1.17%低かった。国家試験等を目指す人間生活科学部の高い数値と比較すると低いものの、3 学部（経済学部：66.67%、法学部：65%）の中では一番高く、前年度後期の回答率 65.32%（全体平均 66.40%）と比較すると、1.75%高くなった。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問内容	前年度	本年度
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.1	4.1
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.1	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.2	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.0
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3	4.1
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.1	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.3	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.1
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.0
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.7	3.6

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、全体的に前年度よりは低い数値を示している。しかし、設問 2 と設問 13 を除く、すべての設問において 4.0 以上となってお

り、出席率、授業のわかりやすさ、知見の習得、教員の熱意および配布資料、教室管理に関しては、高い数値となった。ただ、設問 2、設問 13 に関しては、4.0 未満となっており、引き続き、学生の意欲や授業への自発的な参加を促すこと（学生の講義に対する興味を誘発させると同時に、自ら課題解決を見出せるような授業づくり）が必要である。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

* 属性別のポイント（1～13 の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.1	4.2	3.9	4.1	4.1
2	4.0	4.3	3.6	4.0	4.0
3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2
4	4.0	4.2	3.8	4.0	4.0
5	4.0	4.3	3.7	4.0	4.0
6	4.1	4.3	3.9	4.1	4.1
7	4.0	4.2	3.9	4.0	4.0
8	4.1	4.2	3.9	4.1	4.1
9	4.1	4.2	3.9	4.0	4.1
10	4.2	4.3	4.0	4.1	4.2
11	4.0	4.2	3.8	4.0	4.0
12	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2
13	3.5	3.7	3.4	3.7	3.5

留学生は設問 13 を除くすべての設問において、4.0 以上の高い数値を示しており、満足度が高いと思われる。一方、日本人学生（留学生を除く）は設問の 3 分の 2 以上（1、2、4、5、6、7、8、9、11、13）が 4.0 未満であり、授業に対する不満足さがうかがえる。自己評価である設問 2（授業に対する姿勢）や設問 5（新しいものの見方や考え方）に関しては、留学生よりもかなり低い。そのため、引き続き、日本人学生の意欲を引き上げる必要がある。

スポーツ学生のみでは、設問 13（複数教員による講義）の 3.7 を除く、すべての設問において 4.0 以上と高い数値となっており、日本人学生のなかではスポーツ推薦入学生の満足度が高いことが推測できる。

4. 経営学部履修者数別結果

	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~250人	301人以上
1	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9
2	3.9	3.9	4.0	3.8	4.1	3.8
3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3	4.0
4	4.1	4.0	4.1	3.8	4.1	3.9
5	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.0
6	4.2	4.2	4.1	3.9	4.2	4.0
7	4.0	4.0	4.1	3.9	4.1	3.9
8	4.2	4.0	4.2	3.9	4.1	3.9
9	4.1	4.1	4.1	3.9	4.2	4.0
10	4.3	4.3	4.1	4.0	4.3	4.0
11	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	3.7
12	4.3	4.3	4.3	4.0	4.2	4.0
13	4.2	3.4	0.0	3.6	0.0	0.0

*251~300人は、該当科目なし。

*履修者数別の中で一番高いポイントは赤字表記。

履修者数別の各設問の結果をみると、「1~50人規模」と「201~250人規模」が履修者数別の中で8設問について高いポイントを得ている。前年度は「51~100人規模」が設問2（意欲）、設問13（複数教員）を除く、すべての設問において4.1以上の高い数値を示していたが、本年度は「201~250人規模」がすべての設問において4.1以上となっており、高い数値を示している。また、過去のデータからは100人以下の場合は、高い数値を示す傾向にあったが、本年度は「201~250人規模」が高く、例年とは異なる傾向である。

5. クロス集計について

*「設問11：教室管理」と「設問4：わかりやすさ」

		設問4						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問11	回答なし	3		4	1		2
		5	2	489	154	30	9	4
		4	3	100	599	94	19	4
		3	2	30	121	259	34	7
		2		7	21	10	21	3
		1		5	9	5	7	26

* 「設問 11：教室管理」と「設問 8：教科書、配布資料の活用」

		設問 8						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問 11	回答なし	5		2	1		2
		5	5	515	124	35	7	2
		4	5	130	586	80	15	3
		3	2	45	121	266	14	5
		2		4	19	19	19	1
		1	1	8	9	6	5	23

* 「設問 11：教室管理」と「設問 9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

		設問 9						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問 11	回答なし	5		2	2		1
		5		545	105	28	4	6
		4		128	601	72	13	5
		3	1	36	126	265	22	3
		2		5	23	14	20	
		1		9	7	4	7	25

* 「設問 11：教室管理」と「設問 10：教員の声の聞こえやすさ」

		設問 10						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問 1	回答なし	5		1	2		2
		5	3	585	87	8	3	2
		4	4	157	601	48	9	
		3	2	50	121	262	15	3
		2	1	12	20	10	19	
		1		7	6	5	6	28

「設問 11：教室管理」と「設問 4：わかりやすさ」、「設問 8：教科書、配布資料の活用」、「設問 9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、「設問 10：教員の声の聞こえやすさ」の 4 項目のクロス集計においては、いずれも、大学全体と同様「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという強い相関関係が見られる。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果分析

* 「設問 4: わかりやすさ」

1	中国語初級(火 3)	4.71
2	(留)アカデミック日本語レベル 4(木 2)	4.60
3	国際経済・ビジネス事情(金 1)	4.59
4	(留)日本事情 II(火 2)	4.47
5	中国語入門(火 2)	4.45
6	中国語入門(金 2)	4.39
7	中国語入門(金 1)	4.20
8	健康生活と生涯スポーツ(火 2)	4.20
9	原価計算論(月 2)	4.18
10	日本史(木 1)	4.15
11	生活経営論(月 2)	4.14
12	健康生活と生涯スポーツ(火 1)	4.14
13	情報システムの理論と実際(火 3)	4.10
14	情報技術の経営学(2)(木 4)	4.08
15	経営統計論(木 1)	4.08
16	生産システム論(金 2)	4.03
17	流通論(木 2)	3.99
18	マーケティング調査論(火 1)	3.98
19	ビジネスモデル(金 2)	3.97
20	情報技術の経営学(1)(金 1)	3.94
21	マーケティング論(水 1)	3.93
22	犬山学入門／日本探訪(火 2)	3.91
23	人と組織の経営学(1)(水 3)	3.86
24	(ス)スポーツと社会(月 4)	3.83
25	基本経営学(火 2)	3.83
26	アジアの中の思想(火 3)	3.82
27	人と組織の経営学(2)(火 1)	3.75
28	(日)基礎力養成 II(B)(水 2)	3.69
29	スキルアップ英語 II(A)(木 3)	3.53
30	(日)公務員基礎力養成 III(月 2)	3.53
31	経営情報論(水 2)	3.52
32	(管栄)英語リーディング A(月 4)	3.10

「設問 4: わかりやすさ」において評価平均 4.0 以上の科目は、32 科目中 16 科目 (50%) であり、前年後期(81.5%)より 31%と大幅に下がった。留学生のみならず、日本人学生に対する経営学部教員の講義への相当な工夫が必要となる。

* 「設問 5 : 新しいものの見方」 結果

1	国際経済・ビジネス事情(金 1)	4.49
2	(留)日本事情 II(火 2)	4.37
3	中国語初級(火 3)	4.35
4	健康生活と生涯スポーツ(火 2)	4.24
5	中国語入門(火 2)	4.20
6	中国語入門(金 1)	4.20
7	(留)アカデミック日本語レベル 4(木 2)	4.20
8	中国語入門(金 2)	4.17
9	生産システム論(金 2)	4.13
10	日本史(木 1)	4.11
11	マーケティング調査論(火 1)	4.10
12	マーケティング論(水 1)	4.10
13	健康生活と生涯スポーツ(火 1)	4.09
14	情報技術の経営学(2)(木 4)	4.08
15	ビジネスモデル(金 2)	4.06
16	情報システムの理論と実際(火 3)	4.06
17	経営統計論(木 1)	4.04
18	原価計算論(月 2)	4.04
19	生活経営論(月 2)	4.03
20	犬山学入門／日本探訪(火 2)	4.00
21	(ス)スポーツと社会(月 4)	3.97
22	情報技術の経営学(1)(金 1)	3.97
23	基本経営学(火 2)	3.95
24	人と組織の経営学(1)(水 3)	3.93
25	流通論(木 2)	3.92
26	人と組織の経営学(2)(火 1)	3.83
27	アジアの中の思想(火 3)	3.75
28	経営情報論(水 2)	3.65
29	(日)公務員基礎力養成 III(月 2)	3.45
30	(日)基礎力養成 II(B)(水 2)	3.44
31	スキルアップ英語 II(A)(木 3)	3.43
32	(管栄)英語リーディング A(月 4)	2.97

「設問 5 : 新しいものの見方」において評価平均 4.0 以上の科目は、32 科目中 20 科目 (62.5%)で、昨年後期(66.7%)であり、昨年より 4.2%低下した。

* 「設問 11：教室管理」結果

1	国際経済・ビジネス事情(金 1)	4.51
2	(留)アカデミック日本語レベル 4(木 2)	4.40
3	(留)日本事情 II(火 2)	4.37
4	情報システムの理論と実際(火 3)	4.32
5	中国語入門(金 2)	4.31
6	健康生活と生涯スポーツ(火 1)	4.28
7	基本経営学(火 2)	4.27
8	健康生活と生涯スポーツ(火 2)	4.26
9	中国語入門(火 2)	4.25
10	中国語初級(火 3)	4.24
11	マーケティング論(水 1)	4.20
12	生産システム論(金 2)	4.10
13	人と組織の経営学(1)(水 3)	4.08
14	経営統計論(木 1)	4.08
15	日本史(木 1)	4.08
16	原価計算論(月 2)	4.07
17	中国語入門(金 1)	4.07
18	人と組織の経営学(2)(火 1)	4.06
19	流通論(木 2)	4.03
20	マーケティング調査論(火 1)	3.98
21	ビジネスモデル(金 2)	3.97
22	アジアの中の思想(火 3)	3.93
23	生活経営論(月 2)	3.93
24	(ス)スポーツと社会(月 4)	3.92
25	情報技術の経営学(1)(金 1)	3.84
26	(管栄)英語リーディング A(月 4)	3.73
27	情報技術の経営学(2)(木 4)	3.72
28	経営情報論(水 2)	3.67
29	犬山学入門／日本探訪(火 2)	3.66
30	スキルアップ英語 II(A)(木 3)	3.66
31	(日)基礎力養成 II(B)(水 2)	3.52
32	(日)公務員基礎力養成 III(月 2)	3.44

「設問 11：教室管理」において評価平均 4.0 以上の科目は、32 科目中 19 科目(59.4%)で、昨年後期(77.8%)より 18.4%と大幅に下がった。学生の私語や携帯電話、遅刻など授業の妨げに対して徹底的な管理が求められる。

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果の下位には、(日)公務員基礎力養成 III、(日)基礎力養成 II がある。外部講師に委託している講義について、早急に講義の質の改善が望まれる。

7. 経営学部担当の専門共通基礎 I,II について

対象	有効数	科目名	設問 04	設問 05	設問 11
全学生	87	情報技術の経営学(1)(金 1)	3.94	3.97	3.84
留学生のみ	40		4.35	4.33	4.20
留学生を除く	47		3.60	3.66	3.53
スポーツ学生のみ	15		4.00	4.07	3.87
スポーツ学生を除く	72		3.93	3.94	3.83
全学生	25	情報技術の経営学(2)(木 4)	4.08	4.08	3.72
留学生のみ	7		4.43	4.43	4.29
留学生を除く	18		3.94	3.94	3.50
全学生	147	人と組織の経営学(1)(水 3)	3.86	3.93	4.08
留学生のみ	76		3.97	4.11	4.18
留学生を除く	71		3.73	3.73	3.97
スポーツ学生のみ	22		4.19	4.18	4.32
スポーツ学生を除く	125		3.80	3.88	4.04
全学生	64	人と組織の経営学(2)(火 1)	3.75	3.83	4.06
留学生のみ	15		3.60	3.80	4.00
留学生を除く	49		3.80	3.84	4.08
スポーツ学生のみ	16		3.69	3.50	3.69
スポーツ学生を除く	48		3.77	3.94	4.19

* 「情報技術の経営学(1) (経営学部必修)」

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の3項目において、3.53~4.35であり、前年度後期に比べると少し低くなったが、留学生のみでは4.20~4.35であり、良好な結果と言える。

* 「情報技術の経営学(2) (経済、法学部選択)」

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の3項目において、3.50~4.43である。留学生のみでは4.29~4.43であり、「情報技術の経営学(1) (経営学部必修)」同様、良好な結果と言える。

*** 「人と組織の経営学(1) (経営学部必修)」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目において3.73～4.32であり、前年度後期と比べるとやや低い数値となった。スポーツ学生のみでみると4.18～4.32となっており、留学生のみより高評価を得ている。

*** 「人と組織の経営学(2) (経済、法学部選択)」**

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の3項目において3.50～4.19とすべて4.0以上となっている。日本人学生(スポーツ学生を除く)でみると3.77～4.19となっており、全体の中でも良好な結果であると言える。

経営学部担当の専門共通基礎 I,II の結果をみると「情報技術の経営学(1)、(2)」、「人と組織の経営学(1)」では、全体的に留学生の評価が高く、日本人学生(スポーツ学生除く)の講義への意欲を向上させるような工夫が必要である。しかし、「人と組織の経営学(2)」では、全体的に日本人学生(スポーツ学生を除く)から好評価を得ており、留学生とスポーツ学生に対して講義の改善が必要である。

2018(平成 30)年度後期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	2,215	2,003	1,302	65.00
【全体】	10,566	10,238	6,986	68.24

法学部の専任教員担当科目のうち 21 科目が今回のアンケート対象であり、19 科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 65.00%と、今年度前期より 1.97 ポイント低下した。人間生活科学部はもちろんのこと、経済・経営と比べても若干低い値となっている。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.6
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.1
4	授業内容は、わかりやすかったかと思いませんか	3.8
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.7
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	3.9
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.8
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.7
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.8
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.0
13	複数教員による授業は良かったと思いませんか	3.4

今年度前期の結果と比較すると、大半の項目で、0.1~0.3 ポイント低下しており、全体の平均値において 0.08 ポイント低下した。上昇した項目はない。0.3 ポイント低下した項目は 13、0.2 ポイント低下した項目は 2 である。設問 2 は、今年度前期においても 0.2 ポイント低下しており、前年度後期と比べて 0.4 ポイント減少したことになる。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いませんか	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いませんか	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8	3.8	3.7	3.9	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	3.9	3.9	3.8	4.0	4.1
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.0	4.1	4.0	3.9	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いませんか	3.6	3.6	3.5	3.5	3.1
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	44.4	46.1	48.9	35.9	41.7

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.6	3.8	3.7	3.4	3.2
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.1	4.2	4.1	4.1	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	3.9	3.9	4.0	3.8	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	3.9	4.0	4.0	3.7	4.0
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.6	3.7	3.5	3.5	3.0
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	37.6	44.5	40.3	25.0	37.5

まず、全学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は今年度前期と変わらない(3.9)。設問別にみると、設問 E が 3.2%の上昇であった。また、設問 1「あなたは、この授業によく出席しましたか」、設問 6「教員の教え方には、熱意があったと思いますか」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか」は、いずれも 0.1 ポイントの低下であった。設問 1 については 1 年生、設問 6 及び 9 については、2 年生の数値が低下したことによるものであると考えられる(最も大きく低下したのは、2 年生の設問 6 で、0.3 ポイントの低下。逆に最も上昇したのは、3 年生の設問 7 と 9 で、ともに 0.3 ポイントの上昇)。今回、各学年の平均値をみると、2 年生が 4.0、1,4 年生が 3.9 と相対的に高いのに対し、3 年生が 3.7 と相対的に低かった。もともと、2 年生はほとんどの設問で数値が低下したのに対し、3 年生ではほとんどの項目で数値が上昇しており、差が縮まる傾向が見られる。

次に、スポーツ学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は今年度前期と変わらない(3.8)。学年の平均値をみると、3 年生が 3.7 と相対的に低く、1 年生が 3.9、2,4 年生が 3.8 でほぼ横並びであった。

スポーツ学生と全体とを比較すると、全体的に、全体がスポーツ学生の数値を上回る傾向が見られる。1,2 年生では、その差は小さくなっている(4 年生では差は 0.11、3 年生では 0.17 に対し、1 年生は 0.04、2 年生は 0.03。いずれも全体が高い。)

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	4.0	3.8	3.9	4.0	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	3.5	4.0	3.7	3.5
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.0	4.3	4.2	4.0
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.0	3.6	4.1	4.0	3.4
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	3.6	4.1	3.8	3.4
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2	3.8	4.2	4.1	3.5
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.0	3.7	4.0	4.0	3.5
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.0	3.8	3.9	4.0	3.6
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	3.8	4.1	3.9	3.4
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2	4.0	4.2	4.1	3.7
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0	3.8	4.1	3.8	3.6
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.1	3.8	4.1	4.1	3.8
13	複数教員による授業は良かったと思いますか				3.6	3.2

※ 履修者数 250 名を超えるクラスは存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50 名規模のものが 8、51~100 名規模のものが 4、101~150 名規模のものが 1、151~200 名規模のものが 3、201~250 名規模のものが 3 である。

履修者数別に平均値を見ると、1~50 名規模と 101 名~150 名規模は 4.1、151 名~200 名規模は 3.9、51 名~100 名規模は 3.8、201 名~250 名規模は 3.6 となっている。したがって、200 名を超える大規模授業の数値が特に悪いことが分かる。2017 年度に引き続き、2018 年度も前期は履修者数による差異は見られない。前期と後期で傾向が異なると思われるのは不合理であるから、履修者数より、授業の個性の方が、影響力が大きいものと考えられる。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
キャリア支援講座 I/キャリア支援講座(水4)	4.45	4.36①
キャリア支援講座 I(金2)	4.17	4.31②
情報と法(金2)	4.11	4.08④
知的財産法(木2)	4.11	3.89⑨
国家と法(日本国憲法)(1)(火2)	4.08	3.94⑧
(留)市民生活とキャリア形成D(月1)	4.07	4.03⑤
(日)基礎力養成 II(A)(水2)	4.02	3.53
裁判と法(1)(金3)	4.01	3.97⑦
キャリア支援講座 I(金4)	4.00	4.16③
キャリア支援講座 I(木4)	3.95	4.00⑥
(日)基礎力養成 II(C)(水2)	3.95	0
犯罪と法(2)(火1)	3.90	3.87
会社法(水1)	3.67	3.65
国際法(月1)	3.63	3.84
物権法(火2)	3.60	3.8
債権総論(水2)	3.56	3.56
国家と法(日本国憲法)(2)(火2)	3.36	3.36
犯罪と法(1)(水1)	3.05	3.12
刑法総論(水3)	2.79	3.13

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。従来の結果と同様、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。なお、「キャリア支援講座 I」（水4）は人間生活科学部、同（木4）は法学部、同（金2）は経済学部、同（金4）は経営学部、「キャリア支援講座」は学部問わず再履修者向けのクラスである。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
キャリア支援講座 I/キャリア支援講座	4.32
キャリア支援講座 I(金2)	4.14
情報と法(金2)	4.12
キャリア支援講座 I(木4)	4.09
キャリア支援講座 I(金4)	4.03
犯罪と法(2)(火1)	4.00
国際法(月1)	4.00
(日)基礎力養成 II(C)(水2)	3.94
知的財産法(木2)	3.89
国家と法(日本国憲法)(1)(火2)	3.87

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。今年度前期と比較すると、平均値は0.2ポイント低下した(4.0→3.8ポイント)。

7 複数教員による授業

科目	平均
裁判と法(1)(金3)	3.70
(日)基礎力養成 II(A)(水2)	3.60
国家と法(日本国憲法)(1)(火2)	3.49
会社法(水1)	3.43
国家と法(日本国憲法)(2)(火2)	3.10

複数教員による授業を好ましいという評価のあった授業を、高評価順に5科目示すと、左記の通りである。「裁判と法(1)」、「(日)基礎力養成 II(A)」が高い。

8 クロス集計

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	3	3	3	2		
		5	1	220	74	28	7	2
		4		58	328	76	17	6
		3		13	113	215	19	9
		2	2	3	17	12	18	7
		1		2	3	11	6	24
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	7	2		1	1	
		5		246	55	23	4	4
		4	1	53	356	62	7	6
		3		27	97	230	11	4
		2		5	18	16	16	4
		1		2	9	9	6	20
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	8	1	1	1		
		5		242	58	24	4	4
		4		49	336	73	19	8
		3	2	19	85	230	27	6
		2		3	18	14	18	6
		1		2	4	6	6	28
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	8	2	1			
		5	1	276	42	9	3	1
		4	3	89	348	38	6	1
		3	4	34	105	212	14	
		2		8	16	17	15	3
		1		2	6	7	7	24

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度についても、一般に教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)	設問13 (オムニバス)
全学生	29	(留)市民生活とキャリア形成D(月1)	4.07	4.03	3.52	

専門共通基礎 II

全学生	150		4.08	3.94	3.87	3.49
留学生のみ	13		4.38	4.69	4.62	4.31
留学生を除く	137	国家と法(1)(火2)	4.05	3.87	3.79	3.41
スポーツ学生のみ	69		4.03	3.96	3.87	3.58
スポーツ学生を除く	81		4.12	3.93	3.86	3.41
全学生	178		3.36	3.36	3.62	3.10
留学生のみ	52		3.69	3.73	3.71	3.37
留学生を除く	126	国家と法(2)(火2)	3.23	3.20	3.58	2.95
スポーツ学生のみ	23		3.09	3.09	3.43	3.47
スポーツ学生を除く	155		3.40	3.40	3.65	3.05
全学生	103		4.01	3.97	3.74	3.70
留学生のみ	7		4.71	4.57	4.50	4.29
留学生を除く	96	裁判と法(1)(金3)	3.96	3.92	3.69	3.65
スポーツ学生のみ	55		4.00	4.00	3.57	3.83
スポーツ学生を除く	48		4.02	3.94	3.91	3.57
全学生	133		3.05	3.12	3.36	
留学生のみ	12		2.50	2.64	3.58	
留学生を除く	121	犯罪と法(1)(水1)	3.11	3.17	3.34	
スポーツ学生のみ	53		3.15	3.12	3.32	
スポーツ学生を除く	80		2.99	3.13	3.39	
全学生	31		3.90	3.87	4.00	
留学生のみ	11	犯罪と法(2)(火1)	4.00	4.00	4.27	
留学生を除く	20		3.85	3.80	3.85	

今学期の専門共通基礎 I は、「(留)市民生活とキャリア形成 D」のみであった。従来、留学生クラスは、全般的に、同種の日本人向け通常科目と比べて、平均値が高い傾向が指摘されていた。しかし、同科目は、今年度前期開講の「(日)市民生活とキャリア形成 S」と比べて、設問 4 ではわずかに日本人クラスを上回るものの、設問 5 及び設問 11 では逆に下回っており、この傾向が妥当しない。「犯罪と法(1)」の留学生の数値が低いことと合わせて、今年の 1 年生の特徴といえよう。

専門共通基礎 II については、それぞれの科目の(1)が科目設置学部の学生向け、(2)がそれ以外の学部学生向けとなっている。なお、「裁判と法(2)」は、アンケート未実施である。従来、(1)科目と(2)科目を比べると、(2)科目の方が平均値が高い傾向が指摘されていた。しかし、「国家と法」については、昨年同様、(1)の方が(2)より平均値が良い。また、「裁判と法(1)」も平均値が良く、「裁判と法(2)」を上回った可能性もある(参考までに、昨年度の「裁判と法」は、問 4、問 5、問 11 の順に、①で 3.51、3.42、3.60、②で 3.73、3.77、3.82)。これをどう理解するかは問題であるが、「犯罪と法」においては従来通りの傾向が現れていることから、傾向そのものが変化したわけではなく、授業構成や担当教員の個性が影響を与えているものと思われる。

スポーツ学生については、「国家と法(2)」において、概ね、非スポーツ学生より低い数値を示しているものの、それ以外では、明確な傾向は看取できない。特に、今年の 1 年生においては、スポーツ学生と非スポーツ学生の差は小さいものといえよう。

1. 実施概要

表 1

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者 (F)	回答率 (F÷E)
教育保育学科	814	744	578	77.69
【全体】	10,579	10,238	6,986	68.24

教育保育学科のアンケートは 20 科目について行われた。昨年度は前後期それぞれ 8 科目ずつであったため、実施科目数を大幅に増加した。今年度の回答率は前期 79.4%、後期（今回）77.7%であった。昨年度、前期 90.63%、後期 86.5%と比較すると、今年度の回答率は低くなっている。

2. 教育保育学科の教員担当科目の平均ポイント

表 2

	設問内容	ポイント
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.2
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.1
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	

最も高いポイントが、項目 6 の“教員の教え方には熱意があったと思いますか”であった(4.3)。最も

低いポイントが、項目 2 の“意欲的に取り組んだか”の質問であった(3.9)。3.9 未満の項目がなく、全体的に高い評価が得られている。授業への意欲に対する回答が相対的に最も低いことは、前期同様の結果であった。なお、学習成果につながると考えられる、項目 2 意欲、項目 4 わかりやすさ、項目 5 新しいものの見方には網掛けを表示する。

シラバスに関して

項目 E「あなたはこの授業のシラバスを読みましたか」の質問に対し、はいが 30.8%、いいえが 69.2%であった。かなりの学生がシラバスを読まずに授業を受けている。昨年度、シラバスを読まないと答えた学生は、前期 53.9%、後期 64.6%とおり、今年度前期は 77%であり、読まない学生が多い傾向は継続している。また、「はい」と答えた学生のみ回答する項目 3「この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか」は、ポイントが 4.2 (前期 4.3) であった。昨年度は、前期 3.8、後期 3.9 であり、今年度の方が高くなっている。それぞれの授業でシラバスに沿った授業展開がされている点は評価できるが、6~7 割の学生がシラバスを参照していないことから、シラバスを授業理解へ活用することをもっと支援するべきであると言える。

3. 学生視点からのデータ分析 (教育保育学科)

(1) 学年別の結果

表 3

	1年	2年	3年	4年	全学年
1	4.3	4.2	4.0	<u>3.5</u>	4.2
2	<u>3.6</u>	<u>3.9</u>	<u>3.8</u>	<u>3.8</u>	<u>3.8</u>
3	4.1	4.3	4.3	<u>3.9</u>	4.2
4	<u>3.7</u>	4.2	4.1	<u>3.9</u>	4.0
5	<u>3.8</u>	4.1	4.1	4.1	4.0
6	4.0	4.4	4.3	4.2	4.2
7	<u>3.8</u>	4.2	4.1	4.0	4.0
8	<u>3.9</u>	4.3	4.1	<u>3.9</u>	4.1
9	<u>3.8</u>	4.3	4.1	4.0	4.0
10	<u>3.9</u>	4.4	4.3	4.2	4.2
11	<u>3.7</u>	4.2	4.1	<u>3.7</u>	4.0
12	4.1	4.3	4.3	4.1	4.2
13	2.8	3.1	5.0		2.9

4.5 以上の高いポイントは見られなかった (項目 13 は有効回答数が少数、1 年 23 名、2 年 8 名、3 年 1 名であるため除外)。4.0 未満のポイントに一重下線を引いたが、全学年を通して項目 2 が、そして、1 年生の多くの項目が該当した。つまり、全体として“授業への意欲”が低く、特に 1 年生については、その他項目においても評価が低めであったといえる。表 2 の教員別の分析においても授業への意欲の低さが課題と考えられた。前期も同様の結果が出ており、教育保育学科における重要課題といえそうであ

る。

加えて、後期は、1年生について他の項目でもポイントの低さが目立った。次年度から、新カリがスタートすること、入試状況より教育保育学科が第一志望ではない学生が多数入学しそうなこと、も考えると、1年次における授業や指導方法を慎重に考えておく必要がある。特に後期においては留意すべきであろう。速さや進め方、板書などの見やすさ、授業の妨げへの対応など、授業スキルといえる基本的なところから大切にしたい。

“授業への意欲”への対策としては、教育保育職のおもしろさややりがいを個々の授業においても伝えることを大切にしたい。学外実習が多くある学科であるため、学びの姿勢や態度の厳しさを伝えざるを得ないが、意欲を高めるためには、やりがいを感じ、成功経験を得ることがまずは重要となるだろう。

(2) スポーツ推薦入学なのかどうかによる結果

表 4

	1年		2年		3年	
	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く
1	4.4	4.2	<u>3.8</u>	<u>4.2</u>	4.1	4.0
2	3.8	<u>3.6</u>	<u>3.5</u>	<u>4.0</u>	3.8	3.9
3	<u>4.5</u>	<u>4.1</u>	<u>3.0</u>	<u>4.3</u>	4.3	4.3
4	4.0	<u>3.7</u>	<u>3.7</u>	<u>4.3</u>	4.2	4.0
5	4.1	3.8	<u>3.5</u>	<u>4.2</u>	4.2	4.1
6	<u>4.3</u>	<u>3.9</u>	<u>3.8</u>	<u>4.5</u>	4.3	4.3
7	4.1	3.8	<u>3.8</u>	<u>4.3</u>	4.2	4.1
8	3.9	3.9	<u>3.7</u>	<u>4.4</u>	4.1	4.1
9	4.0	3.8	<u>3.5</u>	<u>4.4</u>	4.1	4.1
10	<u>4.4</u>	<u>3.9</u>	<u>3.8</u>	<u>4.5</u>	4.2	4.3
11	<u>3.7</u>	<u>3.7</u>	<u>3.8</u>	<u>4.3</u>	4.1	4.1
12	3.9	4.1	<u>3.8</u>	<u>4.4</u>	4.2	4.3
13	<u>4.0</u>	<u>2.6</u>	3.1	3.0	5.0	

スポーツ推薦入学かどうかによる違いとして、0.3ポイント以上の差がある項目に二重下線を付した。また、加えて、3.8未満のポイントであったセルに一重下線を付した。

スポーツ学生かどうかによる違いが顕著なのは2年生であり、スポーツ学生の方が、評価が低かった。それに対し、1年生は2年生ほどではないものの違いがあり、スポーツ学生の方が、評価が高かった。昨年度の分析報告を見ると、現2年生では、スポーツ学生の方が、評価が低い傾向があったようである。

学年別の表3の結果と合わせてみると、全体として評価が低いのは1年生であるが、スポーツ学生かどうかによる差は顕著ではない。特筆すべきは2年生であり、スポーツ学生の評価の低さ、それ以外の学生の評価の高さが顕著である。ただ、前期にはそれほどの違いはなかった。後期において差が顕著に

なる特有の条件があるのか、現 2 年生に特有の事情があるのか。教育保育学科では、スポーツ推薦の学生は全体の 1 割弱と人数が少ないため、スポーツ学生一人ひとりの固有の事情が影響しているとも考えられる。

4. 履修者規模別集計結果（教育保育学科）

表 5

	1～50 人	51～100 人	101～150 人
授業数	16	3	1
1	4.2	4.1	4.0
2	3.9	3.7	4.1
3	4.3	4.0	4.1
4	<u>4.2</u>	<u>3.6</u>	4.0
5	<u>4.2</u>	<u>3.8</u>	4.1
6	<u>4.4</u>	<u>3.9</u>	4.1
7	<u>4.3</u>	<u>3.7</u>	4.1
8	<u>4.3</u>	<u>3.7</u>	4.1
9	<u>4.3</u>	<u>3.8</u>	3.9
10	<u>4.5</u>	<u>3.7</u>	4.1
11	<u>4.2</u>	<u>3.5</u>	3.9
12	<u>4.4</u>	<u>3.9</u>	4.0
13			

1～50 人規模と 51～100 人規模とを比較すると、ほとんどの項目において、0.4 ポイント以上の差が見られた（二重下線）。いずれも履修者規模の大きい方が、評価が低かった。

5. “わかりやすさ” “新しいものの見方” “教室管理” の結果

アンケート対象である 20 科目のうち、評価のポイントが 4.0 以上であった科目数の割合は、項目 4 “わかりやすさ”、項目 5 “新しいものの見方”、項目 11 “教室管理” の順に、75%、75%、65%であった。前期よりも科目数の割合は減少しているが、概ね、教育保育学科教員の授業への取り組みは成果を得ているものと評価できる。また、非常勤講師については 1 科目のみであるが、いずれも 3.9 以上の評価であった。

6. “教室管理” とのクロス集計（項目 4、項目 8、項目 9、項目 10）の結果

“教室管理” の項目 11 と、これら 4 項目（“わかりやすさ” “教科書” “板書” “教員の声”）との結果に正の関連があるように思われる（教室管理の評価が高いと 4 項目の評価も高くなる）。全学的な傾向も同様だと考えられる。

2018（平成30）年度 後期 管理栄養学科

授業評価アンケート結果分析

1. 実施概要

実施科目数は16科目であり、うち15科目についてアンケートが実施された。回収科目の内訳は、1年次3科目、2年次7科目、3年次5科目であった。回収科目履修者数506名のうち、回答者数は444名であり、回答率は87.75%であった。回収科目のうち14科目は必修科目であり、全学平均（68.24%）を上回るものの、前期（91.72%）と比較して約4ポイント低下している。3年時後期には臨地実習およびその事前訪問のために特別欠席を伴う学生が多いため、その影響が大きいものと考えられるが、学修意欲低下の影響を判断するためには、科目毎の回収率に基づいた分析を行う必要がある。

2. 授業満足度の評価

授業満足度は、④授業のわかりやすさ、⑤新しいものの見方を指標として、平均値（評価積算値／回答者数）はいずれも4.09であり、いずれも前期と比較して若干の向上がみられ、改善基調にあると考えられる。さらに前期分析との比較のため、科目間平均値を算出した。学年毎の科目間平均値は、④授業のわかりやすさは1年次4.17、2年次3.90、3年次4.34、⑤新しいものの見方は1年次4.08、2年次3.94、3年次4.31であり、いずれも2年次においてやや低調であった。

尚、各学年における④授業のわかりやすさ、⑤新しいものの見方の平均値（評価積算値／回答者数）は④について1年次3.8、2年次3.9、3年次4.4、⑤について1年次3.7、2年次3.9、3年次4.4であり、特に1年次において科目間平均値を下回る結果となった。高値を示した科目において回答者数が少ない、すなわちアンケート実施日における出席率が低かったことを示している。アンケート実施時期にはインフルエンザの流行があったため、その影響が考えられる。

3. 授業理解度の評価

授業理解度は、年次GPAを基準として考察した。再試験実施前の年次平均GPAは1年次生では2.62、2年次生では2.12、3年次生では2.51であり、いずれも前期GPAと比較して若干の向上がみられた。後期科目および通年科目において、

前期を上回る成績評価を得られたことを示す。成績分布について分析を行った結果、本学における特待生継続資格基準である GPA2.5 を上回る学生は、1 年次生では 61 %、2 年次生では 27 %、3 年次生では 55 %であった。学修に対する困難を感じていると考えられる GPA1.5 未満の学生は、1 年次生では 7 %、2 年次生では 25 %、3 年次生では 12 %であった。

4. 授業満足度と授業理解度の相関

各年次での平均 GPA と④授業のわかりやすさ、⑤新しいものの見方の平均値には負の相関性がみられた。一部、④授業のわかりやすさ、⑤新しいものの見方の平均値が低い科目であっても受講者の大半が AA を取得した科目も見受けられるが、新たな発見を伴い、わかりやすいと感じられる授業へと、さらなる改善を進めることが学習意欲と国家試験合格率の向上に向けて有効な施策のひとつであることが、改めて示されたものと考えられる。

2018(平成 30)年度後期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

I. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

後期授業評価アンケート対象科目のうち、非常勤講師担当は 57 科目についてアンケートが実施された。これは全対象科目の約 33%に当る。

実施科目の内訳は情報科目 14、留学生用日本語科目 29、共通科目 4、学部学科専門科目 8、強化指定クラブ所属学生対象科目 2 であった。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)
【全体】	171	165	96.49
非常勤	57	57	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	10,566	10,238	6,986	68.24
非常勤	1,859	1,859	1,232	66.27

回答率（アンケート時の出席率）は全体平均よりも 2%低い 66.27%である。57 科目のうち 43 科目が必修／選択必修の情報科目および日本語科目であり、すべて少人数クラスである。出席率が低い理由について科目ごとのデータを確認する必要がある。

II. 集計結果について

設問項目

1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか

5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
E	あなたはこの授業のシラバスを読みましたか

1. 57科目の平均ポイント

設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12	設問 E(Yes 率)
4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	4.2	61.8%

すべて 4.0 以上であり、適切な授業が行われたことがわかる。

2. クラスサイズ別の平均ポイント

履修者数	クラス数	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12	設問 E(Yes 率)
1-50	51	4.1	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	68.7%
51-100	1	4.0	2.8	4.2	3.3	3.3	3.6	3.7	3.8	3.8	4.1	3.3	3.3	15.6%
101-150	5	3.9	3.6	3.9	3.7	3.7	3.9	3.8	3.7	3.6	3.9	3.6	3.9	42.9%

1～50人のクラス 51のうち 43 は情報科目や日本語科目で、ほとんどが 30 人以下のクラスである。すべての項目で 4.0 以上という結果は学習環境として適切であったこ

とがわかる。また、下記の3項目(「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」)についての科目群別結果を見ると、日本語科目の高い評価結果が大きく影響していることがわかる。

51～100人のクラスは1科目(専門科目)であるため、結果についてクラスサイズによるものかどうかは不明である。しかし設問2「学生の意欲」2.8、設問4「わかりやすさ」3.3、設問11「教室管理」3.3は同サイズの全体平均(それぞれ3.8、3.8、3.9)と比較してもかなり低く、クラスサイズ以外の要因が影響していると思われる。次年度も同じ教員が担当する場合、授業改善が必要と思われる。

101～150人のクラス(5クラス)については4.0以上の項目がない。設問2「学生の意欲」3.6、設問4「わかりやすさ」3.7、設問11「教室管理」3.6は同サイズの全体平均(それぞれ3.8、3.9、3.8)と比較してやや低いので、非常勤講師を依頼する学部学科を通して授業改善に協力いただく必要がある。

3. 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」について

(1) 情報科目 (14クラス)

	科目名	担当教員	わかりやすさ	新しいものの見方	授業・教室管理
選択必修	(留)情報(Word)A(月2.金3)	B	4.13	4.24	4.47
	(留)情報(Word)B(月2.金3)	D	3.82	4.23	4.23
	(留)情報(Word)C(月2.金3)	F	4.56	4.58	4.58
	(留)情報(Word)D(月3.金4)	B	4.59	4.19	4.13
	(留)情報(Word)E(月3.金4)	D	4.31	3.82	4.00
	(留)情報(Word)F(月3.金4)	F	4.42	4.56	4.31
3学部選択	ビジネス情報処理Ⅱ(木3)	C	4.04	3.86	3.76
	情報(Excel)(3)(木2)	F	4.15	3.90	4.05
	情報(Excel)(4)(金2)	B	4.14	3.67	3.71
	情報(Excel)(5)(金2)	D	3.90	3.52	3.86
	情報(Power Point)(4)(金1)	A	4.00	4.00	3.75
	情報(Power Point)(5)(金3)	A	3.50	3.67	3.25
人間生活科学部	情報基礎Ⅰ(1)／ 情報基礎Ⅰ(木1)	F	2.26	2.52	3.17

選択	情報基礎 I(2)(木 1)	C	3.62	4.00	3.91
----	----------------	---	------	------	------

5名の非常勤講師講師が14クラスを担当した。留学生1年次対象「情報(Word)」は週2回授業を行い、学生のMOS合格を目指した。設問4「わかりやすさ」は5クラスが4.1~4.5であった。

(2) 留学生対象日本語科目 (29科目)

科目名	担当教員	わかりやすさ	新しいものの見方	授業・教室管理
(留)アカデミック日本語レベル 2	G	4.55	4.55	4.55
	M	4.90	4.58	4.46
	N	4.22	4.56	4.30
	G	4.28	4.22	4.13
	M	4.27	4.33	4.35
(留)アカデミック日本語レベル 4	I	4.57	4.36	4.36
	P	4.92	4.69	4.62
	N	4.20	4.33	4.20
	P	4.55	4.64	4.50
(留)日本語コミュニケーションレベル 2	K	4.60	4.64	4.73
	N	4.40	4.30	4.20
	K	4.82	4.60	4.70
	N	4.20	4.00	4.00
(留)日本語コミュニケーションレベル 4	I	4.73	4.25	4.00
	P	4.54	4.38	4.38
	M	4.25	4.31	4.33
	P	4.38	4.31	4.25
(留)日本語コミュニケーションレベル 6	M	4.67	4.20	4.30
	H	4.70	4.50	4.50
	L	4.83	4.83	4.83
(留)日本語特別支援 B	M	4.50	4.90	4.90
	I	4.55	4.64	4.45

	J	4.33	4.17	4.33
	M	4.31	4.69	4.67
	O	4.64	4.64	4.45
	I	4.58	4.50	4.45
	J	4.09	4.00	3.82
	M	4.40	4.67	4.50
	N	4.22	4.11	4.33

非常勤講師 10 名が 29 クラスを担当した。留学生対象のため 1 クラス 25 名以下で編成している。全体として非常に良好な結果である。「わかりやすさ」では 16 クラスが 4.50 以上の結果であった。

(3) 共通科目、学部学科専門科目、スポーツ専用科目 (14 科目)

区分	科目名	わかりやすさ	新しいものの見方	授業・教室管理
共通	文学と現代(金 2)	3.89	3.84	3.72
	文学と現代(金 3)	3.91	3.71	3.71
	科学と人間社会 III(AI と社会) (火 1)	2.74	3.22	3.26
	環境共生の探究 II(金 3)	3.78	3.88	3.72
3学部専門	キャリア支援講座 I(金 4)	4.29	4.23	4.15
	(留)市民生活とキャリア形成 E (月 1)	4.34	4.50	4.48
	(留)市民生活とキャリア形成 F (月 1)	4.03	3.91	3.86
法専門	資格・検定講座I(宅建対策) (木 1)	4.04	4.18	4.12
	資格・検定講座 II(宅建対策) (木 2)	4.24	4.04	3.77
経済専門	中小企業論(火 1)	4.10	4.20	4.10
教育保育専門	子どもの保健IA(金 1)	4.19	3.98	4.28
管理栄養専	フードシステム論(月 1)	3.31	3.27	3.33

門				
スポーツ	(ス)スポーツと栄養(火 4)	3.92	4.76	4.57
専用	スポーツ栄養学(火 3)	4.71	3.87	3.73

共通科目は4科目とも新しい講師によるものだった。「科学と人間社会 III(AIと社会)」は科目としても新設科目であったが、「わかりやすさ」が 3.0 を割る結果であった。次年度に向けて授業改善が必要である。

キャリア関係の専門科目は3件とも良好な結果であった。

学部の専門科目、強化指定クラブ専用科目については、「フードシステム論」を除き良好な結果であった。

4. 「授業・教室管理」との4項目クロス集計について

設問 11 「授業・教室管理」と、設問 4 「わかりやすさ」、設問 8 「教科書、配布資料の活用」、設問 9 「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10 「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計結果（詳細データは省略）では、いずれのクロス集計においても、「授業・教室管理」のポイントが高ければ、クロス項目のポイントも高くなるという強い相関関係が見られた。

以上